

綾瀬市

子ども・子育て支援に関するアンケート調査

(就学児前児童)

子ども子育て支援(放課後児童対策)に関するアンケート調査

(就学児童)

調査結果報告書

令和6年3月

綾 瀬 市

目次

I 調査の概要	1
II 調査結果	2
1 就学前児童調査	2
(1) お住まいの地域や国籍について	2
(2) お子さんと家族の状況について	4
(3) 子どもの育ちをめぐる環境について	6
(4) 保護者の就労状況について	12
(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	22
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について	31
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について	37
(8) お子さんの病気の際の対応について	42
(9) 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	51
(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について	61
(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	74
(12) 子育て世帯生活状況調査	84
2 就学児童調査	89
(1) お子さんについて	89
(2) お子さんの放課後の過ごし方について	90
(3) 放課後児童クラブ(学童保育)について	98
(4) 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)について	100
(5) 子育て世帯生活状況調査	102

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法に基づくニーズ調査として、今後の幼児教育・保育、子ども・子育て支援事業並びに放課後児童対策について利用ニーズを把握し、子ども・子育て支援事業計画(第3期)策定の基礎資料とすることを目的に行うものです。

2 調査対象

綾瀬市の就学前児童(0～5歳)のいる全世帯、就学児童(小学1～3年生)のいる世帯から無作為による抽出を行い送付しています。

3 調査期間

令和5年11月20日(月)から令和5年12月17日(日)まで

4 調査方法

「ご協力をお願い」を郵送による配布、インターネットによる Web 回収

5 回収状況

	配付数	有効回答数	有効回答率
就学前児童調査	2,452	796(うちやさしい日本語10件)	32.4%
就学児童調査	1,000	389(うちやさしい日本語7件)	38.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・今回の Web 調査では、回答を必須に設定してあるものは、「無回答」がありません。「無回答」の項目がある設問は必須の設定がされていない設問です。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、選択肢の中で、第1位の項目については で網掛けをし(無回答を除く)、属性別にみて、市全体の数値と比べて10ポイント以上高い数値の項目については、太文字で表記している。

Ⅱ 調査結果

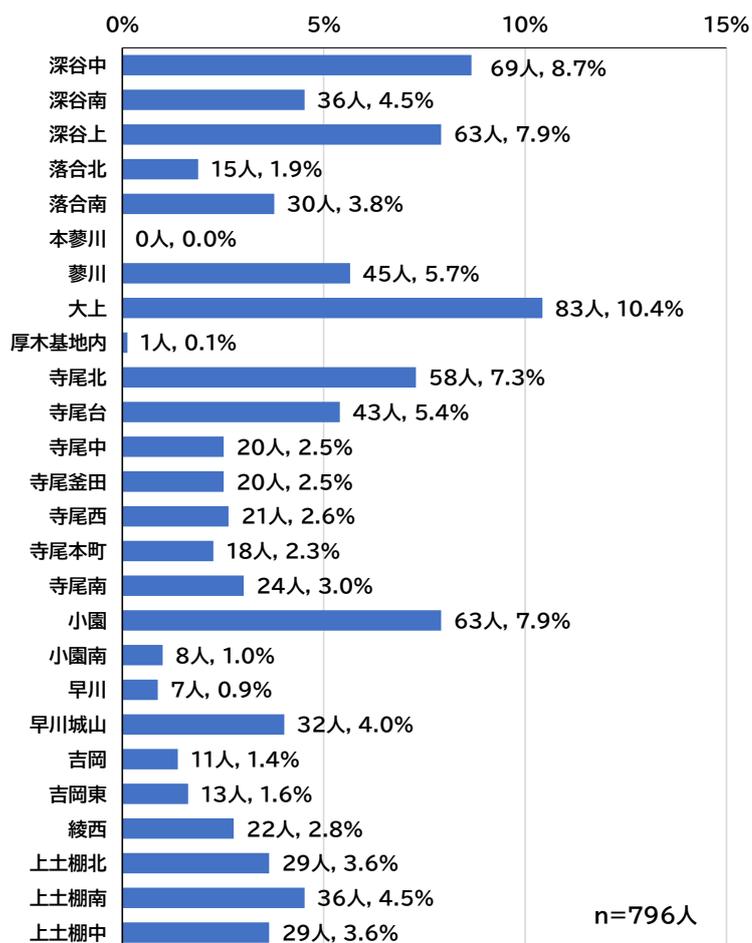
1 就学前児童調査

(1) お住まいの地域や国籍について

問1 あなたについて

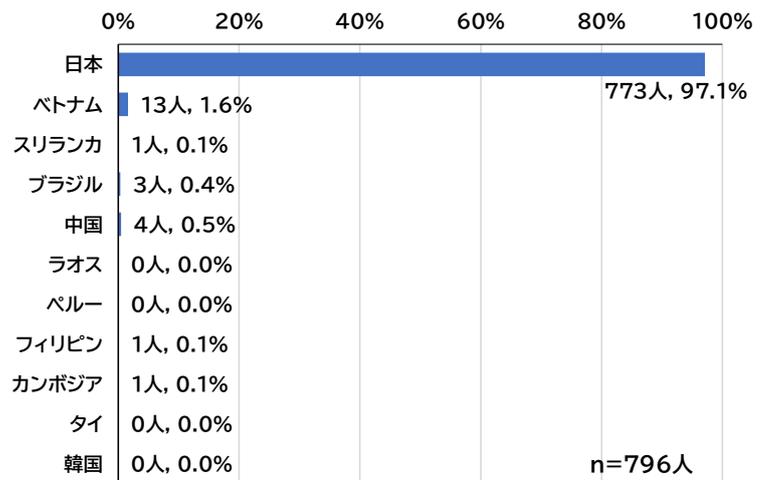
(1) お住まいの地域

「大上」の割合が10.4%と最も高くなっています。



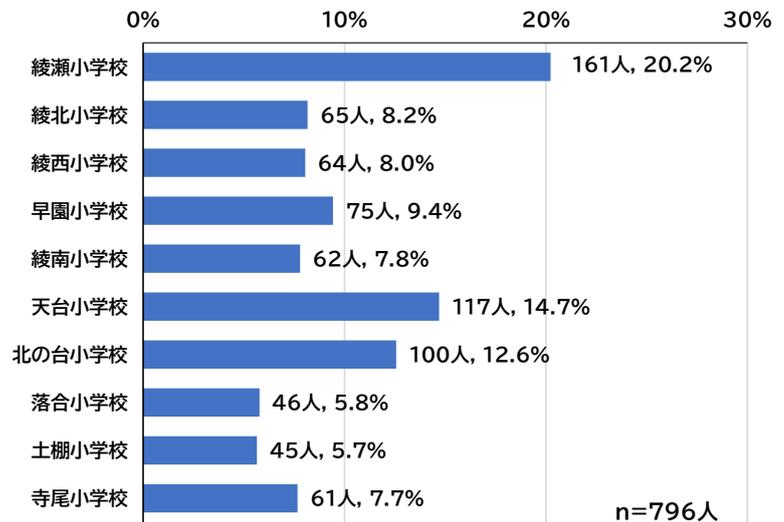
(2) 国籍

「日本」の割合が97.1%と最も高くなっています。



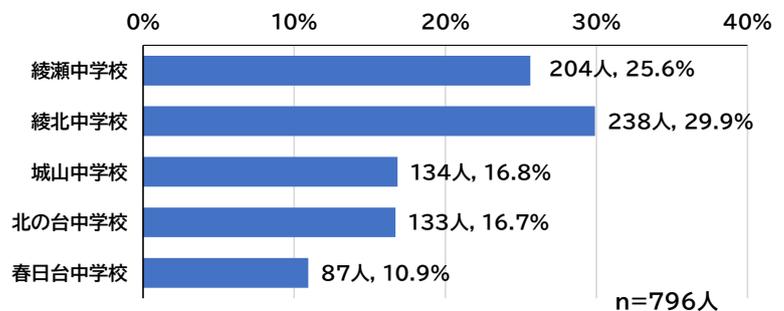
(3) お住まいの地域の小学校区

「綾瀬小学校」の割合が20.2%と最も高く、次いで「天台小学校」の割合が14.7%、「北の台小学校」の割合が12.6%となっています。



(4) お住まいの地域の中学校区

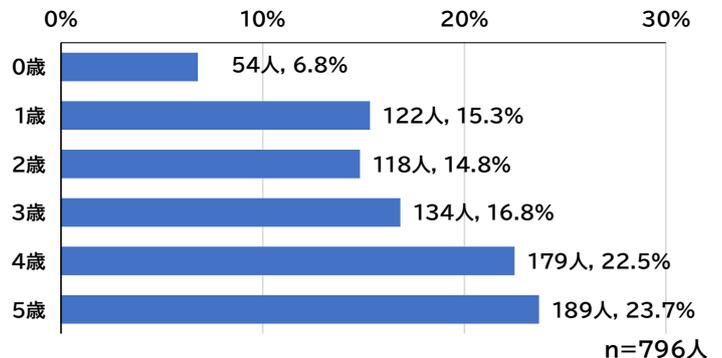
「綾北中学校」の割合が29.9%と最も高く、次いで「綾瀬中学校」の割合が25.6%、「城山中学校」の割合が16.8%となっています。



(2) お子さんと家族の状況について

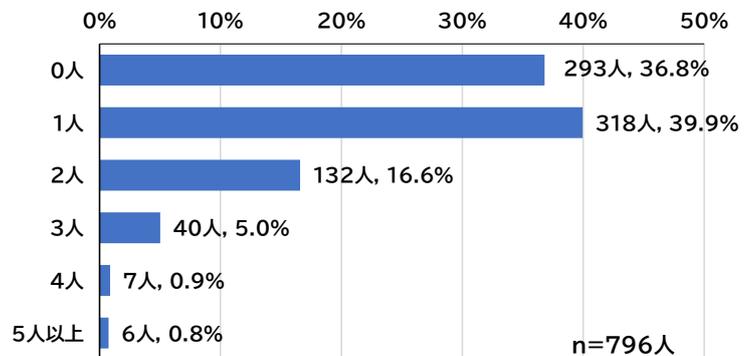
問3 宛名のお子さんの年齢(年度別)

「5歳」の割合が23.7%と最も高く、次いで「4歳」の割合が22.5%、「3歳」の割合が16.8%となっています。



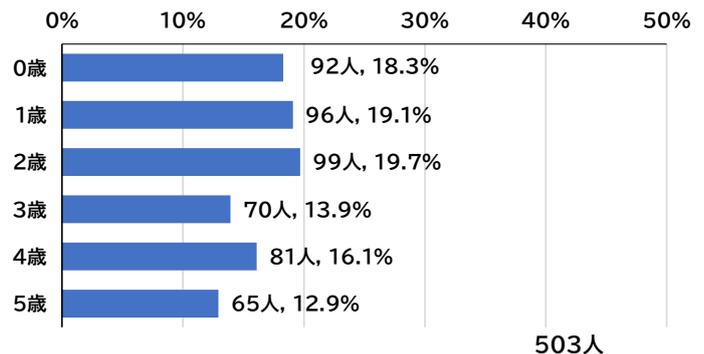
問4 宛名のお子さんを含まない兄弟の人数

「1人」の割合が39.9%と最も高く、次いで「0人」の割合が36.8%、「2人」の割合が16.6%となっています。



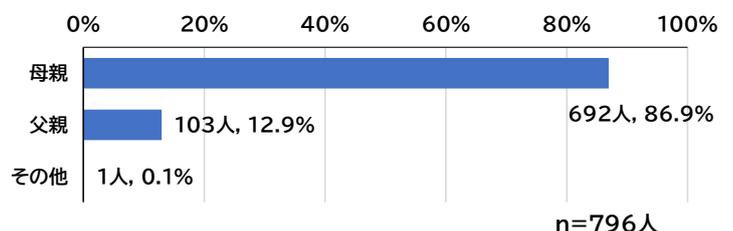
問4-1 お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末っ子の方の生年月日を選択してください。

「2歳」の割合が19.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が19.1%、「0歳」の割合が18.3%となっています。



問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

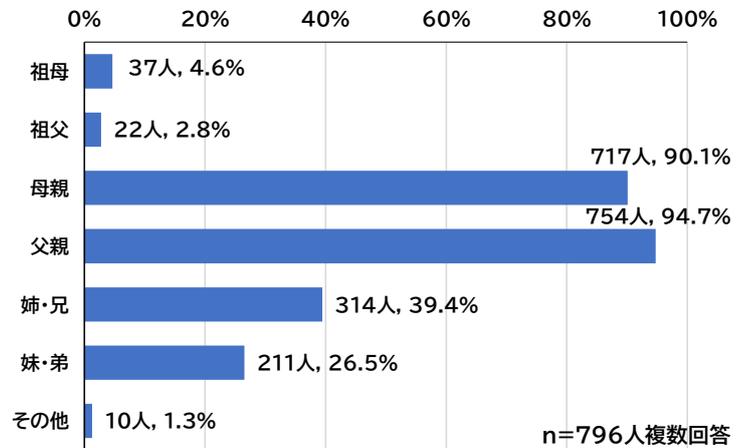
「母親」の割合が86.9%、「父親」の割合が12.9%となっています。



問6 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成お答えください。(複数回答)

※単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(お子さんから見た続柄でお答えください。)

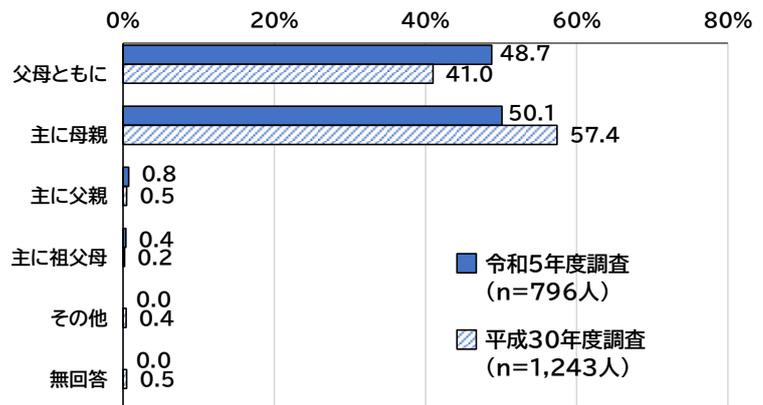
「父親」、「母親」の割合がそれぞれ94.7%、90.1%、次いで、「姉・兄」、「妹・弟」の割合がそれぞれ39.4%、26.5%となっています。



問7 宛名のお子さんの家庭での子育てを主に行っているのはどなたですか。

「主に母親」の割合が50.1%と最も高く、次いで「父母ともに」の割合が48.7%となっています。

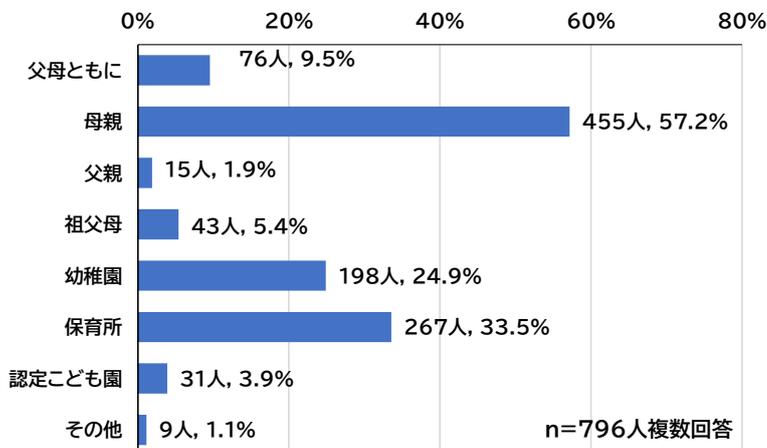
平成30年度調査と比較すると、「主に母親」の割合が減少している一方、「父母ともに」の割合が増加しています。



(3) 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 宛名のお子さんを日中みている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係で当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答)

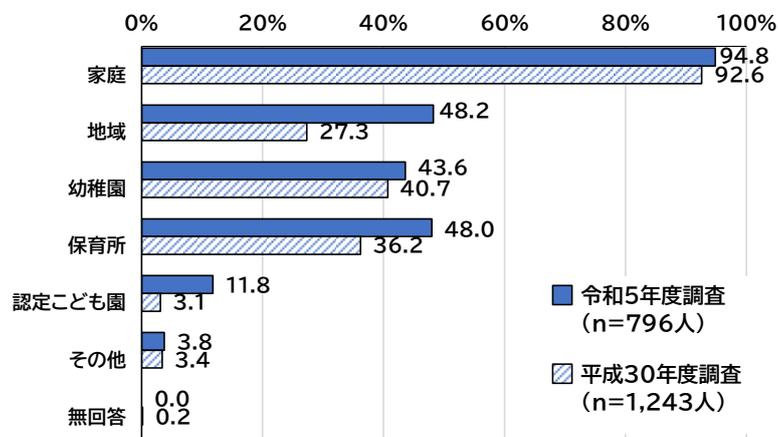
「母親」の割合が57.2%と最も高く、次いで「保育所」の割合が33.5%、「幼稚園」の割合が24.9%となっています。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、影響すると思われる環境をすべて選択してください。(複数回答)

「家庭」の割合が94.8%と最も高く、次いで「地域」の割合が48.2%、「保育所」の割合が48.0%、「幼稚園」の割合が43.6%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「地域」の割合が20.9ポイント増加し、「家庭」の次に影響すると思われる環境となっています。また、「保育園」と「幼稚園」の順位が逆転し、「保育園」が「地域」に次いで第3位となっています。

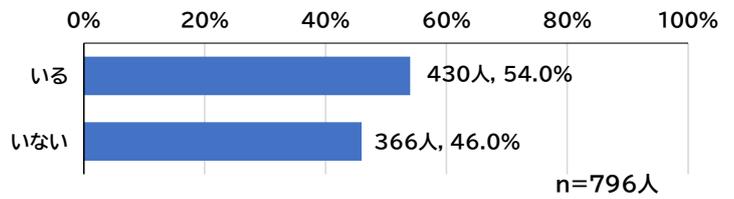


問 10 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

「いる」の割合が 54.0%、「いない」の割合が 46.0%となっています。

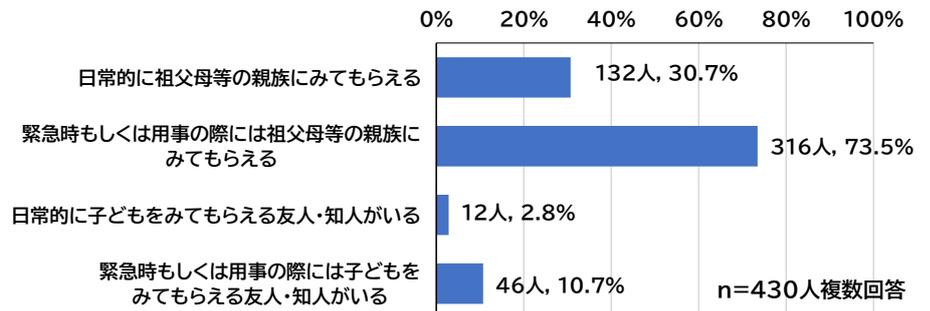
【参考】平成 30 年度調査では「いずれもない」の割合が 18.4%であることから、お子さんをみてもらえる親族・知人がいない割合に増加傾向がみられます。

どういったときにみてもらえるかでは、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 73.5%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が 30.7%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が 10.7%となっています。

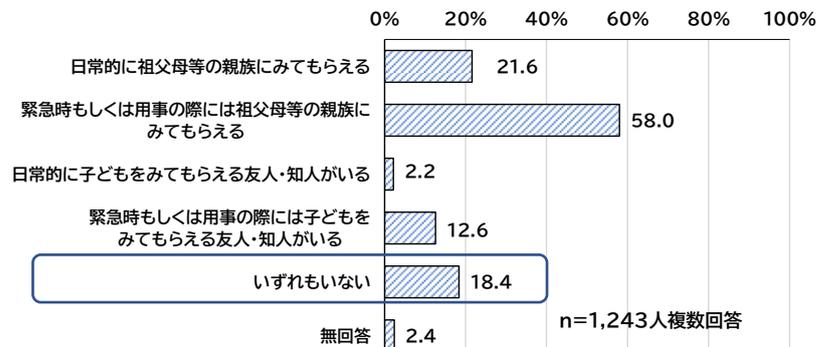


問 10 で「いる」を選択した方

【どういったときにみてもらえますか。(複数回答)】

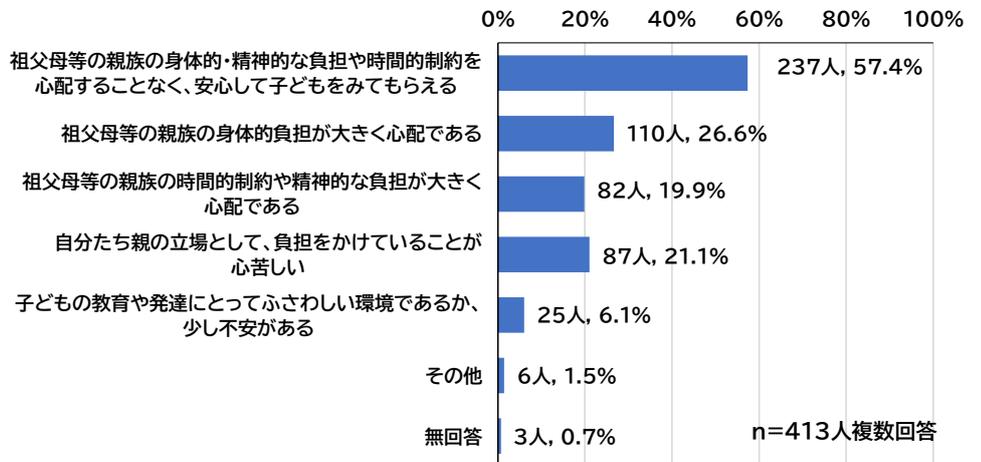


【参考】平成30年度調査



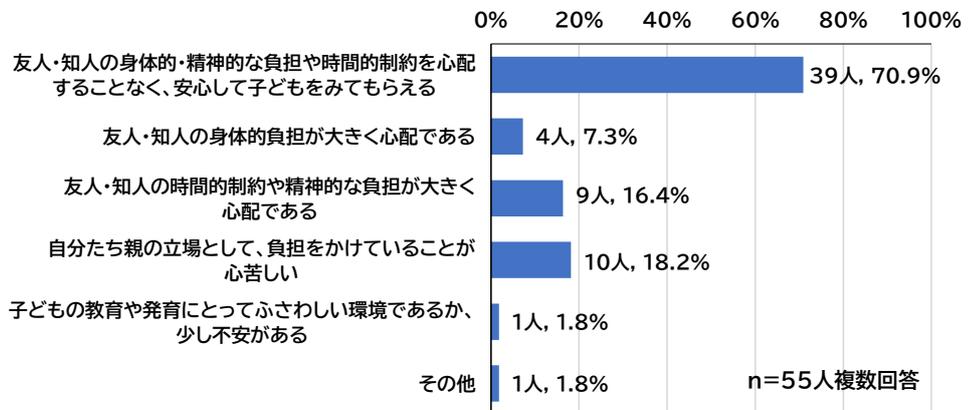
問 10-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が57.4%と最も高く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」の割合が26.6%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が21.1%となっています。



問 10-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる選択肢をすべてに選択してください。(複数回答)

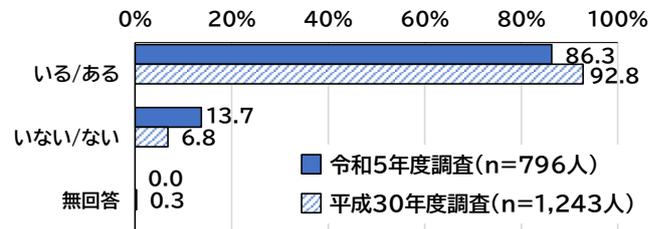
「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が70.9%と最も高く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」の割合が18.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」の割合が16.4%となっています。



問 11 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

「いる／ある」の割合 86.3%、
「いない／ない」の割合が 13.7%
となっています。

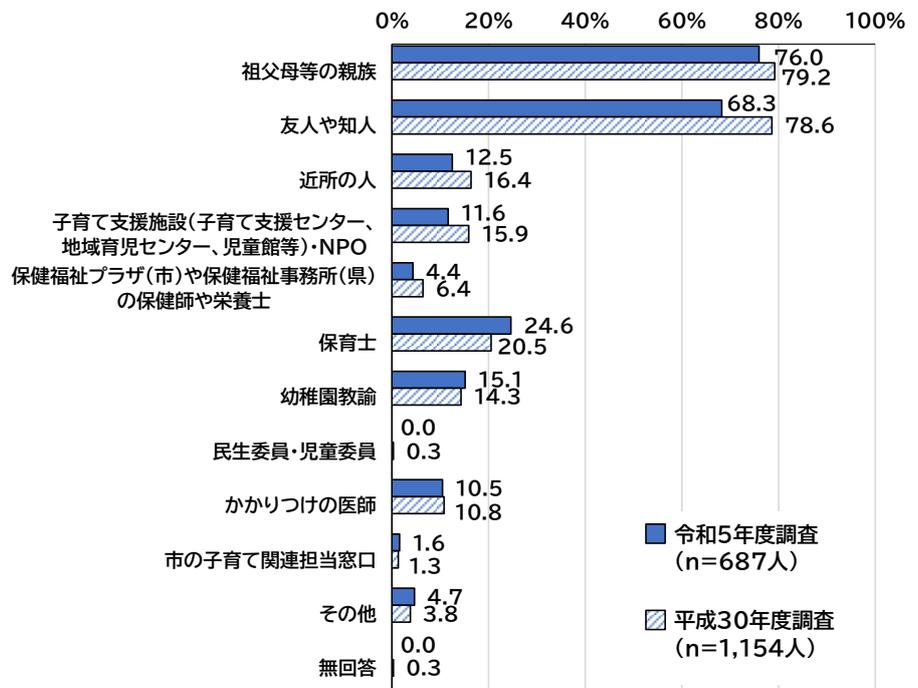
平成 30 年度調査と比較すると、「いる／ある」の割合が 6.5 ポイント減少し、「いない／ない」の割合が 6.9 ポイント増加しています。



問 11-1 問 11 で「いる/ある」と回答した方 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。あてはまるものをすべて選択してください。(複数回答)

「祖父母等の親族」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 68.3%、「保育士」の割合が 24.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「友人や知人」の割合が 10.3 ポイント減少し、「保育士」の割合が 4.1 ポイント増加しています。



問 12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

320人の方から 464 件の意見をいただきました。

意見内容	件数
預け先の充実(一時、長期休暇、休日)	88
相談	50
経済的支援、物的支援	49
幼稚園・保育園・こども園	39
母親のレスパイト・リフレッシュ	20
交流場所、機会	17
病児保育	15
情報提供	15
遊び場、公園	14
ベビーシッター、自宅保育、自宅訪問、保育サービス	14
付き添い、保護者のサポート、家事代行	11
産後ケア、出産	10
多様な支援、支援の充実	10
移動支援、移動の負担軽減	9
発育、発達	8
教育支援	8
イベントの開催、講座	8
健診	6
働きやすい環境づくり	6
講座や教室の開催	6
医療の充実	5
子育て支援センター	5
学童保育、放課後の居場所	5
地域コミュニティ	5
ファミリーサポート	4
公共交通機関	4
道路、歩道	4
児童館、コミュニティセンター	4
行政の対応	4
子連れで行ける場所(飲食店等)	3
防犯	3
習い事	3
通学、学区	3
声かけ、働きかけ	3
授乳室、ベビー休憩所	2
その他	4
合計	464

問 12 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいか(自由記述)について、意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 預け先の充実(一時、長期休暇、休日)について

- ・ もっと気軽に子供を預けられるようになるといいと思う。上の子は幼稚園、下の子は認可外保育園に通っているが仕事がない時はどちらも預かって貰えない(預かり保育の利用が出来ない)ので、母親の仕事が休みの時は必然的に下の子も保育園が休みとなるので、休みなのに休みではない。父親母親共に両親が遠方の為、普段から頼る事ができないので園によるとは思うが仕事か休みの時の利用は月何回までなど回数を決めて利用出来ると良い
- ・ 一時保育の利用のしやすさ。現状、直近で使用することが出来ていない(1ヶ月、2ヶ月先まで定員だと断られる事が多い。)

- ・ 気軽に子供を預けられるしくみ。保育園の先生方とゆっくり話す時間が欲しい。
- ・ 市の施設や検診を利用する時(欲を言えば買い物や美容室や母親の通院の時にも)などに小さな子供をみてもらえるサービスがあると良いです。

⇒ こどもをもっと気軽に預けることができることを望む声が多くみられています。通常の保育だけでなく、リフレッシュ目的での利用などを求める声も多くみられています。

2 気軽に相談できる場所等について

- ・ LINE など気軽に質問できるようなサポート。(電話や面談だと子どもが邪魔をしてくるので、手が空いたときに簡単にできるものがあると嬉しい)
- ・ 育児相談とかかしこまった事だけでなく、他愛もない話、成長の共有を定期的に話せる人が欲しい。
- ・ 近くに頼れる子育て世代もおらず、保育園を探す際は市役所のみが頼りだったが、具体的な話ができず「ママ友などでみんな情報を得たりする」と言われたりしたが地元でなければ引っ越してきて間もなくコロナ禍もあり、ましてや保育園に預けようと思っている人ばかりでもないで結局誰にも相談できず心細かった。もっと具体的な状況を言ってもらえたらもっと早く次の行動に移せたと思う。

⇒ SNS やアプリなど、従来の「相談」の枠で収まりきらない方法を求める声が多くみられています。堅苦しい「相談」の形を望まない姿が浮き彫りになっています。

3 経済的支援、物的支援について

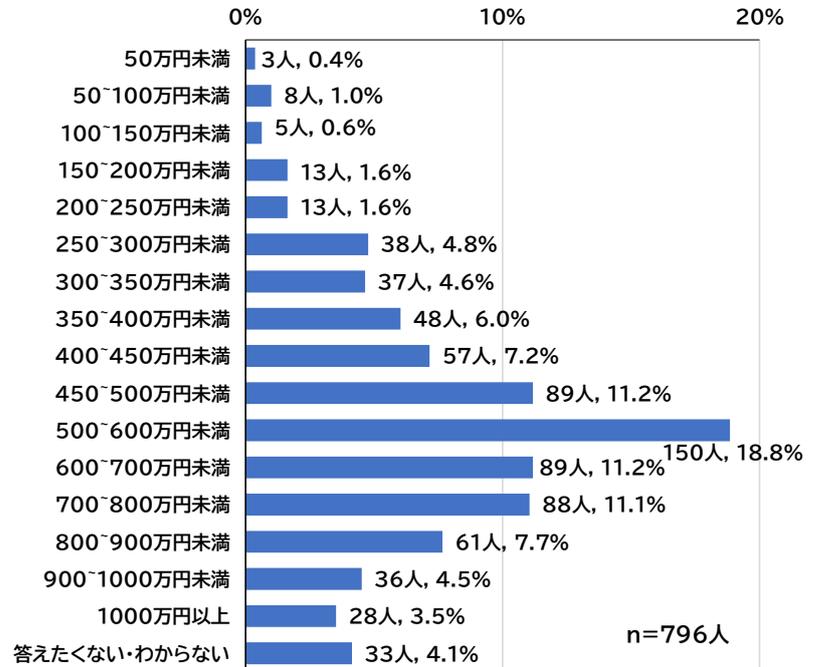
- ・ 教育費(習い事)が高額な為、支援もしくは、リーズナブルになると助かる。
- ・ 金銭的援助があると、こどもに今よりもさらにさまざまな経験をさせる機会が増え、こどもの感受性や、幼少期での大切な思い出が増えるなど、良いことがたくさん起きるのではないかと考えています。
- ・ 料金を気にしないで預けられたり、子どもの興味がある事ができるように、習い事や幼稚園 保育の場で使えるクーポンがあると子ども可能性を広げられたり預けやすい事で働きやすくなると思う

⇒ 未就学児の保護者の調査でも、他の調査と同様に「経済的支援」を求める声が多くみられました。

(4) 保護者の就労状況について

問 13 宛名のお子さんの世帯の現在の年収・保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

「500～600万円未満」の割合が18.8%と最も高く、次いで「450～500万円未満」と「600～700万円未満」の割合がそれぞれ11.2%、「700～800万円」の割合が11.1%となっています。



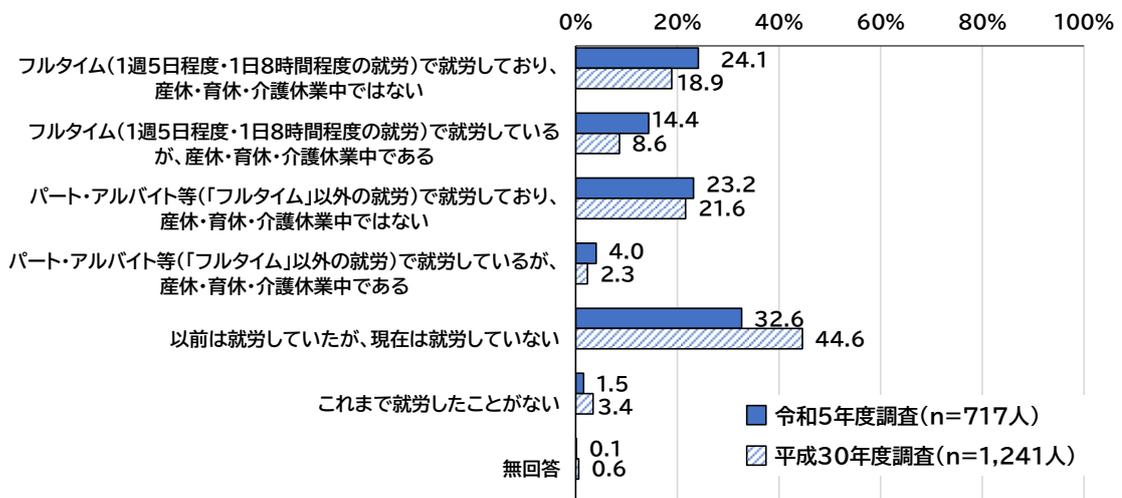
【母親】

問6「お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成」に「母親」に回答した方

問 13(1)母親の就労状況について、当てはまるものを1つ選択してください。

「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が32.6%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が24.1%、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が23.2%、となっています。

平成30年度調査と比較すると、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が12.0ポイント減少し、フルタイムで就労する方がそれぞれ5ポイント以上パートタイムで就労する方が1ポイント以上増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、0歳では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が53.5%、5歳では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が33.7%、1歳～4歳では「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が最も高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が高くなる傾向がみられ、5歳では全体より10ポイント以上高くなっています。さらに0歳～1歳では「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

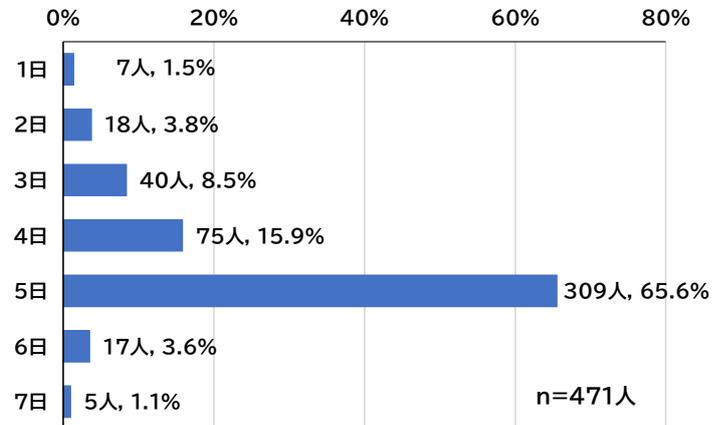
	有効回答数(件)	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体	717	24.1	14.4	23.2	4.0	32.6	1.5	0.1
0歳	43	4.7	53.5	4.7	7.0	27.9	2.3	0.0
1歳	110	18.2	26.4	14.5	8.2	30.9	0.9	0.9
2歳	106	22.6	17.9	17.0	1.9	40.6	0.0	0.0
3歳	124	29.8	11.3	21.0	3.2	31.5	3.2	0.0
4歳	162	24.7	5.6	28.4	3.1	37.0	1.2	0.0
5歳	172	29.1	5.2	33.7	3.5	26.7	1.7	0.0

単位:%

問 13(1)-1 (1)で就労しているを選択した方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」と、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

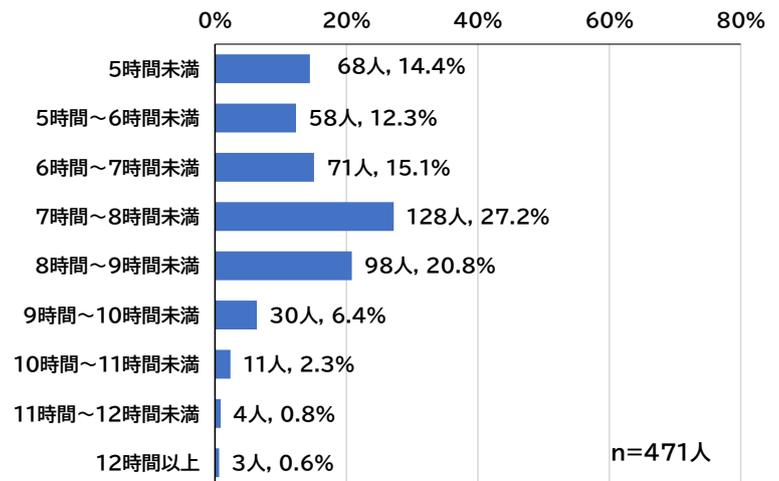
【母親】1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が65.6%と最も高く、次いで「4日」の割合が15.9%、「3日」の割合が8.5%となっています。



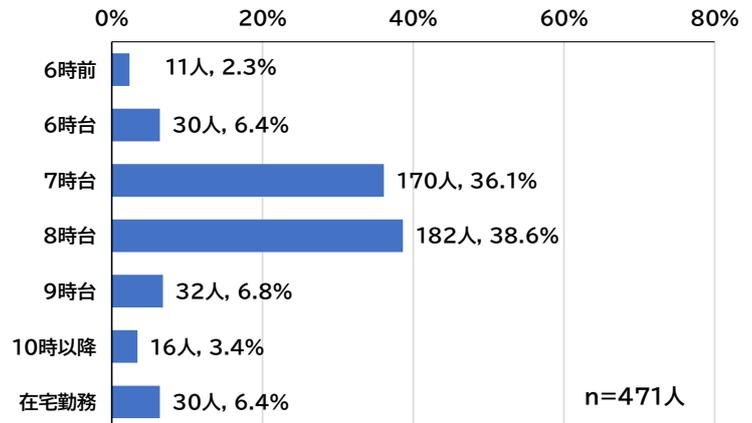
【母親】1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

「7時間～8時間未満」の割合が27.2%と最も高く、次いで「8時間～9時間未満」の割合が20.8%、「6時間～7時間未満」の割合が15.1%となっています。



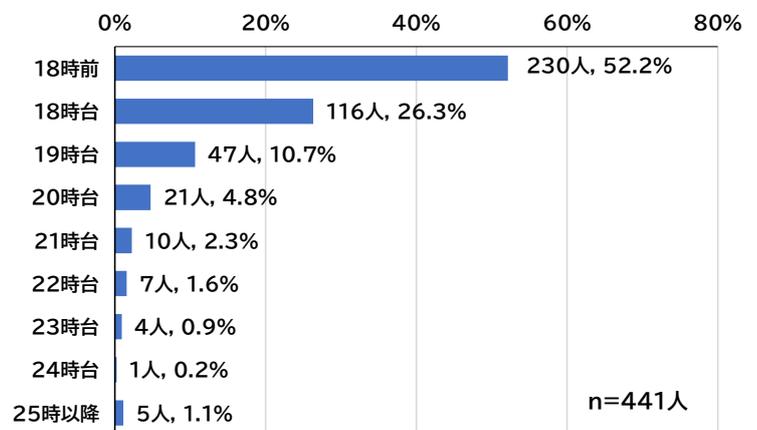
【母親】家を出る時刻(もっとも多いパターン)

「8時台」の割合が38.6%と最も高く、次いで「7時台」の割合が36.1%、「9時台」の割合が6.8%となっています。



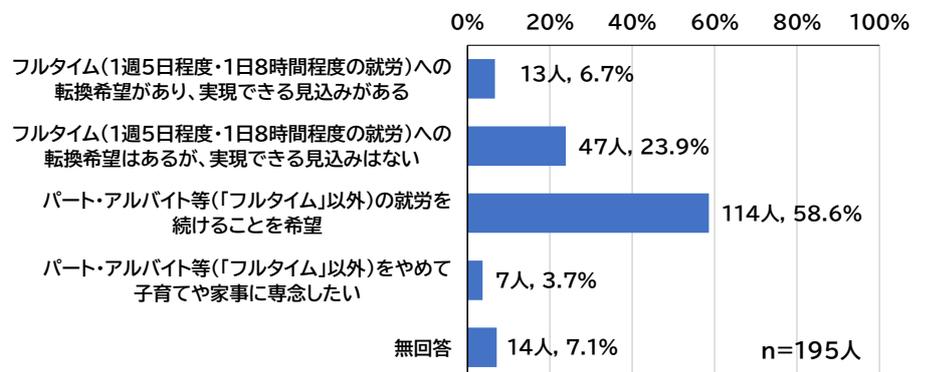
【母親】帰宅時刻(もっとも多いパターン)

「18 時前」の割合が52.2%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が26.3%、「19 時台」の割合が10.7%となっています。



問 14(1) 問 13 の(1)でパート・アルバイト等で就労しているを選択した方にかがいます。
【母親】フルタイムへの転換希望はありますか。

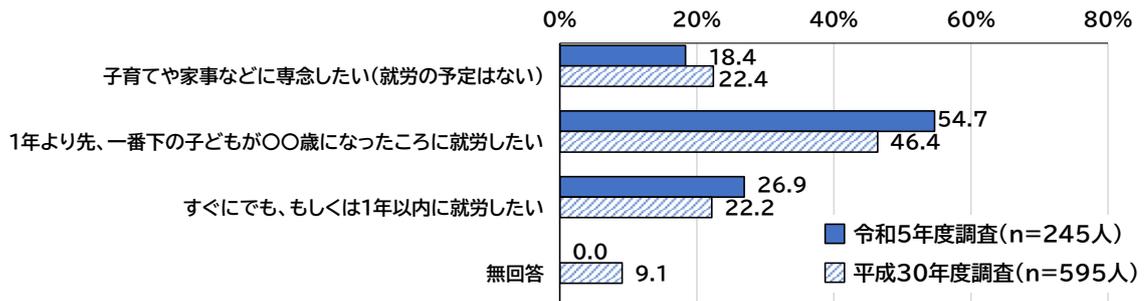
「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が58.6%と最も高く、次いで「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が23.9%となっています。



問 15(1) 問 13(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方にかがいます。【母親】就労したいという希望はありますか。

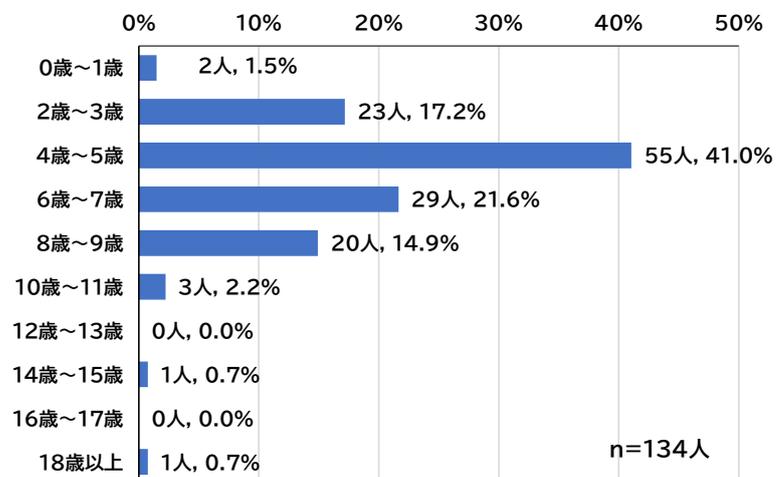
「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」の割合が54.7%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が18.4%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が26.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「就労したい」は増加傾向、「子育てや家事などに専念したい」は減少傾向がみられます。



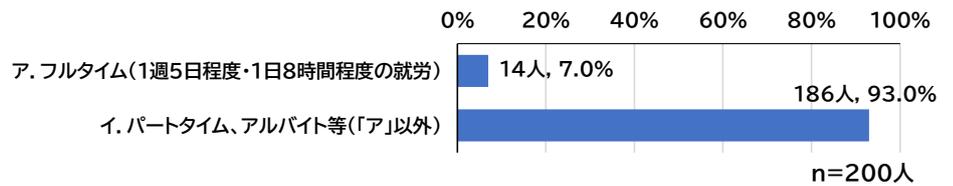
問 15(1)【母親】で「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」を選択した方【母親】お子さんが何歳になったところに就労したいですか

「4歳～5歳」の割合が41.0%と最も高く、次いで「6歳～7歳」の割合が21.6%、「2歳～3歳」の割合が17.2%となっています。



【母親】就労を希望する場合、就労形態

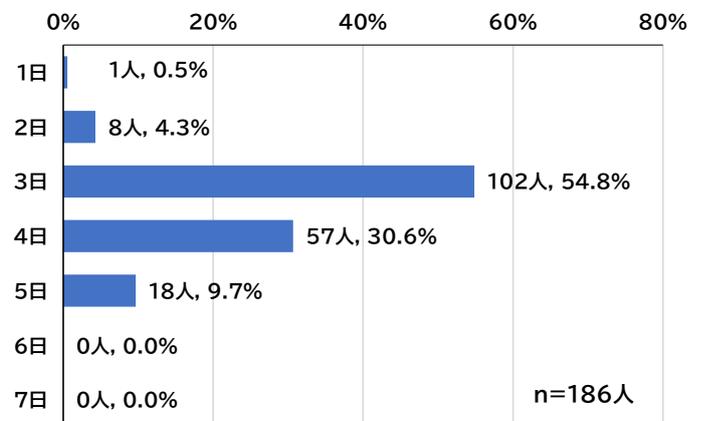
「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」の割合が7.0%、「パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」の割合が93.0%となっています。



問 15(1)-3【母親】で「イ. パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」を選択した方

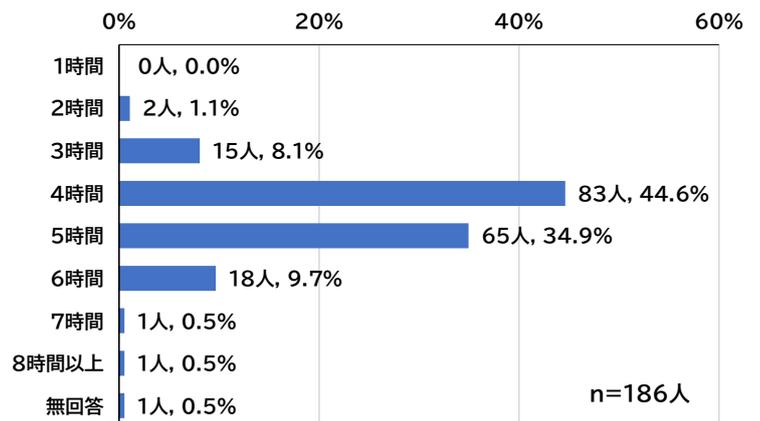
【母親】パートタイム等の場合、1週当たり日数

「3日」の割合が54.8%と最も高く、次いで「4日」の割合が30.6%、「5日」の割合が9.7%となっています。



【母親】パートタイム等の場合、1日あたりの時間数

「4時間」の割合が44.6%と最も高く、次いで「5時間」の割合が34.9%となっています。



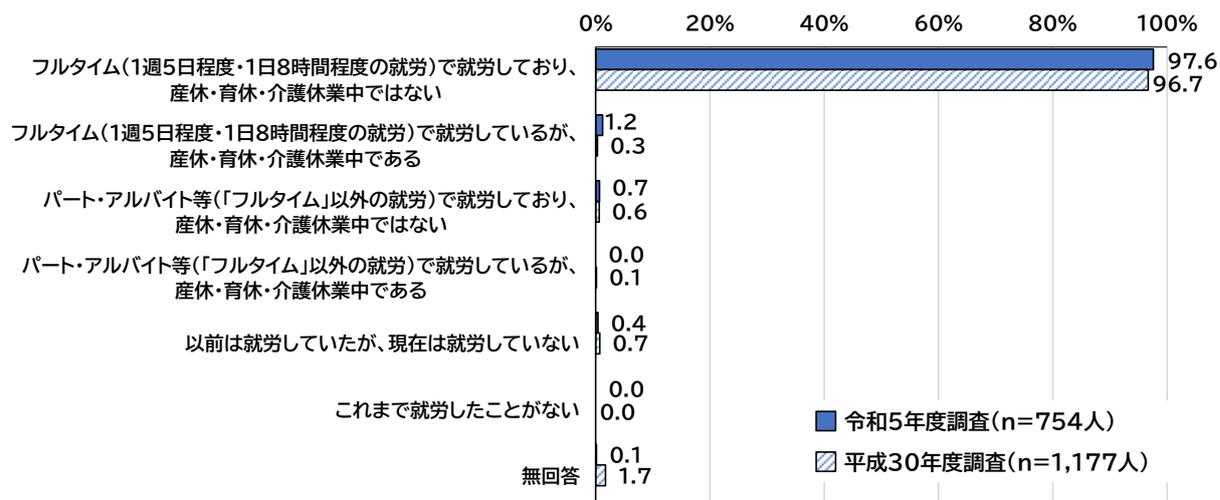
【父親】

問6「お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成」に「父親」に回答した方

問 13(2)父親の就労状況について、当てはまるものを1つ選択してください。

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が97.6%と最も高くなっています。

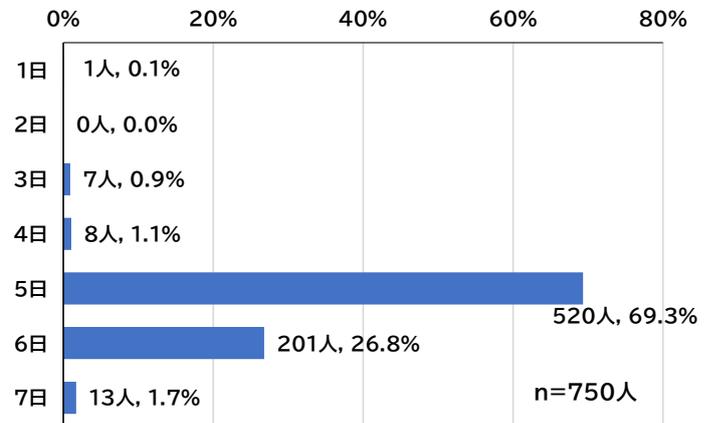
平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



問 13(2) -1 (2)で就労しているを選択した方にかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」と、「帰宅時刻」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

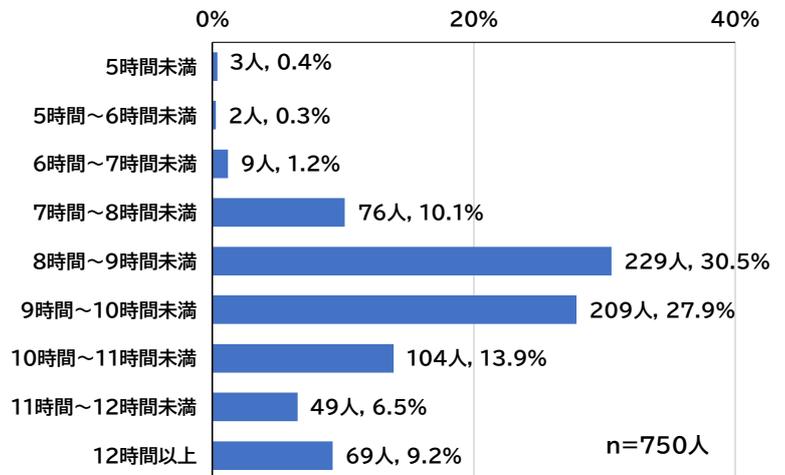
【父親】1週当たりの「就労日数」

「5日」の割合が69.3%と最も高く、次いで「6日」の割合が26.8%となっています。



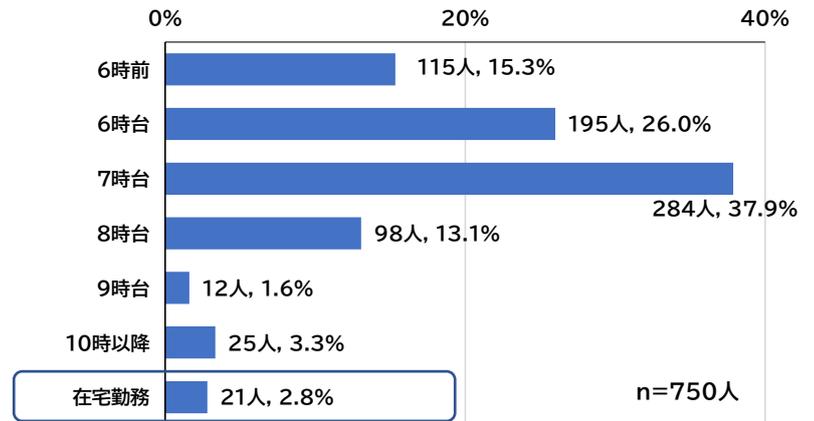
【父親】1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」

「8時間～9時間未満」の割合が30.5%と最も高く、次いで「9時間～10時間未満」の割合が27.9%、「10時間～11時間未満」の割合が13.9%となっています。



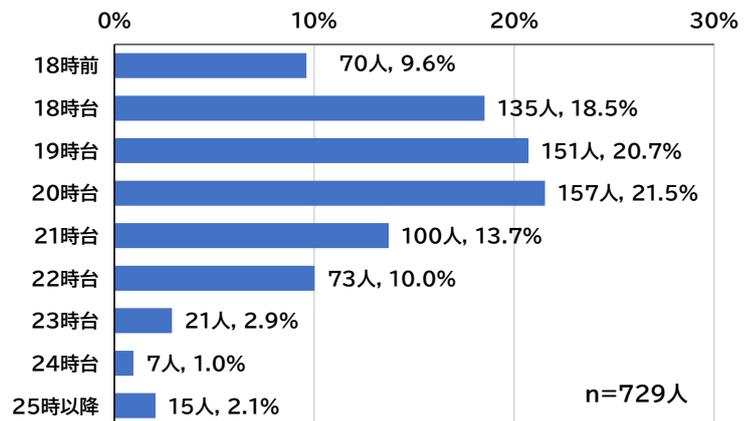
【父親】家を出る時刻(もっとも多いパターン)

「7時台」の割合が37.9%と最も高く、次いで「6時台」の割合が26.0%、「6時前」の割合が15.3%となっています。また、「在宅勤務」が2.8%となっています。



【父親】帰宅時刻(もっとも多いパターン)

「20 時台」の割合が21.5%と最も高く、次いで「19 時台」の割合が20.7%、「18 時前」の割合が18.5%となっています。



※「家を出る時刻」が n=750 人 に対して「帰宅時刻」の n=729 人 となっている理由は、「在宅勤務者」が 21 名いるため

問 14(2) 問 13 の(2)でパート・アルバイト等で就労しているを選択した方にうかがいます。
【父親】フルタイムへの転換希望はありますか。

「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」が 3 件となっています。「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」が2件となっています。

問 15(2) 問 13(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。【父親】就労したいという希望はありますか。

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 3 件となっています。

問 15(2)【父親】で「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」を選択した方
【父親】お子さんが何歳になったころに就労したいですか

有効回答がありませんでした。

問 15(2)【父親】で「1年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選択した方
【父親】就労を希望する場合、就労形態

「フルタイム(1週5日程度・8時間の就労)」が 3件となっています。

問 15(2)-3【父親】で「イ.パートタイム、アルバイト等(「ア」以外)」を選択した方
【父親】パートタイム等の場合、1週当たり日数

有効回答がありませんでした。

【父親】パートタイム等の場合、1日あたりの時間数

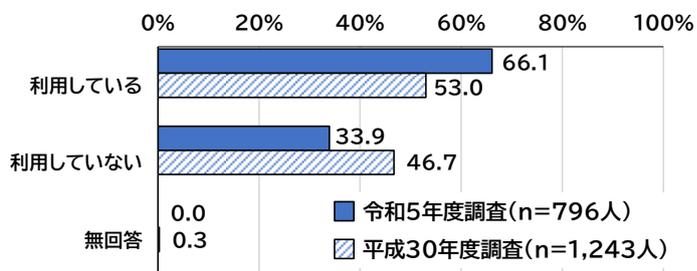
有効回答がありませんでした。

(5) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問 16 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

「利用している」の割合が66.1%、「利用していない」の割合が33.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「利用している」は13.1ポイント増加し、「利用していない」は12.8ポイント減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「利用している」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位: %

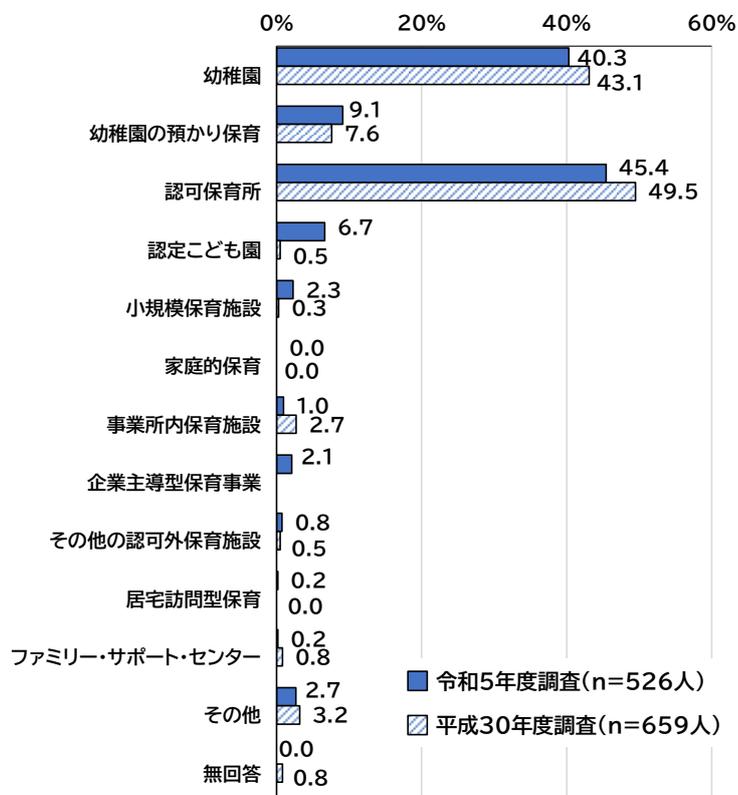
	有効回答数 (件)	利用している	利用していない	無回答
全体	796	66.1	33.9	0.0
0歳	54	3.7	96.3	0.0
1歳	122	24.6	75.4	0.0
2歳	118	43.2	56.8	0.0
3歳	134	64.9	35.1	0.0
4歳	179	94.4	5.6	0.0
5歳	189	98.9	1.1	0.0

問 16 で「利用している」を選択した方

問 16-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまるものを全て選択してください。

「認可保育所」の割合が45.4%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が40.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「認可こども園」の割合が6.2ポイント増加している一方、「認可保育所」の割合が4.1ポイント、「幼稚園」の割合が2.8ポイント減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1～3歳で「認可保育所」の割合が、4歳、5歳で「幼稚園」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	526	40.3	9.1	45.4	6.7	2.3	0.0	1.0	2.1	0.8	0.2	0.2	2.7	0.0
0歳	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
1歳	30	0.0	0.0	70.0	0.0	20.0	0.0	3.3	6.7	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0
2歳	51	0.0	0.0	80.4	9.8	2.0	0.0	3.9	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3歳	87	16.1	4.6	62.1	8.0	4.6	0.0	0.0	4.6	2.3	0.0	0.0	4.6	0.0
4歳	169	58.0	11.8	33.1	5.9	0.0	0.0	0.0	1.8	0.6	0.6	0.6	2.4	0.0
5歳	187	53.5	12.8	35.8	7.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	2.1	0.0

※ 選択肢「0歳」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「認可保育所」の割合が全体より10ポイント以上高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「幼稚園」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	526	40.3	9.1	45.4	6.7	2.3	0.0	1.0	2.1	0.8	0.2	0.2	2.7	0.0
フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	163	10.4	7.4	75.5	8.0	1.2	0.0	1.2	3.7	1.2	0.0	0.6	1.8	0.0
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	38	13.2	0.0	71.1	7.9	2.6	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	147	44.2	17.7	39.5	6.1	3.4	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	18	27.8	5.6	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労して いない	109	89.0	6.4	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	5.5	0.0
これまで就労したことがない	5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労

パート・アルバイト等 :フルタイム」以外の就労

※ 選択肢「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

問 16 で「利用している」を選択した方

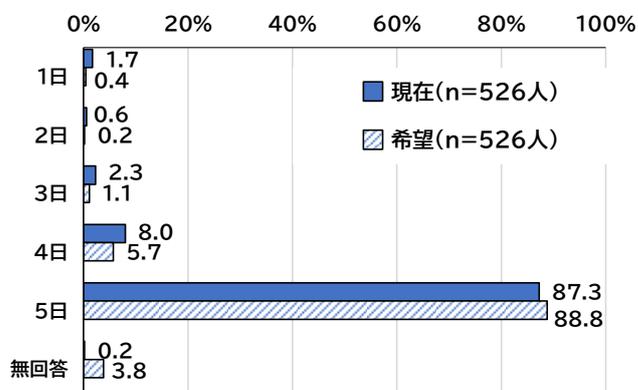
問 16-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について教えてください。(問 16-1で複数選択した方は、その合計を記載してください。)

<現在の利用>

【1週当たり利用日数(現在・希望)】

現在では「5日」の割合が 87.3%と最も高くなっています。

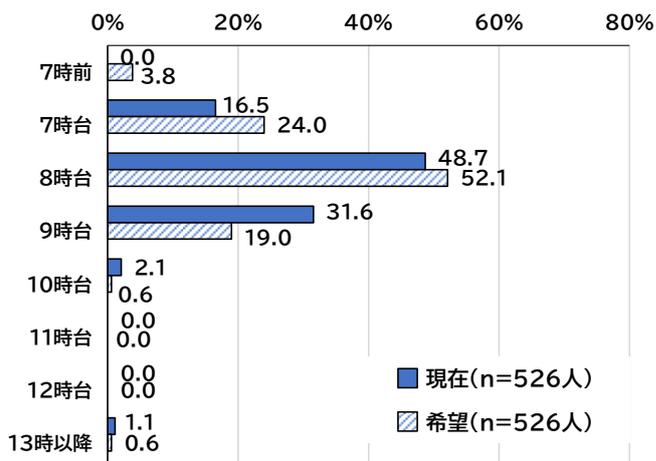
希望では「5日」の割合が 88.8%と最も高くなっています。



【利用開始時刻(現在・希望)】

現在では「8 時台」の割合が 48.7%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 31.6%、「7 時台」の割合が 16.5%となっています。

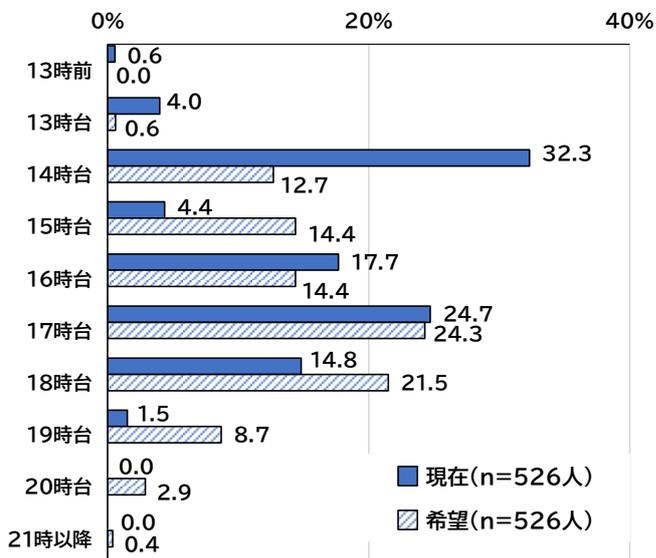
希望では「8 時台」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 19.0%、「7 時台」の割合が 24.0%となっています。



【利用終了時刻(現在・希望)】

現在では「14 時台」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「17 時台」の割合が 24.7%、「16 時台」の割合が 17.7%となっています。

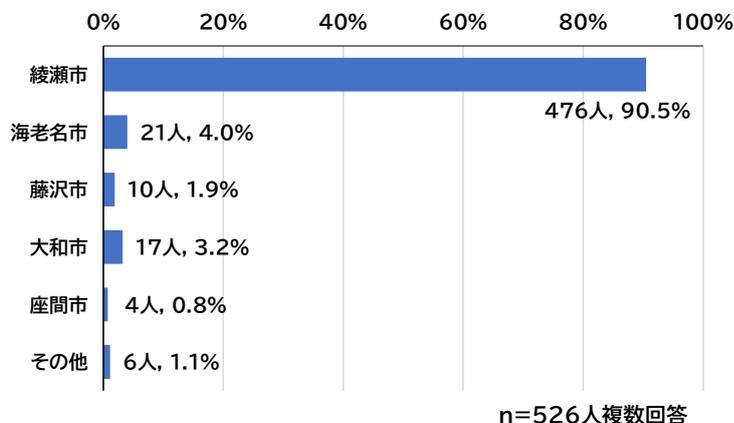
希望では「17 時台」の割合が 24.3%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.5%、「15 時台」と「16 時台」の割合が同率で 14.4%となっています。



問 16 で「利用している」を選択した方

問 16-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまるものすべてを選択してください。(複数回答)

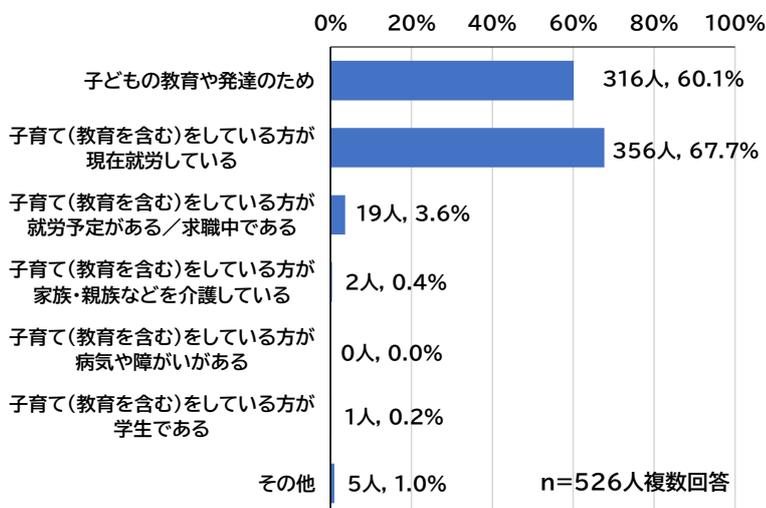
「綾瀬市」の割合が 90.5%と最も高くなっています。



問 16 で「利用している」を選択した方

問 16-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる選択肢すべてを選んでください。(複数回答)

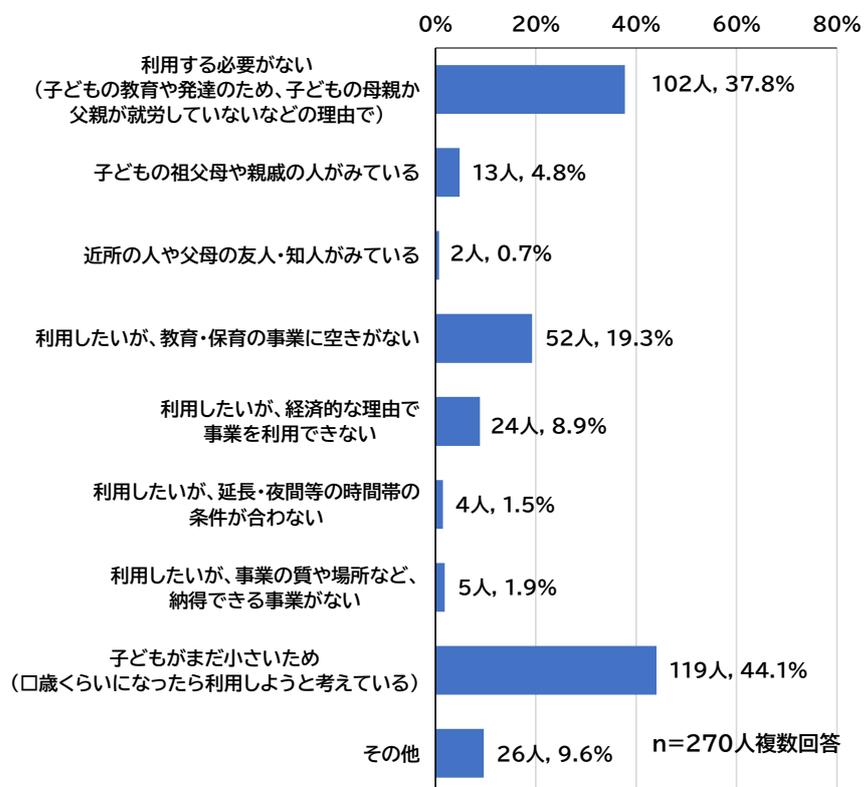
「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が 60.1%となっています。



問 16 で「利用していない」を選択した方にうかがいます。

問 16-5 利用していない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

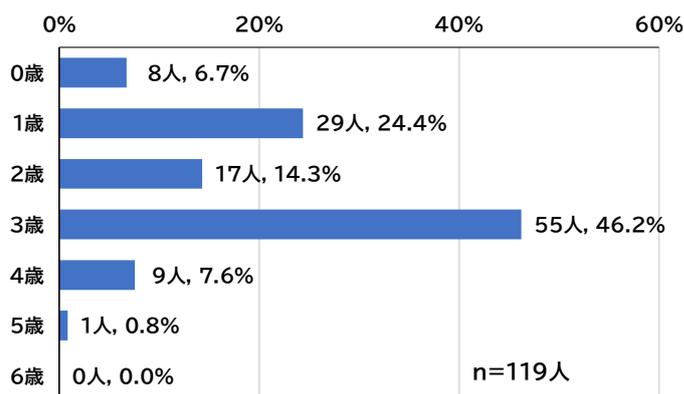
「子どもがまだ小さいため」の割合が44.1%と最も高く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」の割合が37.8%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」の割合が19.3%となっています。



問 16-5 で「子どもがまだ小さいため」を選択した方にうかがいます。

[子どもが何歳くらいになったら利用しようと考えていますか。]

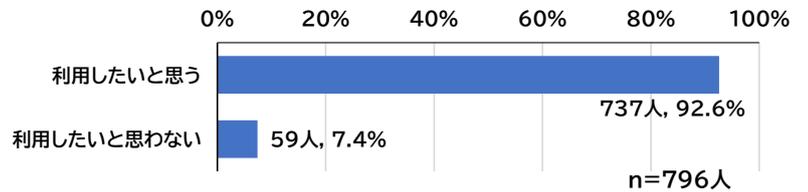
「3歳」の割合が46.2%と最も高く、次いで「1歳」の割合が24.4%、「2歳」の割合が14.3%となっています。



問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんについて、問16のような定期的な教育・保育事業を「定期的に」利用したいと思いますか。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「利用したいと思う」の割合が92.6%、「利用したいと思わない」の割合が7.4%となっています。

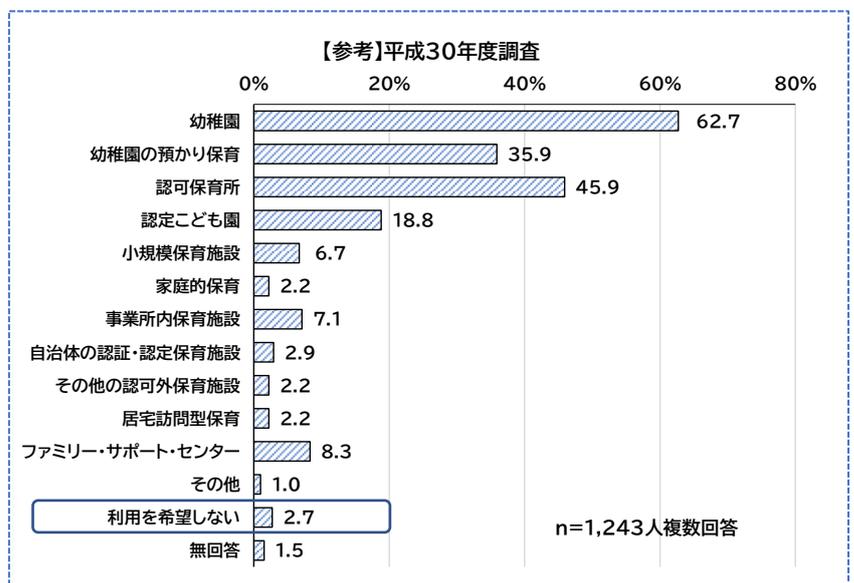
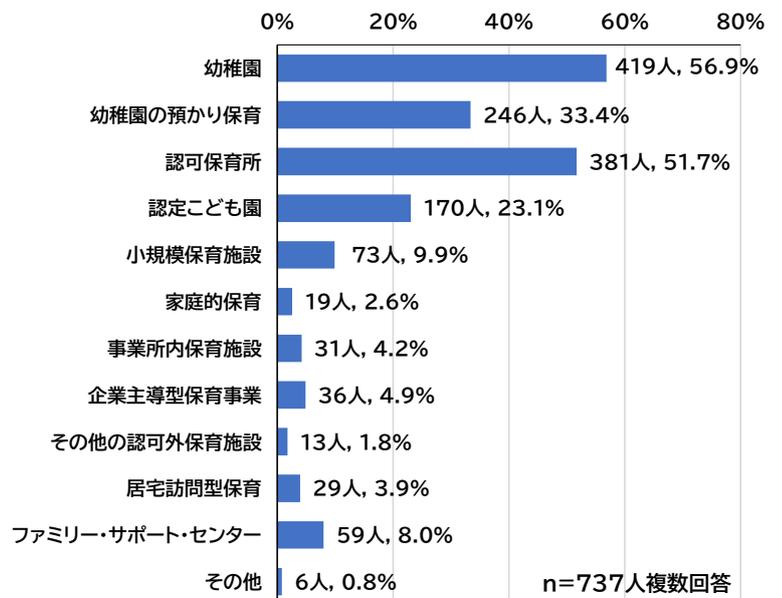
【参考】平成30年度調査では「利用したいと思わない」の割合が2.7%であることから、利用を希望される方の割合に減少傾向がみられます。



問 17 で「利用したいと思う」を選択した方

[利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる選択肢をすべて選んでください。(複数回答)]

利用したいと思う事業としては、「幼稚園」の割合が56.9%と最も高く、次いで「認可保育所」の割合が51.7%、「幼稚園の預かり保育」の割合が33.4%、「認定こども園」が23.1%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別で見ると、他に比べ、0歳～3歳児で「認可保育所」の割合が、4歳以上で「幼稚園」の割合が高くなっています。また、0歳～2歳児で「認可保育園」の割合が、0歳～2歳児で「小規模保育施設」の割合が、4歳児で「幼稚園」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	737	56.9	33.4	51.7	23.1	9.9	2.6	4.2	4.9	1.8	3.9	8.0	0.8	0.0
0歳	51	51.0	31.4	64.7	37.3	29.4	3.9	3.9	7.8	7.8	2.0	3.9	2.0	0.0
1歳	106	46.2	21.7	68.9	27.4	22.6	7.5	6.6	5.7	1.9	7.5	12.3	0.0	0.0
2歳	108	52.8	27.8	64.8	32.4	14.8	1.9	8.3	7.4	1.9	4.6	8.3	0.9	0.0
3歳	123	54.5	30.9	56.1	22.0	7.3	1.6	3.3	4.1	1.6	2.4	7.3	0.0	0.0
4歳	171	67.3	39.2	38.0	17.0	3.5	1.2	1.2	2.9	1.2	5.3	9.4	1.2	0.0
5歳	178	59.0	40.4	39.9	17.4	1.7	1.7	3.9	4.5	0.6	1.7	5.6	1.1	0.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別で見ると、他に比べ、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「認可保育所」の割合が全体より10ポイント以上高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「幼稚園」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。また、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中であるでは、「認定こども園」と「小規模保育施設」の割合が、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」では「幼稚園の預かり保育」の割合が、全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模保育施設	家庭的保育	事業所内保育施設	企業主導型保育事業	その他の認可外保育施設	居宅訪問型保育	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
全体	737	56.9	33.4	51.7	23.1	9.9	2.6	4.2	4.9	1.8	3.9	8.0	0.8	0.0
フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	167	32.3	26.3	77.2	21.6	6.0	4.2	7.8	7.2	1.2	3.6	9.6	0.0	0.0
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	96	36.5	20.8	76.0	38.5	21.9	4.2	5.2	8.3	5.2	5.2	8.3	1.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	160	58.1	44.4	47.5	21.9	8.8	1.3	2.5	3.1	1.3	3.1	6.3	0.6	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	28	35.7	17.9	64.3	28.6	3.6	3.6	0.0	3.6	0.0	7.1	3.6	0.0	0.0
以前は就労していたが、 現在は就労していない	202	90.1	39.1	21.3	15.8	9.9	2.0	3.5	3.5	1.0	2.5	7.9	2.0	0.0
これまで就労したことがない	9	88.9	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労

※ パート・アルバイト等 :フルタイム以外の就労

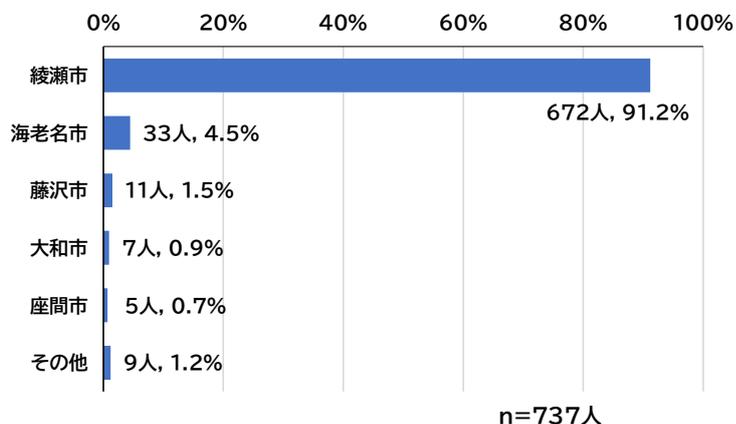
※ 選択肢「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

問 17 で「利用したいと思う」を選択した方

問 17-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまるものを1つ選択してください。

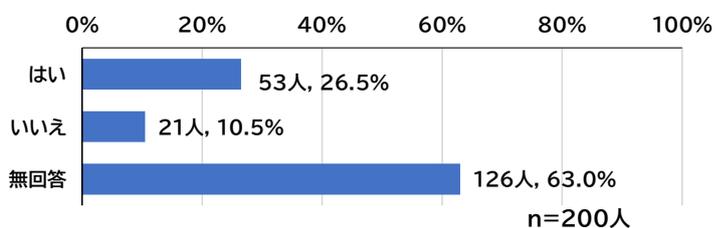
なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

「綾瀬市」の割合が 91.2%と最も高くなっています。



問 17-2 問 17 で「幼稚園(通常の就園時間の利用)」または「幼稚園の預かり保育」を選択し、かつ「認可保育所」から「ファミリーサポートセンター」のいずれかの事業を選択した方にうかがいます。特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

「はい」の割合が 26.5%、「いいえ」の割合が 10.5%となっています。



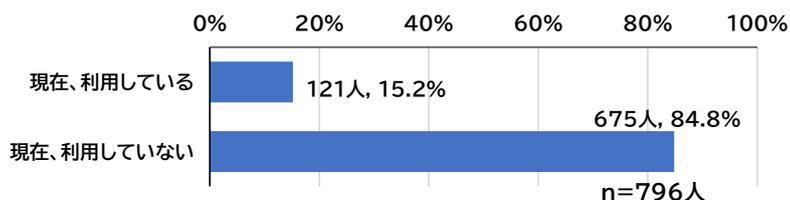
(6) 地域の子育て支援事業の利用状況について

問 18 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場、「子育て支援センター」「子育てサロン」等と呼ばれています)を利用していますか。利用している場合は、【週あたり】【1か月あたり】【3か月あたり】【6か月あたり】のどれかから、回答しやすい期間で利用している回数をお答えください。

問 18-1 <地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)>

「現在、利用している」の割合が15.2%、「現在、利用していない」の割合が84.8%となっています。

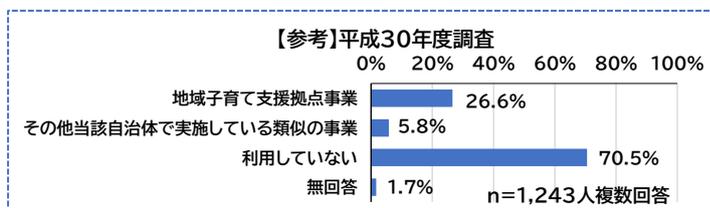
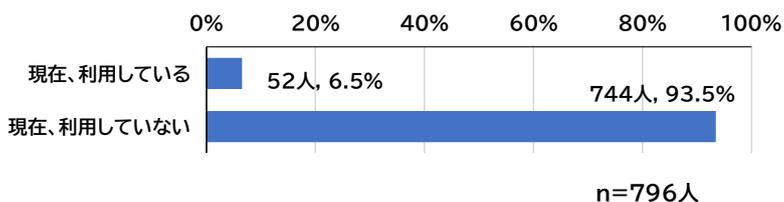
【参考】平成30年度調査では、利用は26.8%となであることから、利用されている方の割合に減少傾向がみられます。



問 18-2 <その他当該自治体で実施している類似の事業>

「現在、利用している」の割合が6.5%、「現在、利用していない」の割合が93.5%となっています。

【参考】平成30年度調査では、利用は5.8%となであることから、利用されている方の割合に減少傾向がみられます。



【子どもの年齢別】<地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)>

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1～2歳で「現在、利用している」の割合が、4～5歳で「現在、利用していない」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

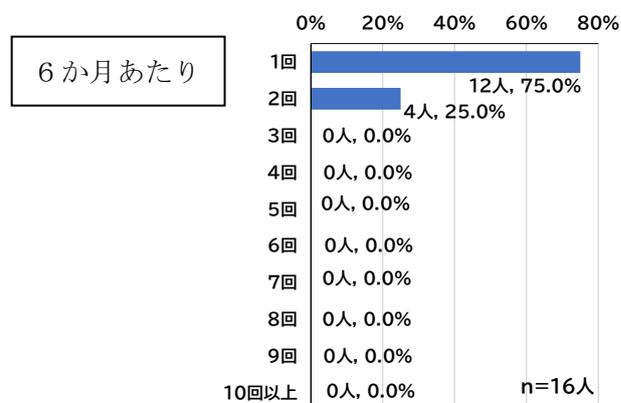
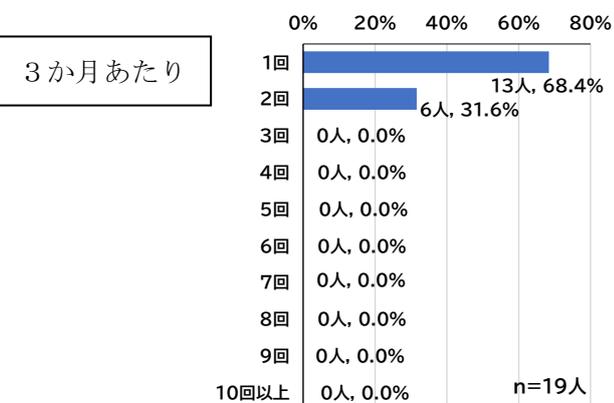
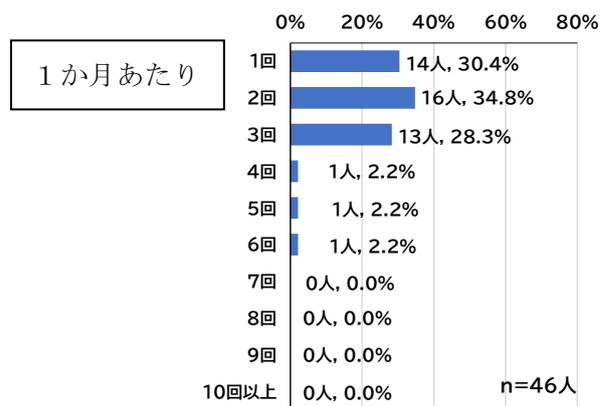
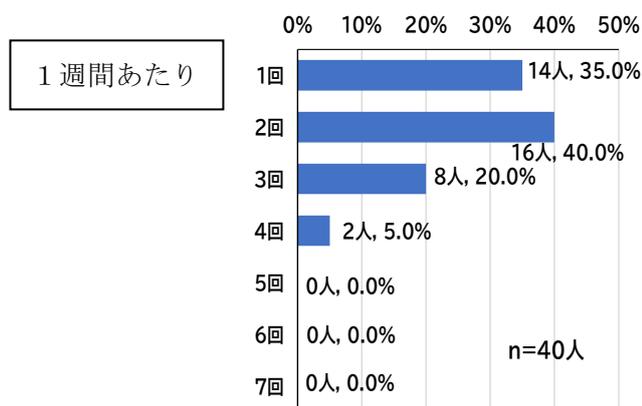
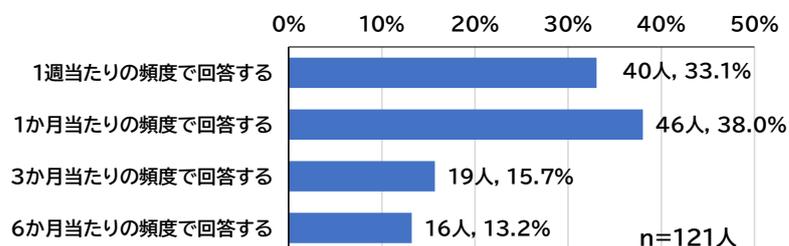
単位:%

	有効回答数 (件)	現在、 利用 している	現在、 利用 していない	無 回 答
全体	796	15.2	84.8	0.0
0歳	54	13.0	87.0	0.0
1歳	122	41.0	59.0	0.0
2歳	118	29.7	70.3	0.0
3歳	134	14.9	85.1	0.0
4歳	179	2.8	97.2	0.0
5歳	189	2.1	97.9	0.0

<地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)>

問 18-1 で「現在、利用している」を選択した方

【利用頻度】



【1週あたりでの利用回数】

「2回」の割合が40.0%と最も高く、次いで「1回」の割合が35.0%となっています。

【1か月あたりでの利用回数】

「2回」の割合が34.8%と最も高く、次いで「1回」の割合が30.4%となっています。

【3か月あたりでの利用回数】

「1回」の割合が68.4%と最も高く、次いで「2回」の割合が31.6%となっています。

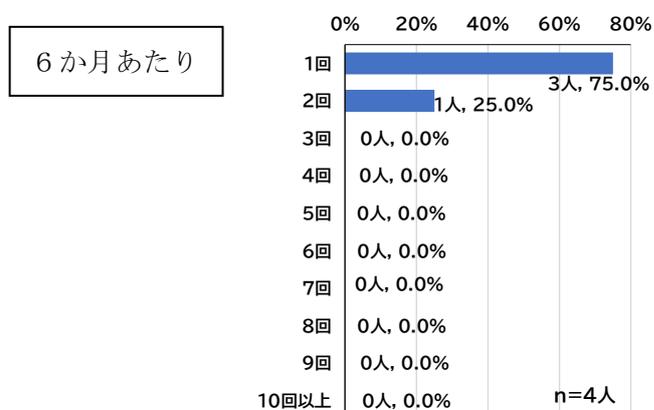
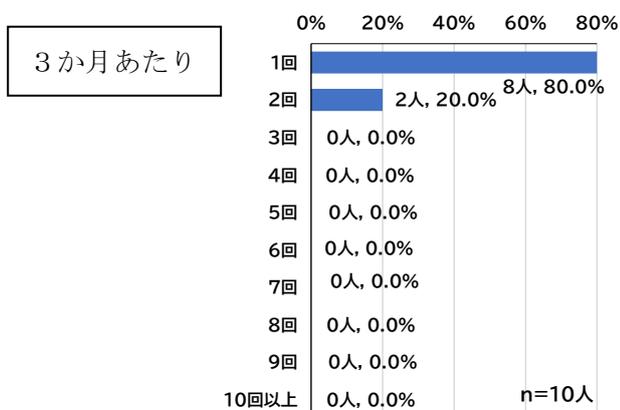
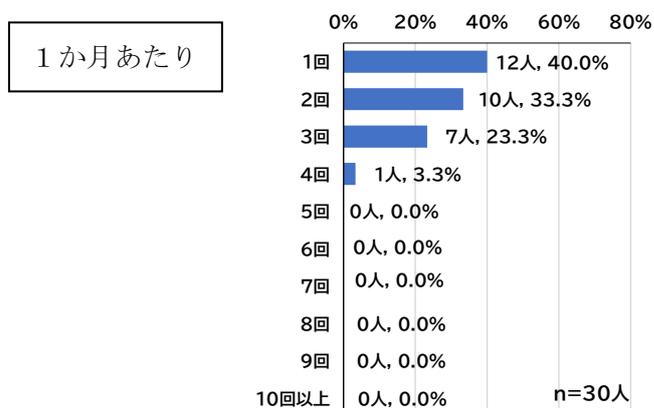
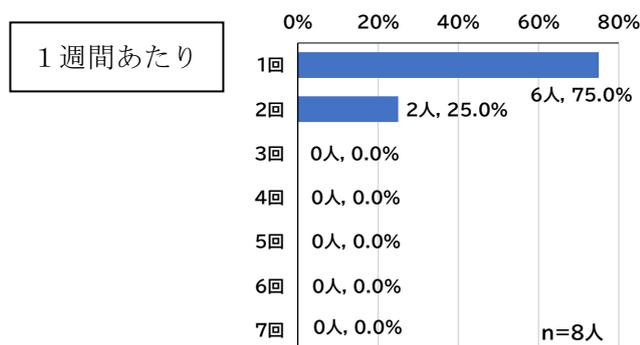
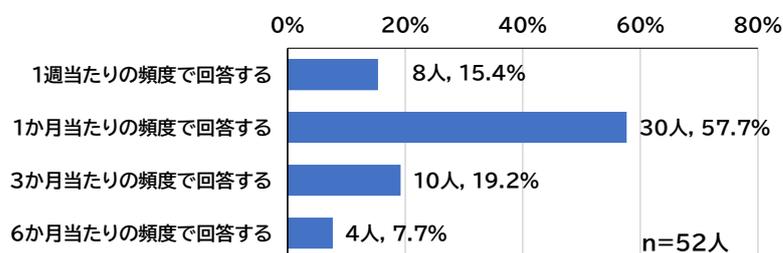
【6か月あたりでの利用回数】

「1回」の割合が75.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が25.0%となっています。

<その他当該自治体で実施している類似の事業>

問 18-2 で「現在、利用している」を選択した方

【利用頻度】



【1週あたりでの利用回数】

※ 有効回答件数が10人未満のため分析対象外

【1か月あたりでの利用回数】

「1回」の割合が40.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が33.3%となっています。

【3か月あたりでの利用回数】

「1回」の割合が80.0%と最も高く、次いで「2回」の割合が20.0%となっています。

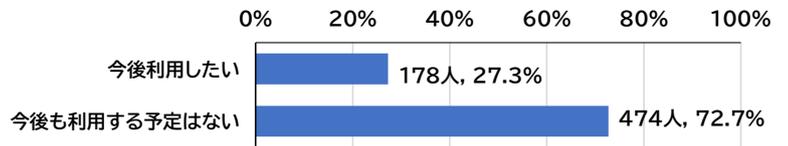
【6か月あたりでの利用回数】

※ 有効回答件数が10人未満のため分析対象外

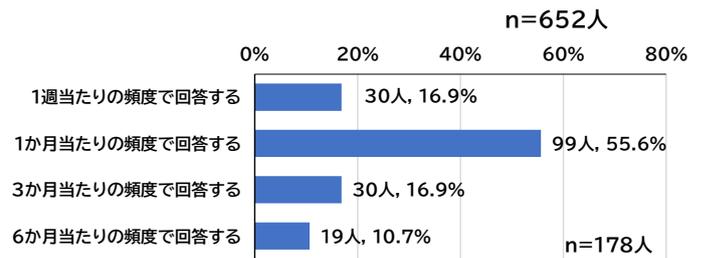
問 19-1 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、現在は利用していない方にお聞きします。今後利用したいと思いますか。利用したい場合は、【週当たり】【1か月あたり】【3か月あたり】【6か月あたり】のどれかから、回答しやすい期間で利用したい回数をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

<今後、地域子育て支援拠点事業の利用意向>

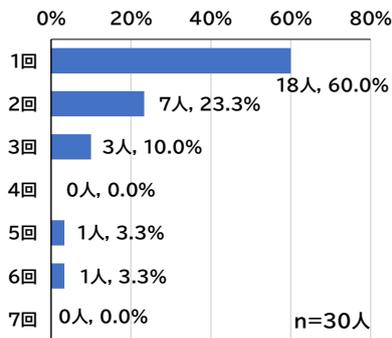
「今後利用したい」の割合が 27.3%、「今後も利用する予定はない」の割合が 72.7% となっています。



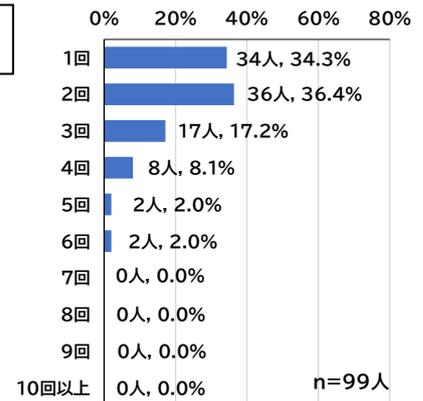
問 19-1 で「今後、利用したい」を選択した方
【今後、利用したい頻度】



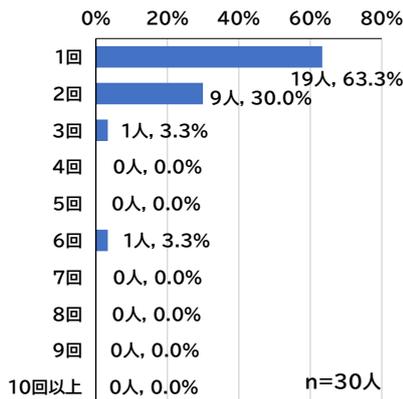
1 週間あたり



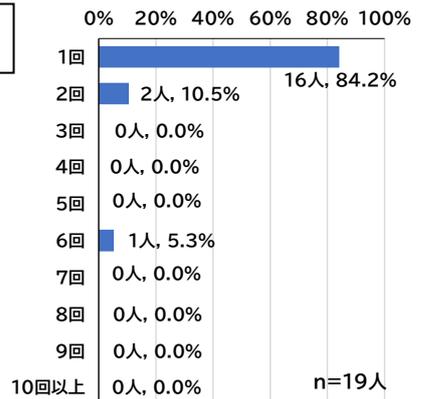
1 か月あたり



3 か月あたり



6 か月あたり



【1 週当たりでの利用回数】

「1 回」の割合が 60.0%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 23.3%となっています。

【1 か月当たりでの利用回数】

「2 回」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「1 回」の割合が 34.3%となっています。

【3 か月当たりでの利用回数】

「1 回」の割合が 63.3%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 30.0%となっています。

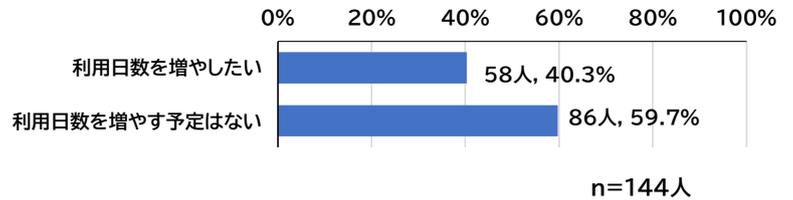
【6 か月当たりでの利用回数】

「1 回」の割合が 84.2%と最も高く、次いで「2 回」の割合が 10.5%となっています。

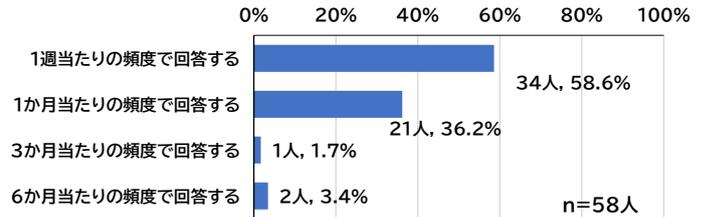
問 19-2 問 18 のような地域子育て支援拠点事業について、現在、利用している方についてお聞きします。利用日数を増やしたいと思いますか。増やしたい場合は、【週当たり】【1か月あたり】【3か月あたり】【6か月あたり】のどれかから、回答しやすい期間で利用したい回数をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

＜今後、地域子育て支援拠点事業の利用日数を増やしたいか＞

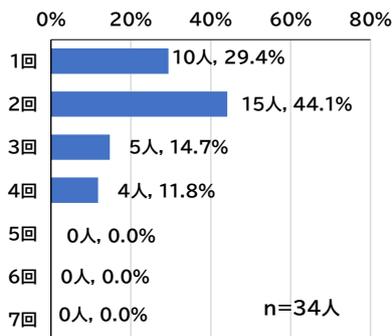
「利用日数を増やしたい」の割合が40.3%、「利用日数を増やす予定はない」の割合が59.7%となっています。



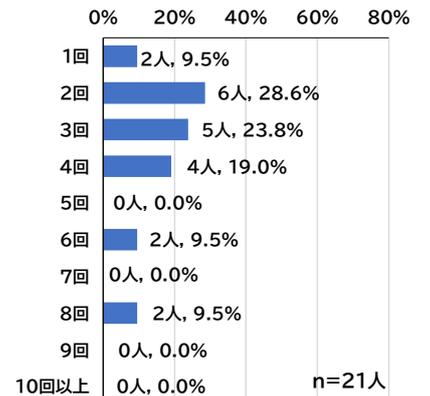
問 19-2 で「利用に数を増やしたい」を選択した方【利用を増やしたい頻度】



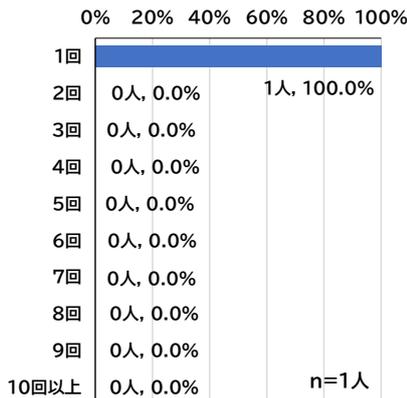
1週間あたり



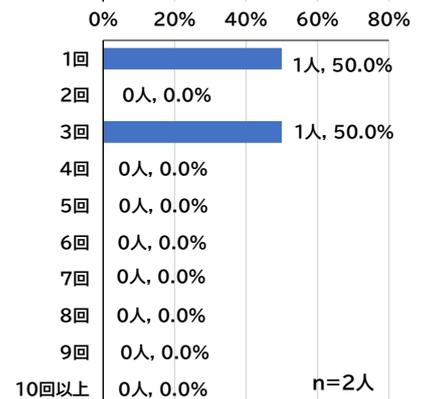
1か月あたり



3か月あたり



6か月あたり



【1週当たりでの利用回数】

「2回」の割合が44.1%と最も高く、次いで「1回」の割合が29.4%となっています。

【1か月当たりでの利用回数】

「2回」の割合が28.6%と最も高く、次いで「3回」の割合が23.8%となっています。

【3か月当たりでの利用回数】

※ 有効回答件数が10人未満のため分析対象外

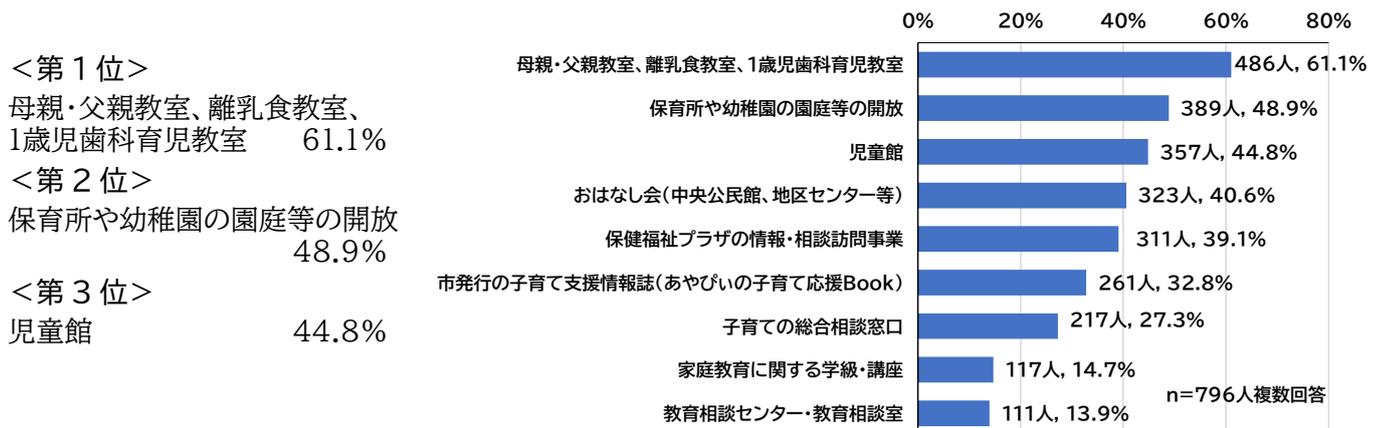
【6か月当たりでの利用回数】

※ 有効回答件数が10人未満のため分析対象外

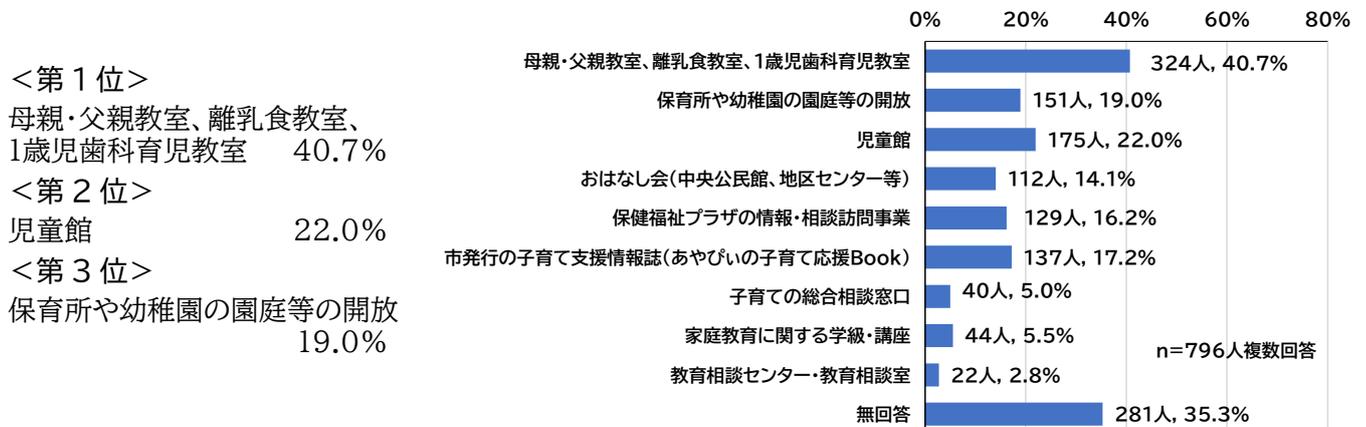
問 20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものを選択してください。(該当がない場合は選択不要)

【知っている事業】と【利用したことが事業】の第1位はともに「母親・父親教室、離乳食教室、1歳児歯科育児教室」、第2位、第3位は「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、「児童館」が挙げられています。一方、【今後利用したい事業】の第1位は「児童館」、第2位は「保育所や幼稚園の園庭等の開放」、第3位は「おはなし会(中央公民館、地区センター等)」が挙げられています。

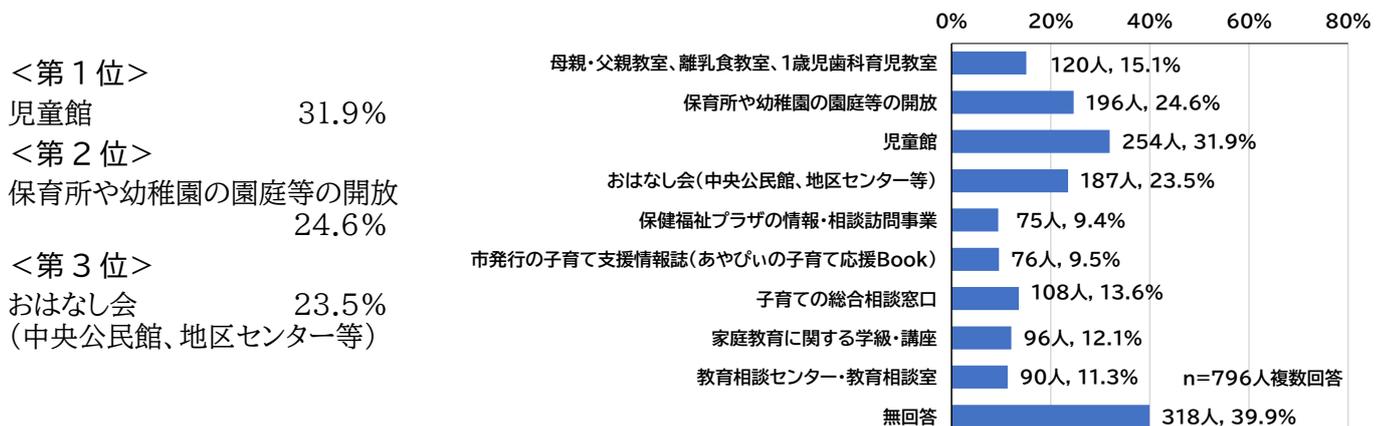
【知っているもの】(複数選択可)



【利用したことがある】(複数選択可)



【今後利用したい】(複数選択可)



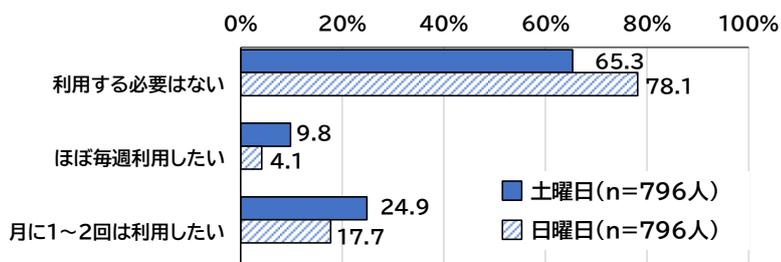
(7) 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用状況について

問 21 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を選択してください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

<【土曜日】【日曜日・祝日】の定期的な教育・保育の事業の利用希望>

土曜日では「利用する必要はない」の割合が65.3%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が24.9%となっています。

日曜・祝日では「利用する必要はない」の割合が78.1%と最も高く、次いで「月に1~2回は利用したい」の割合が17.7%となっています。



【子どもの年齢別 (土曜日)】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳で「利用する必要はない」の割合が、4~5歳で「月に1~2回は利用したい」の割合が高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1~2回は利用したい	無回答
全体	796	65.3	9.8	24.9	0.0
0歳	54	72.2	7.4	20.4	0.0
1歳	122	68.0	12.3	19.7	0.0
2歳	118	61.0	12.7	26.3	0.0
3歳	134	67.2	9.0	23.9	0.0
4歳	179	64.8	7.8	27.4	0.0
5歳	189	63.5	9.5	27.0	0.0

【子どもの年齢別 (日曜日・祝日)】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0歳、3歳で「利用する必要はない」の割合が高くなっています。

単位:%

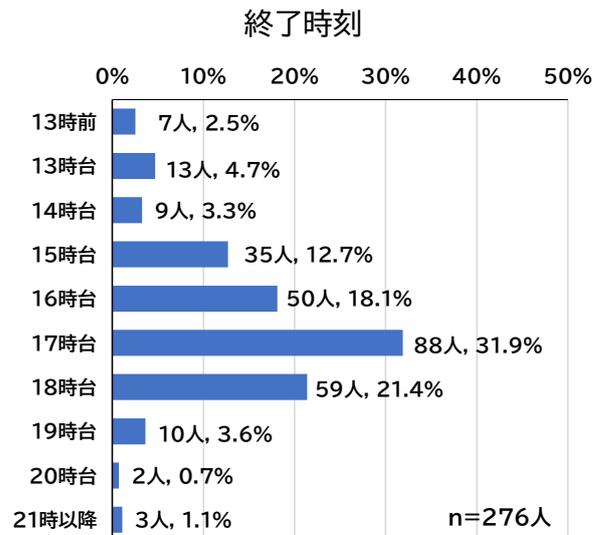
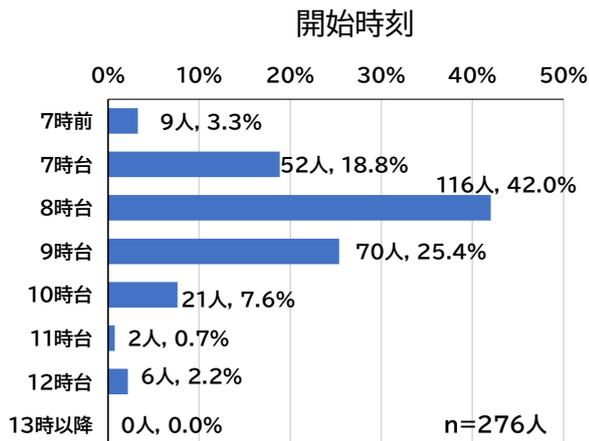
	有効回答数 (件)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1~2回は利用したい	無回答
全体	796	78.1	4.1	17.7	0.0
0歳	54	79.6	5.6	14.8	0.0
1歳	122	77.0	4.9	18.0	0.0
2歳	118	78.8	5.1	16.1	0.0
3歳	134	79.9	3.7	16.4	0.0
4歳	179	77.7	3.9	18.4	0.0
5歳	189	77.2	3.2	19.6	0.0

<土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望>

問 21(土曜日)で「ほぼ毎週利用したい」または、「月に1~2回は利用したい」を選択した方
【土曜日】

開始時刻は「8 時台」の割合が 42.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 25.4%、「7時台」の割合が 18.8%となっています。

終了時刻は「17 時台」の割合が 31.9%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 21.4%、「16 時台」の割合が 18.1%となっています。

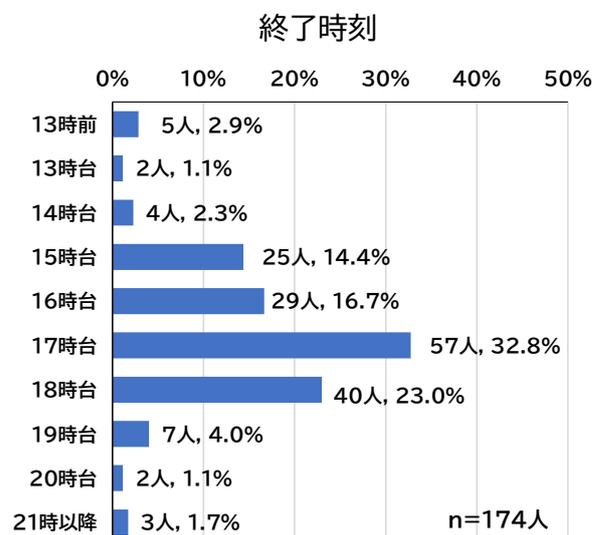
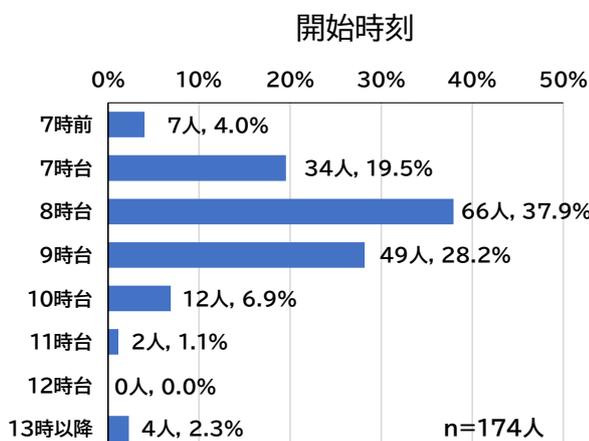


<日曜日・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望>

問 21(日曜日・祝日)で「ほぼ毎週利用したい」または、「月に1~2回は利用したい」を選択した方
【日曜日・祝日】

開始時刻は「8 時台」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が 28.2%、「7時台」の割合が 19.5%となっています。

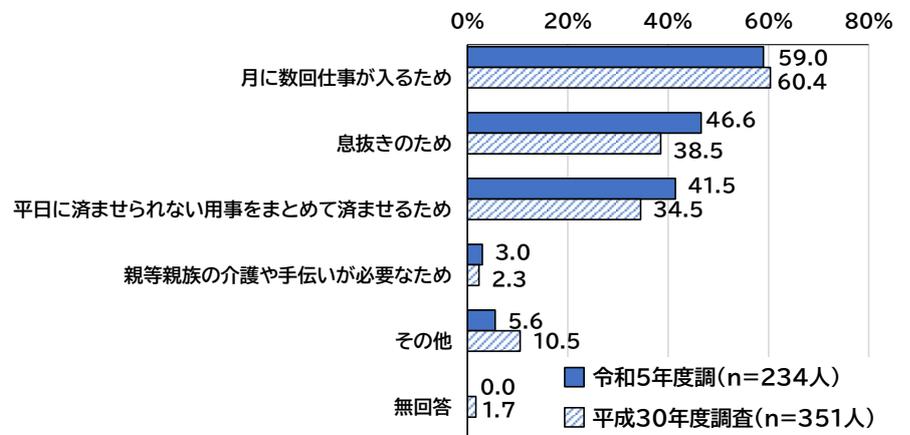
終了時刻は「17 時台」の割合が 32.8%と最も高く、次いで「18 時台」の割合が 23.0%、「16 時台」の割合が 16.7%となっています。



問 21-1 問 21 で、「月に1~2回は利用したい」を選択した方にかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

「月に数回仕事が入るため」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「息抜きのため」の割合が 46.6%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 41.5%となっています。

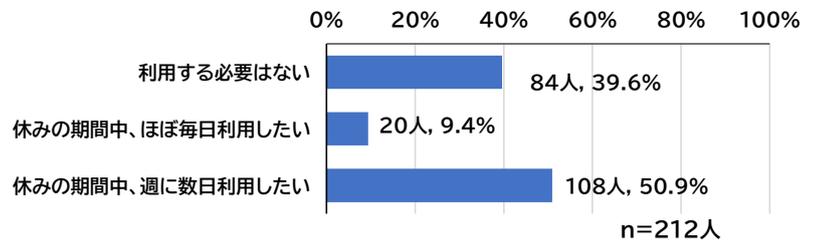
平成 30 年度調査と比較すると「息抜きのため」の割合が 8.1 ポイント、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」の割合が 7.0 ポイント高くなっています。



問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

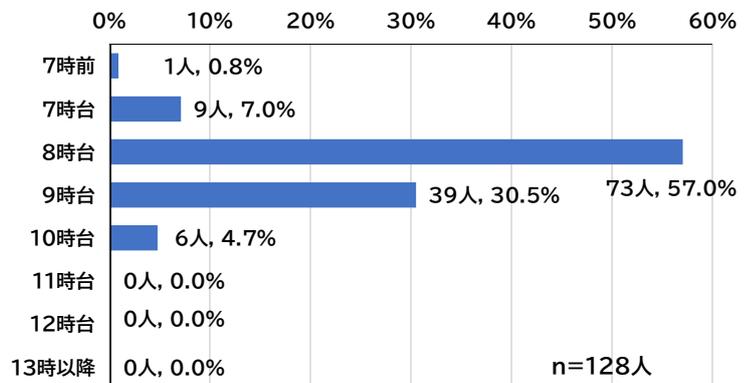
<夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望>

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が50.9%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が39.6%となっています。



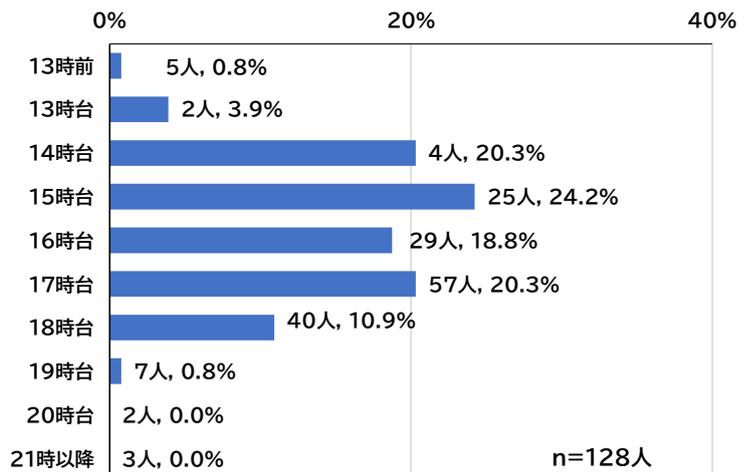
問 21 (長期の休暇期間中)で「ほぼ毎週利用したい」または、「月に1~2回は利用したい」を選択した方【希望】 開始時刻

「8 時台」の割合が57.0%と最も高く、次いで「9 時台」の割合が30.5%となっています。



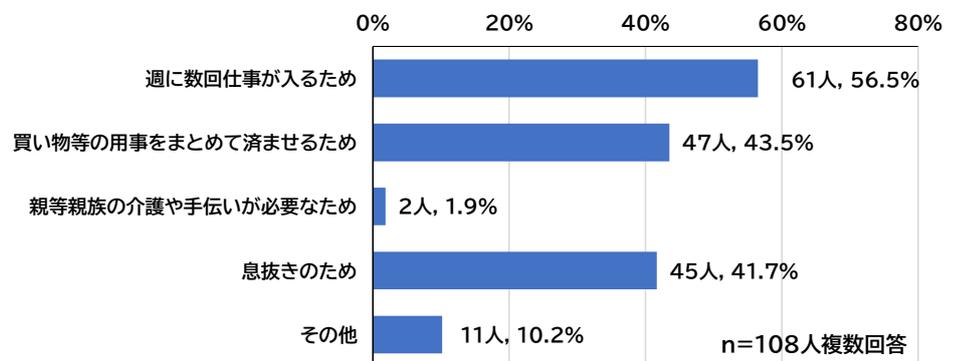
【希望】 終了時刻

「15 時台」の割合が24.2%と最も高く、次いで「14 時台」と「17 時台」の割合が同率で20.3%、「16 時台」の割合が18.8%となっています。



問 22-1 問 22 で、「週に数日利用したい」を選択した方にかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

「週に数回仕事が入るため」の割合が 56.5%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」の割合が 43.5%、「息抜きのため」の割合が 41.7%となっています。

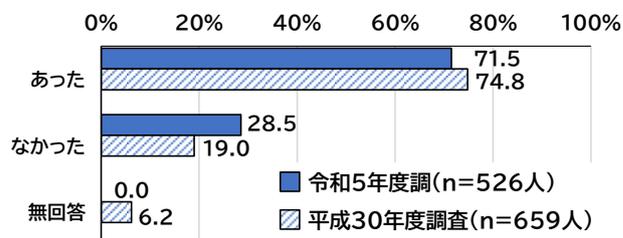


(8) お子さんの病気の際の対応について

問 23 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方(問 16 で利用しているを選択した方)にうかがいます。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

「あった」の割合が71.5%、「なかった」の割合が28.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると「なかった」の割合9.5ポイント高くなっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳以上で「あった」の割合が高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
全体	526	71.5	28.5	0.0
0歳	2	0.0	100.0	0.0
1歳	30	86.7	13.3	0.0
2歳	51	84.3	15.7	0.0
3歳	87	83.9	16.1	0.0
4歳	169	66.9	33.1	0.0
5歳	187	64.7	35.3	0.0

※ 選択肢「0歳」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ「フルタイム(1週5日程度・8時間の就労)で就労しており、産休・育児休業中ではない」で「あった」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	あった	なかった	無回答
全体	526	71.5	28.5	0.0
フルタイムで就労しており、産休・育児休業中ではない	163	83.4	16.6	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育児休業中である	38	71.1	28.9	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児休業中ではない	147	73.5	26.5	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが産休・育児休業中である	18	66.7	33.3	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	109	57.8	42.2	0.0
これまで就労したことがない	5	60.0	40.0	0.0

※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労
パート・アルバイト等 :フルタイム以外の就労

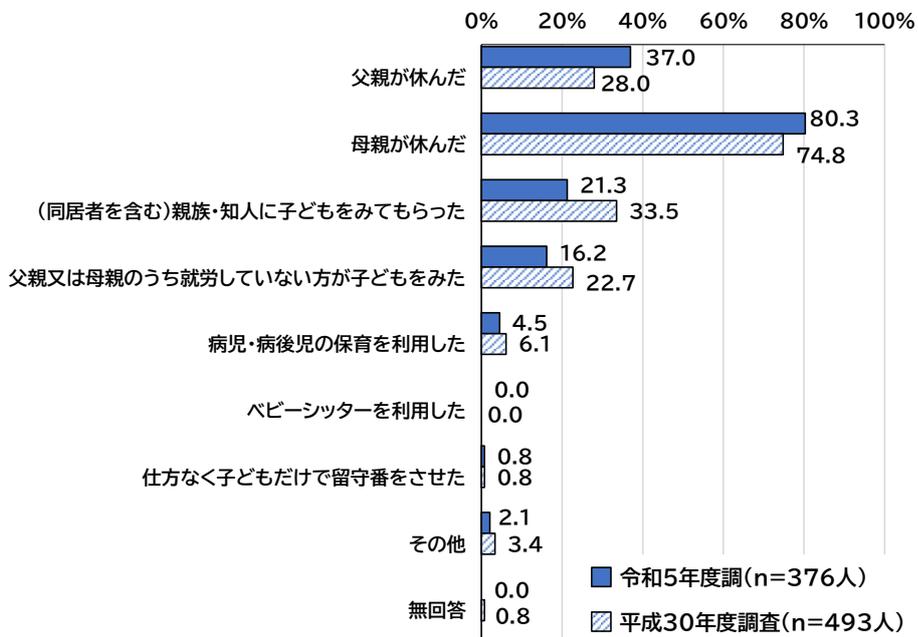
※ 選択肢「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

問 23 で、「あった」を選択した方

問 23-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてを選択し、それぞれの日数を教えてください。(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。)(複数回答)

「母親が 休んだ」の割合が80.3%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が37.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が21.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「父親が休んだ」の割合が9.0ポイント増加し、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」の割合が12.2ポイント減少しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1歳、2歳で「母親が休んだ」「父親が休んだ」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数(件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	376	37.0	80.3	21.3	16.2	4.5	0.0	0.8	2.1	0.0
0歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	26	50.0	92.3	26.9	3.8	3.8	0.0	0.0	3.8	0.0
2歳	43	48.8	97.7	30.2	2.3	9.3	0.0	0.0	2.3	0.0
3歳	73	38.4	87.7	28.8	8.2	5.5	0.0	1.4	1.4	0.0
4歳	113	33.6	71.7	18.6	23.9	5.3	0.0	0.9	2.7	0.0
5歳	121	32.2	75.2	14.9	21.5	1.7	0.0	0.8	1.7	0.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別で見ると、他に比べ、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「母親が休んだ」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	父親が休んだ	母親が休んだ	(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
全体	376	37.0	80.3	21.3	16.2	4.5	0.0	0.8	2.1	0.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	136	55.1	96.3	28.7	0.7	5.1	0.0	0.7	1.5	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	27	37.0	81.5	18.5	11.1	11.1	0.0	0.0	3.7	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	108	31.5	94.4	21.3	3.7	2.8	0.0	1.9	2.8	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	16.7	100.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	63	11.1	20.6	3.2	73.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
これまで就労したことがない	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労

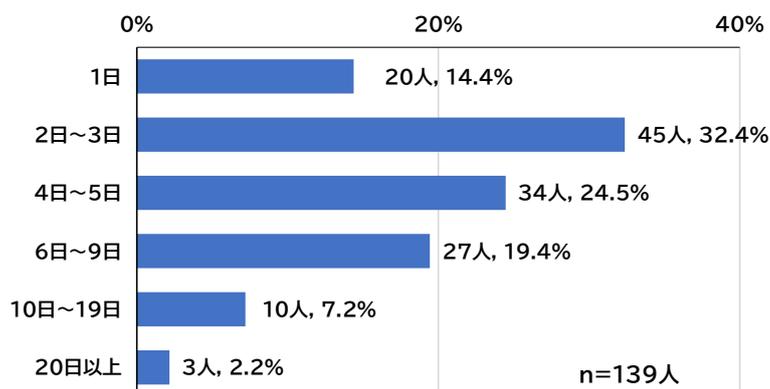
パート・アルバイト等 :フルタイム)以外の就労

※ 選択肢「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

問 23-1 対処方法で「父親が休んだ」を選択した方

【対処日数】 父親が休んだ

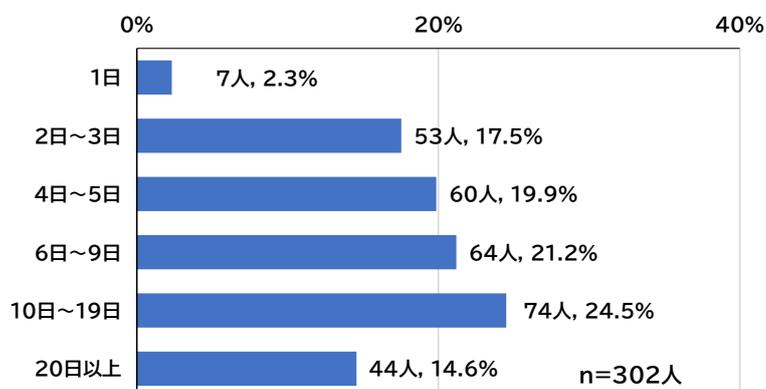
「2～3日」の割合が32.4%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が24.5%、「6～9日」の割合が19.4%となっています。



問 23-1 対処方法で「母親が休んだ」を選択した方

【対処日数】 母親が休んだ

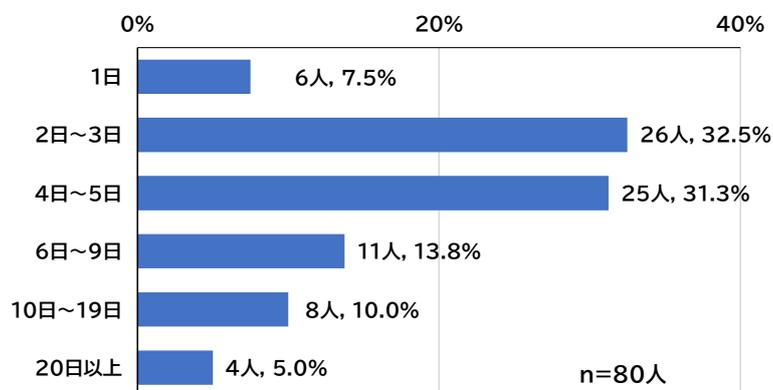
「10～19日」の割合が24.5%と最も高く、次いで「6～9日」の割合が21.2%、「4～5日」の割合が19.9%となっています。



問 23-1 対処方法で「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」を選択した方

【対処日数】 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった

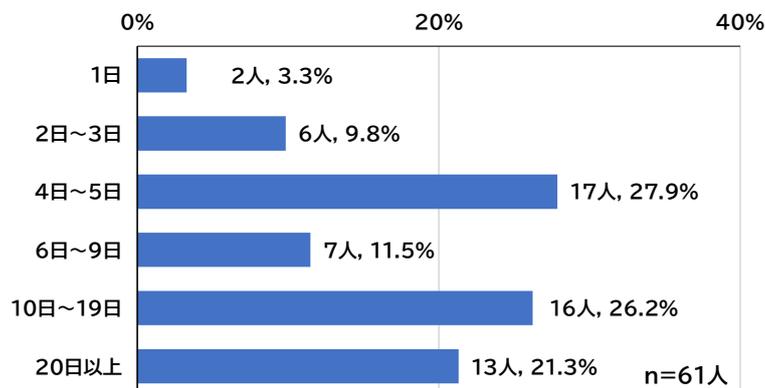
「2～3日」の割合が32.5%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が31.3%、「6～9日」の割合が13.8%となっています。



問 23-1 対処方法で「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」を選択した方

【対処日数】 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた

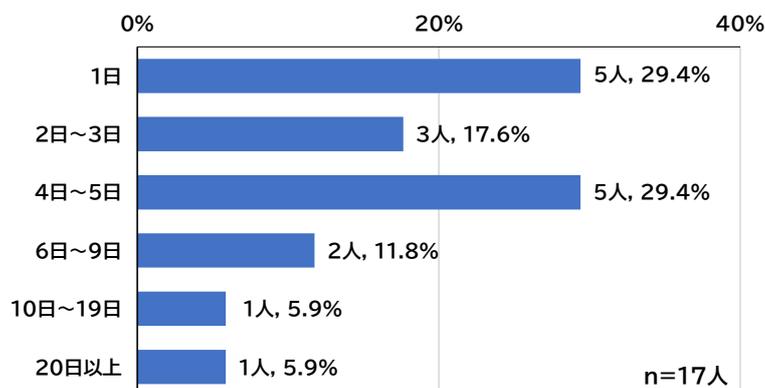
「4～5日」の割合が27.9%と最も高く、次いで「10～19日」の割合が26.2%、「20日以上」の割合が21.3%となっています。



問 23-1 対処方法で「病児・病後児の保育を利用した」を選択した方

【対処日数】 病児・病後児の保育を利用した

「1日」、「4～5日」の割合が同率で29.4%と最も多く、次いで「2～3日」の割合が17.6%となっています。



問 23-1 対処方法で「ベビーシッターを利用した」を選択した方

【対処日数】 ベビーシッターを利用した

有効回答がありませんでした。

問 23-1 対処方法で「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」を選択した方

【対処日数】 仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1日」が3件となっています。

問 23-1 対処方法で「その他」を選択した方

【対処日数】 その他

「2～3日」が3件、「4～5日」と「10～19日」がそれぞれ2件ずつ、「6～9日」が1件の合計8件となっています。

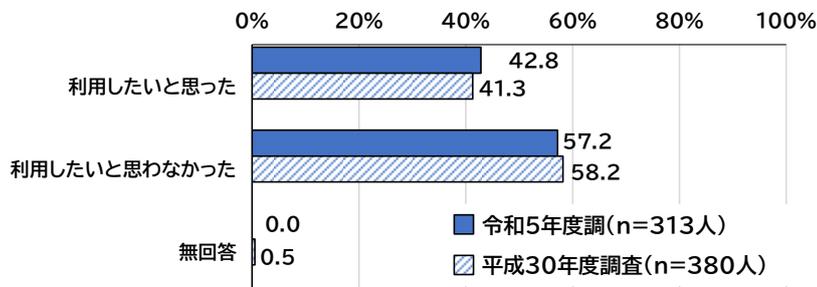
問 23-2 問 23-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。利用したい日数をご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

<できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい>

できれば病児・後保育施設等を「利用したいと思った」の割合が42.8%、「利用したいとは思わなかった」の割合が57.2%となっています。

平成30年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんでした。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、2歳で「利用したいと思った」の割合が最も高く、全体より10ポイント以上高くなっています。一方、1歳と3～5歳で「利用したいと思わなかった」の割合が最も高くなっています。

単位:%

	有効回答数(件)	利用したいと思った	利用したいと思わなかった	無回答
全体	313	42.8	57.2	0.0
0歳	0	0.0	0.0	0.0
1歳	24	37.5	62.5	0.0
2歳	42	54.8	45.2	0.0
3歳	66	47.0	53.0	0.0
4歳	85	41.2	58.8	0.0
5歳	96	37.5	62.5	0.0

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」で「利用したいと思った」の割合が全体より10ポイント以上高く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「利用したいと思わなかった」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

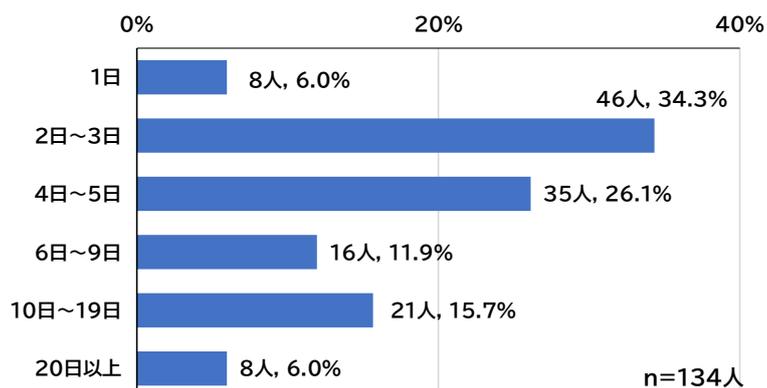
	有効回答数(件)	利用したいと思った	利用したいと思わなかった	無回答
全体	313	42.8	57.2	0.0
フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	133	48.1	51.9	0.0
フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	23	60.9	39.1	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	103	39.8	60.2	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	12	25.0	75.0	0.0
以前は就労していたが、現在は就労していない	19	21.1	78.9	0.0
これまで就労したことがない	0	0.0	0.0	0.0

- ※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労
- ※ パート・アルバイト等 :フルタイム以外の就労
- ※ 選択肢「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

問 23-2 で「利用したいと思った」に回答した方

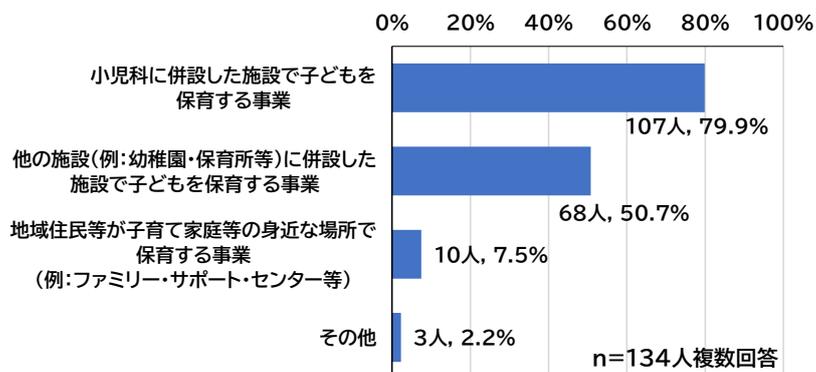
[利用したい日数]

「2～3日」の割合が34.3%と最も高く、次いで「4～5日」の割合が26.1%、「10～19日」の割合が15.7%となっています。



問 23-3 問 23-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方にお聞きします。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(複数回答)

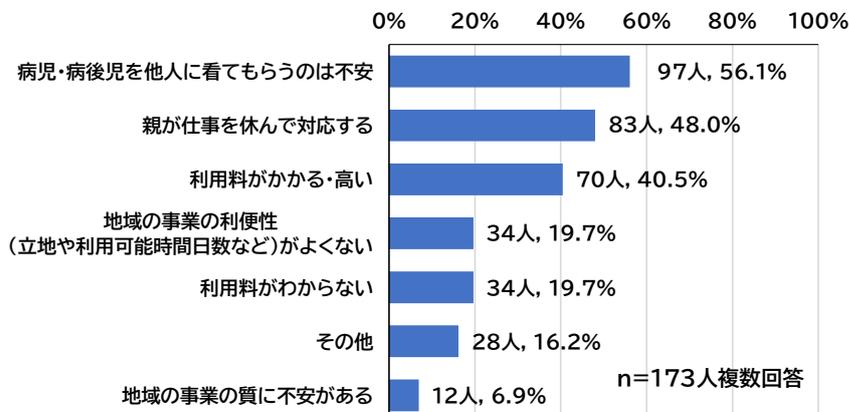
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が79.9%と最も高く、次いで「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」の割合が50.7%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」の割合が7.5%となっています。



問 23-2 で「利用したいと思わなかった」に回答した方

問 23-4 問 23-2で「利用したい」と思わない理由について当てはまる選択肢をすべて選択してください。(複数回答)

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」の割合が最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」の割合が48.0%、「利用料がかかる・高い」の割合が40.5%となっています。

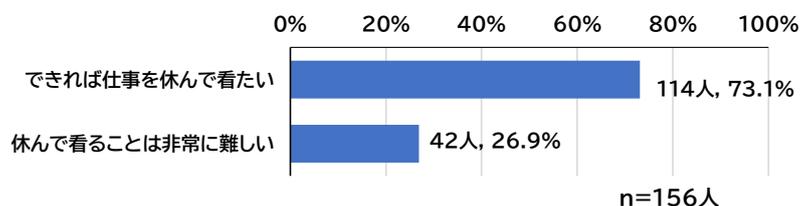


問 23-5 問 23-1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外のいずれかに回答した方にかがいます。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。思われた場合、日数をご記入ください。

<「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか>

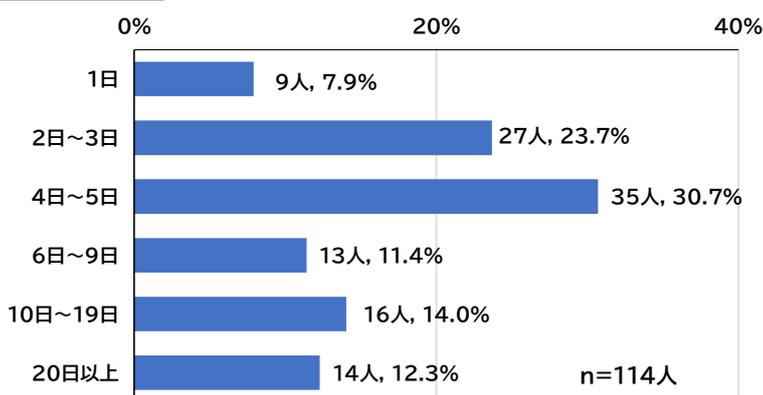
「できれば仕事を休んで看たい」の割合が73.1%、「休んで看ることは非常に難しい」の割合が26.9%となっています。



問 23-5 で「できれば仕事を休んで看たい」に回答した方

[休みたいと思った日数]

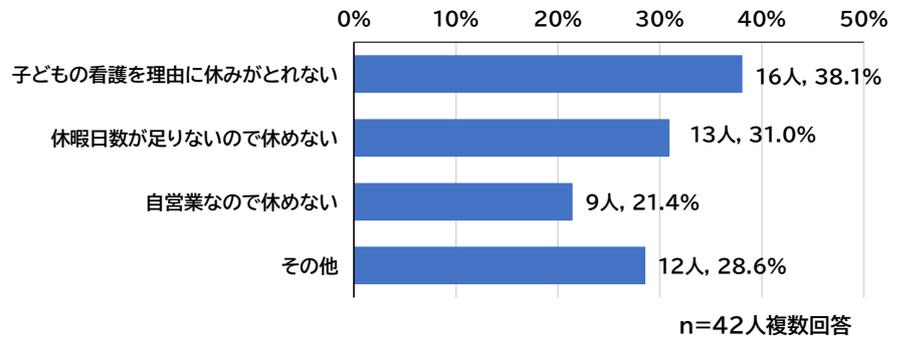
「4～5日」の割合が30.7%と最も高く、次いで「2～3日」の割合が23.7%となっています。



問 23-5 で「休んで看することは非常に難しい」に回答した方

問 23-6 問 23-5で【休んで看することは非常に難しい】を選択した理由について当てはまるものをすべて選択してください。(複数回答)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」の割合が38.1%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないで休めない」の割合が31.0%、「自営業なので休めない」の割合が21.4%となっています。



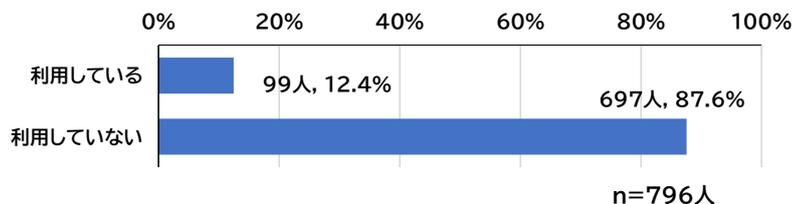
(9) 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 24 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で次の事業を不定期に利用していますか。ある場合は、利用する事業を選択し、日数をご記入ください。なお、事業によっては、綾瀬市で実施されていないものもあります。

<私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定の事業の利用の有無>

「利用している」の割合が12.4%、「利用していない」の割合が87.6%となっています。

【参考】平成30年度調査では「利用していない」の割合が78.5%であることから、利用していない方の割合に増加傾向がみられます。

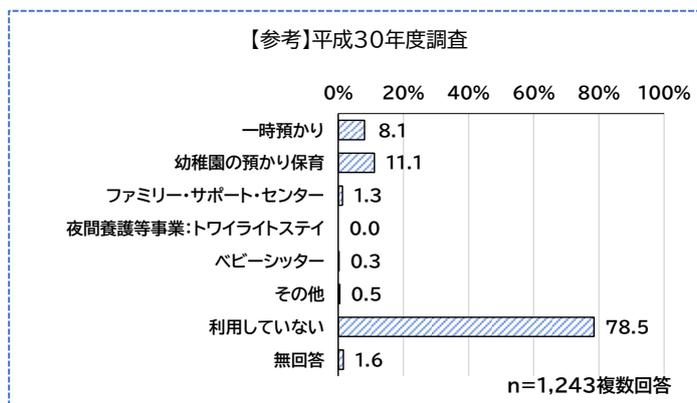
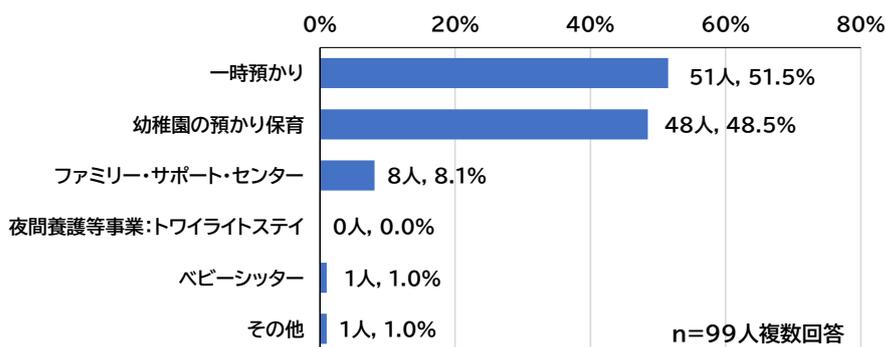


問 24 で「利用している」に回答した方

【日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業】(複数回答)

「一時預かり」の割合が51.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が48.5%、「ファミリー・サポート・センター」の割合が8.1%となっています。

【参考】平成30年度調査と比較すると、「一時預かり」と「幼稚園の預かり保育」の利用の割合の順位が逆転して「一時預かり」の割合の方が高くなっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、1～3歳で「一時預かり」の割合が、4～5歳以上で「幼稚園の預かり保育」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	一時 預かり	幼 稚 園 の 預 か り 保 育	ファミリ ー・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	夜 間 養 護 等 事 業 : ト ワ イ ラ イ ト ス テ イ	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	無 回 答
全体	99	51.5	48.5	8.1	0.0	1.0	1.0	0.0
0歳	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1歳	10	90.0	10.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2歳	19	89.5	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0
3歳	12	66.7	16.7	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
4歳	27	33.3	77.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5歳	29	20.7	82.8	3.4	0.0	0.0	3.4	0.0

※ 選択肢「0歳」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

【母親の就労状況別】

母親の就労状況別でみると、他に比べ、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「一時預かり」の割合が、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中ではない」と「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である」で「幼稚園の預かり保育」の割合が、全体より10ポイント以上高くなっています。

単位:%

	有効回答数 (件)	一時 預かり	幼 稚 園 の 預 か り 保 育	ファミリ ー・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	夜 間 養 護 等 事 業 : ト ワ イ ラ イ ト ス テ イ	ベ ビ ー シ ッ タ ー	そ の 他	無 回 答
全体	99	51.5	48.5	8.1	0.0	1.0	1.0	0.0
フルタイムで就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
フルタイムで就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	14	85.7	0.0	35.7	0.0	7.1	0.0	0.0
パート・アルバイト等で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない	35	34.3	65.7	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0
パート・アルバイト等で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である	3	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
以前は就労していたが、 現在は就労していない	28	53.6	50.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
これまで就労したことがない	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

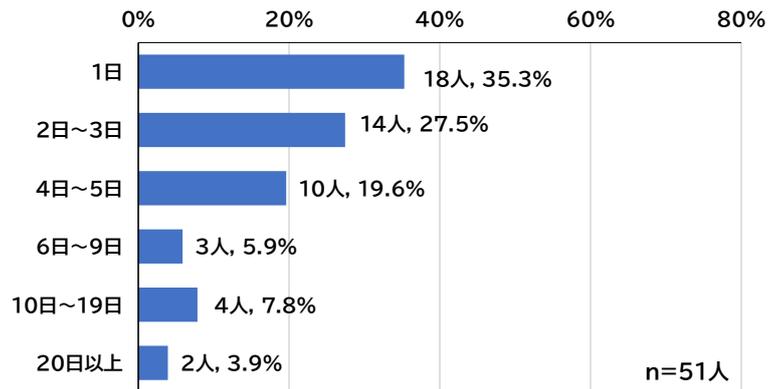
※ フルタイム :1週5日程度・1日8時間程度の就労

※ パート・アルバイト等 :フルタイム以外の就労

※ 選択肢「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「これまで就労したことがない」は有効回答件数が10人未満のため分析対象外

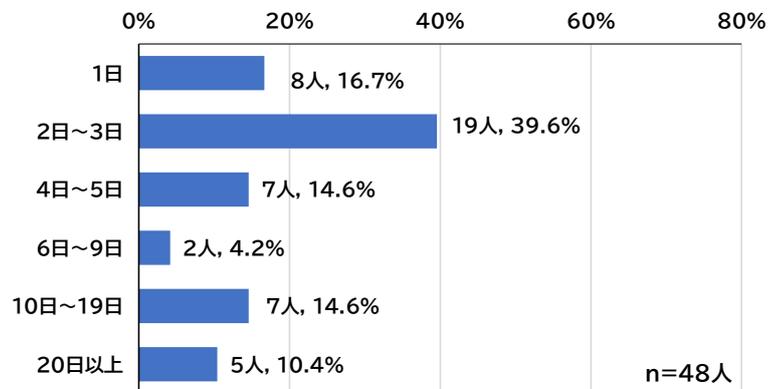
【利用日数】 一時預かり

「1日」の割合が35.3%と最も高く、次いで「2日～3日」の割合が27.5%、「4日～5日」の割合が19.6%となっています。



【利用日数】 幼稚園の預かり保育

「2日～3日」の割合が39.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が16.7%、「4日～5日」と「10日～19日」の割合が14.6%となっています。



【利用日数】 ファミリー・サポート・センター

「1日」が5件、「2日～3日」が2件、「10日～19日」が1件、合計8件となっています。

【利用日数】 夜間養護等事業:トワイライトステイ

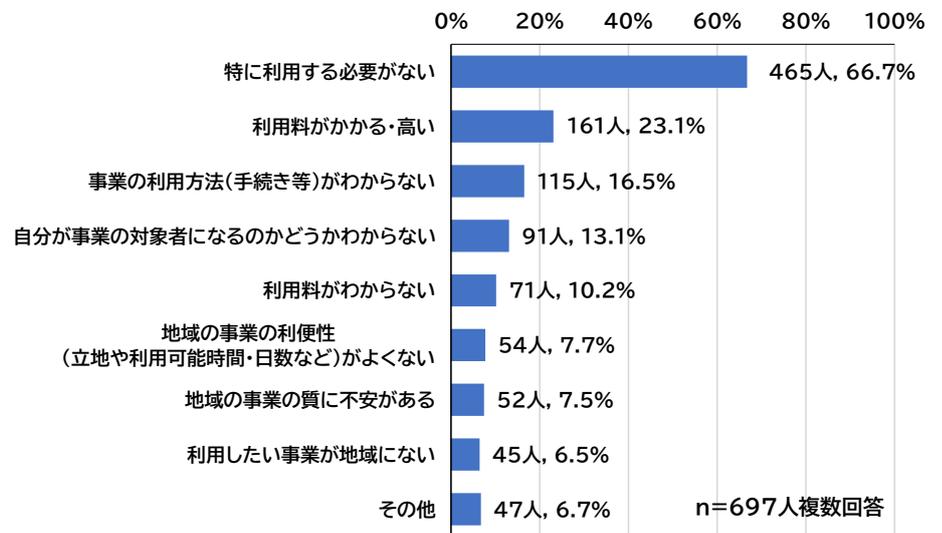
有効回答がありませんでした。

【利用日数】 ベビーシッター

「1日」が1件となっています。

問 24-1 問 24 で利用していないと回答された方にうかがいます。利用していない理由をすべて選択してください。(複数回答)

「特に利用する必要がない」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 23.1%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」の割合が 16.5%となっています。

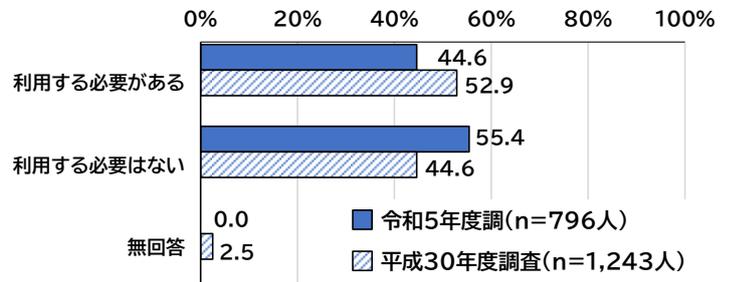


問 25 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、次の事業を利用する必要があると思いますか。あると思う場合、利用目的と年間で必要な日数を選択してください。
なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

< 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、次の事業を利用する必要の有無 >

「利用する必要がある」の割合が 44.6%と、「利用する必要はない」の割合が 55.4%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「利用する必要がある」の割合は全体より 8.3 ポイント減少し、「利用する必要はない」は 10.8 ポイント増加しています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、他に比べ、0～2 歳と 3～5 歳で「利用する必要はない」の割合が、2 歳で「利用する必要がある」の割合が最も高くなっています。特に 2 歳では「利用する必要がある」の割合が、全体より 10 ポイント以上高くなっています。

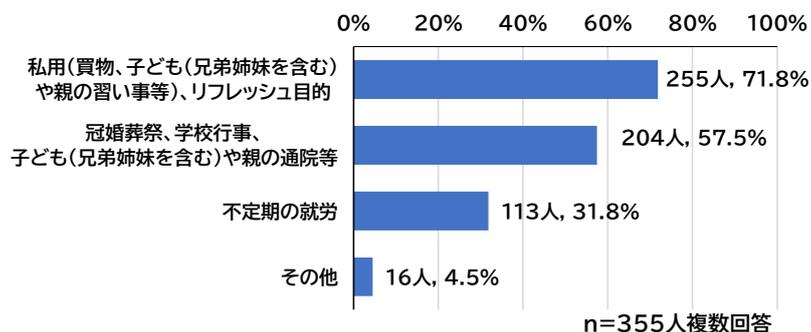
単位:%

	有効回答数 (件)	要 利用 する 必 要 が あ る	要 利 用 す る 必 要 は な い	無 回 答
全体	796	44.6	55.4	0.0
0歳	54	40.7	59.3	0.0
1歳	122	41.8	58.2	0.0
2歳	118	56.8	43.2	0.0
3歳	134	44.8	55.2	0.0
4歳	179	44.1	55.9	0.0
5歳	189	40.2	59.8	0.0

問 25 で「利用する必要がある」と回答された方

【利用する目的】(複数選択可)

「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が71.8%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が57.5%、「不定期の就労」の割合が31.8%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、いずれも「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」の割合が最も高いが、3歳で「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」の割合が、4歳で「不定期の就労」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

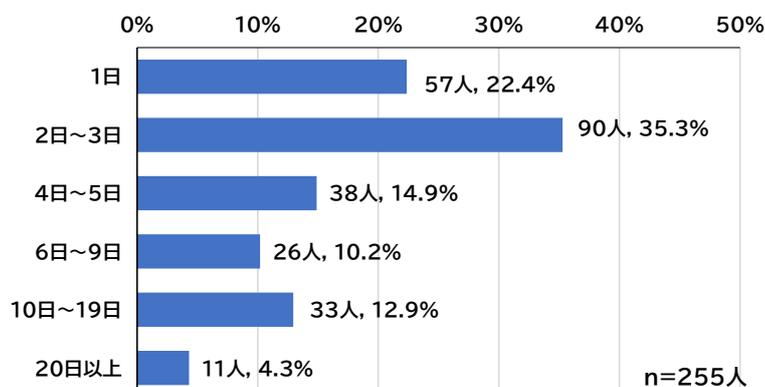
単位:%

	有効回答数(件)	私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	不定期の就労	その他	無回答
全体	355	71.8	57.5	31.8	4.5	0.0
0歳	22	72.7	59.1	31.8	0.0	0.0
1歳	51	78.4	45.1	23.5	5.9	0.0
2歳	67	64.2	58.2	26.9	6.0	0.0
3歳	60	75.0	68.3	23.3	5.0	0.0
4歳	79	70.9	60.8	46.8	2.5	0.0
5歳	76	72.4	52.6	32.9	5.3	0.0

問 25 の利用目的で「私用、リフレッシュ」と回答された方

【利用希望日数】 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ

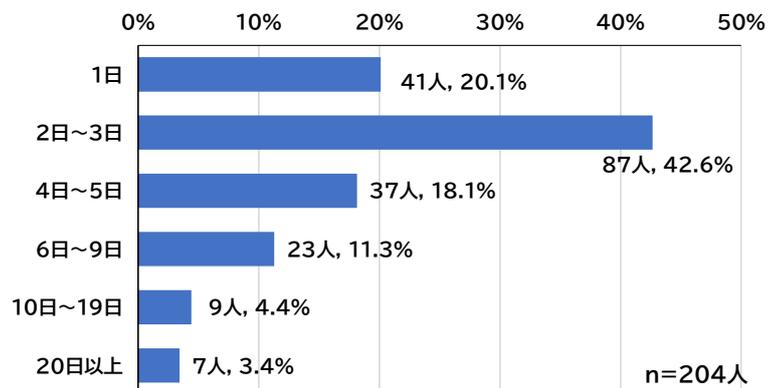
「2日~3日」の割合が35.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が22.4%となっています。



問 25 の利用目的で「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」と回答された方

【利用希望日数】 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

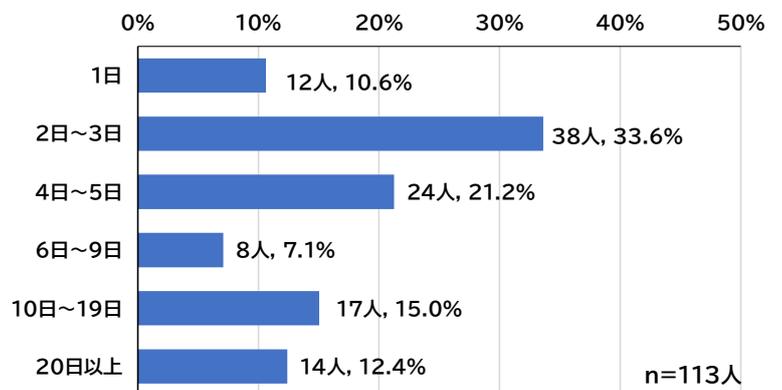
「2日～3日」の割合が42.6%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.1%となっています。



問 25 の利用目的で「不定期の就労」と回答された方

【利用希望日数】 不定期の就労

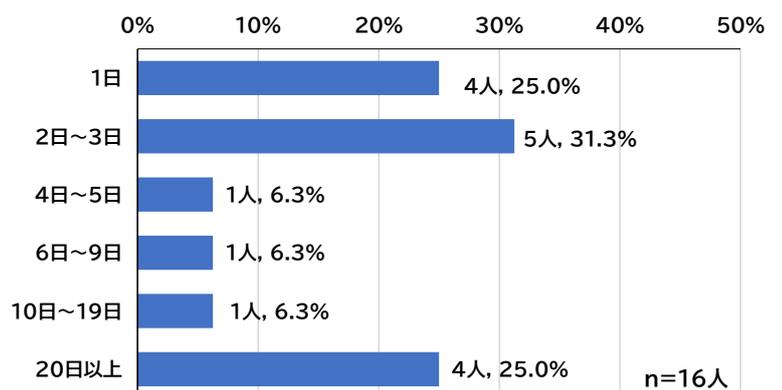
「2日～3日」の割合が33.6%と最も高く、次いで「4日～5日」の割合が21.2%となっています。



問 25 の利用目的で「その他」と回答された方

【利用希望日数】 その他

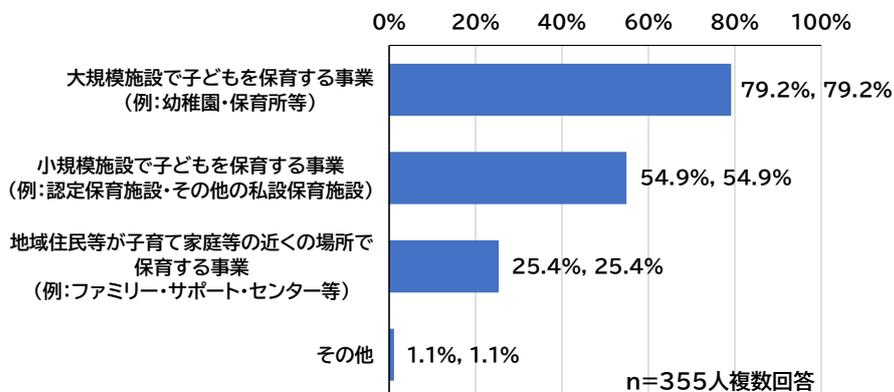
「2日～3日」の割合が31.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が25.0%となっています。



問 25 で「利用する必要がある」と回答された方

問 25-1 問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる選択肢を全て選んでください。(複数回答)

「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」の割合が79.2%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業(例:認定保育施設・その他の私設保育施設)」の割合が54.9%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」の割合が25.4%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、いずれも「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」の割合が最も高いが、1歳で「小規模施設で子どもを保育する事業(例:認定保育施設・その他の私設保育施設)」の割合が全体より10ポイント以上高くなっています。

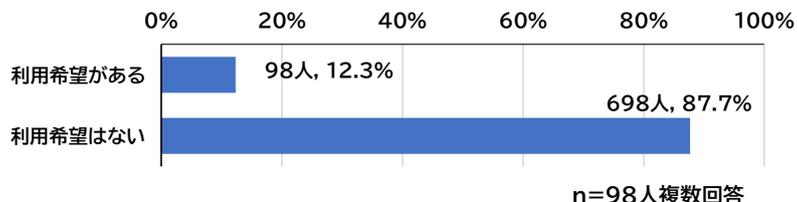
単位:%

	有効回答数 (件)	大規模施設で子ども を保育する事業(例: 幼稚園・保育所等)	小規模施設で子ども を保育する事業(例: 認定保育施設・その他 の私設保育施設)	地域住民等が子育て 家庭等の近くの場所 で保育する事業(例: ファミリー・サポート・ センター等)	その他	無回答
全体	355	79.2	54.9	25.4	1.1	0.0
0歳	22	86.4	50.0	27.3	4.5	0.0
1歳	51	72.5	68.6	27.5	0.0	0.0
2歳	67	83.6	53.7	29.9	0.0	0.0
3歳	60	70.0	60.0	25.0	1.7	0.0
4歳	79	87.3	36.7	19.0	1.3	0.0
5歳	76	76.3	63.2	26.3	1.3	0.0

問 26 宛名のお子さんについて、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族(兄弟姉妹含む)の育児疲れや育児不安、病気など)により、泊りがけで年間何日くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。短期入所生活援助事業(ショートステイ)(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)の利用希望がある場合は、必要な泊数をご記入ください。なお事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。[利用希望の有無]

< 短期入所生活援助事業(ショートステイ)の利用希望 >

「利用希望がある」の割合が 12.3%、「利用希望はない」が 87.7%となっています。



【子どもの年齢別】

子どもの年齢別でみると、いずれも「利用希望はない」の割合が最も高いが、年齢が高くなるほど利用希望が高くなる傾向がみられます。

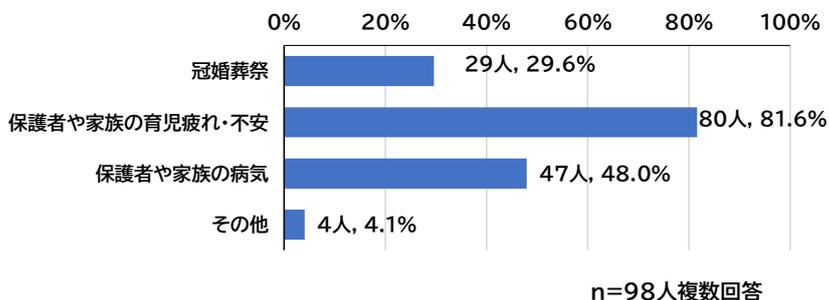
単位:%

	有効回答数(件)	利用希望がある	利用希望はない	無回答
全体	796	12.3	87.7	0.0
0歳	54	20.4	79.6	0.0
1歳	122	12.3	87.7	0.0
2歳	118	20.3	79.7	0.0
3歳	134	9.0	91.0	0.0
4歳	179	11.7	88.3	0.0
5歳	189	7.9	92.1	0.0

問 26 で「利用する必要がある」と回答された方

【利用する目的】(複数選択可)

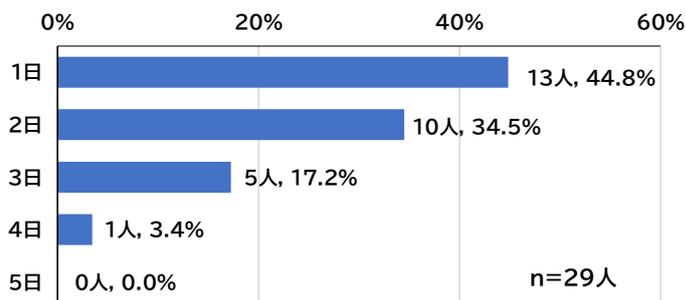
「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が 81.6%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」が 48.0%、「冠婚葬祭」が 29.6%となっています。



問 26 の利用目的で「冠婚葬祭」と回答された方

【利用希望日数】冠婚葬祭

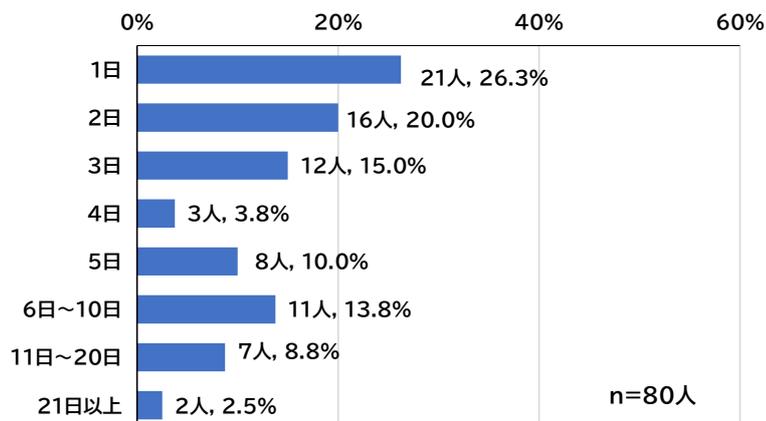
「1日」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「2日」の割合が 34.5%となっています。



問 26 の利用目的で「保護者や家族の育児疲れ・不安」と回答された方

【利用希望日数】 保護者や家族の育児疲れ・不安

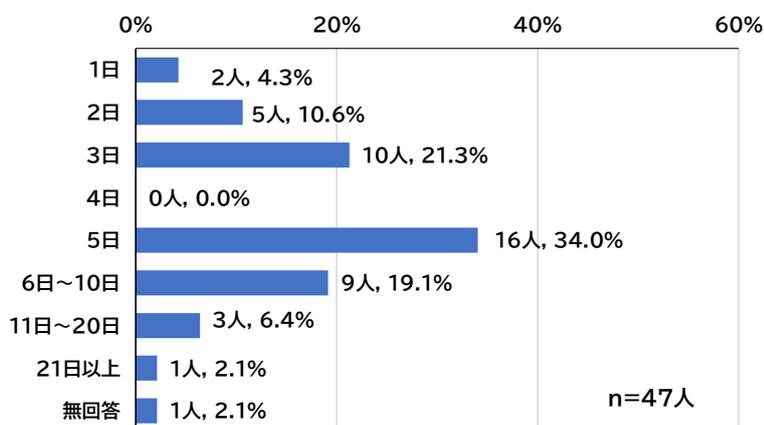
「1日」の割合が26.3%と最も高く、次いで「2日」の割合が20.0%となっています。



問 26 の利用目的で「保護者や家族の病気」と回答された方

【利用希望日数】 保護者や家族の病気

「5日」の割合が34.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が21.3%、「6日~10日」の割合が19.1%となっています。



問 26 の利用目的で「その他」と回答された方

【利用希望日数】 その他

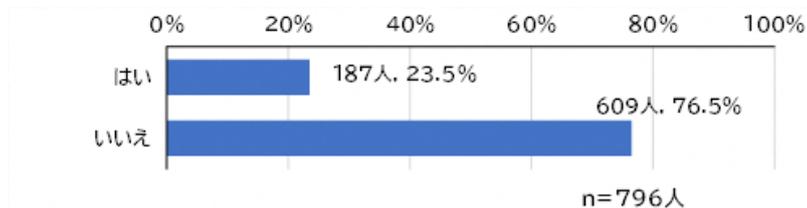
「無回答」が4件となっています。

(10) 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(宛名のお子さんが5歳以上である方(令和6年4月1日までに5歳になる方も含む))

問 27 宛名のお子さんは5歳以上ですか。(令和6年4月1日までに5歳になる方も含む)

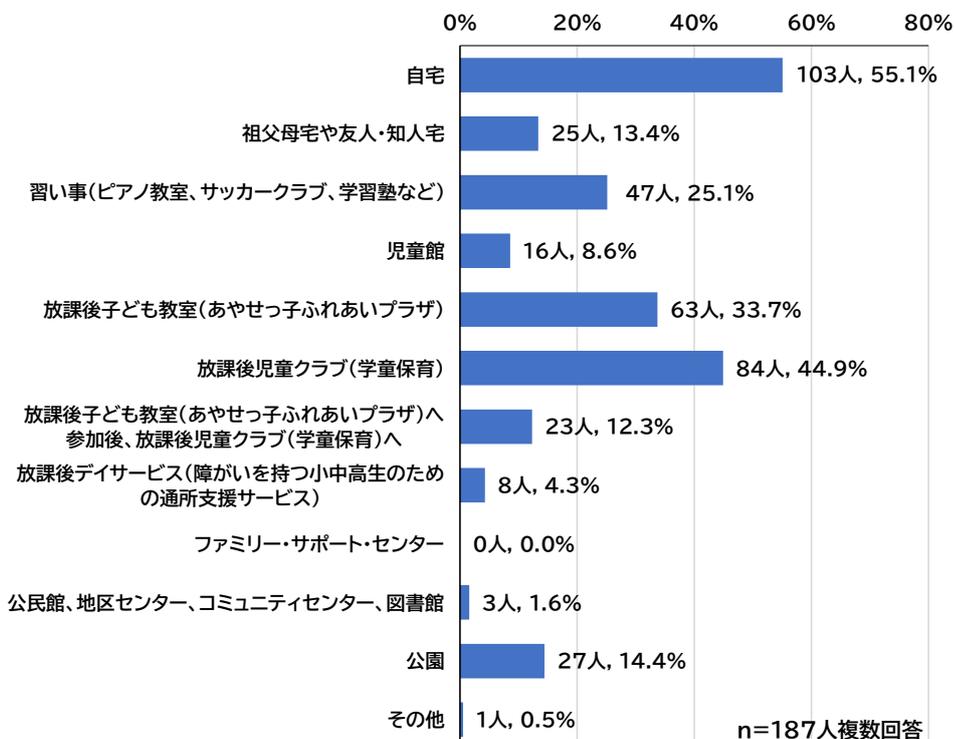
「はい」の割合が23.5%、「いいえ」の割合が76.5%となっています。



宛名のお子さんが「5歳以上」と回答された方

問 27-1【低学年になった時】(小学1～3年生)放課後の時間を過ごしたい場所(複数回答)

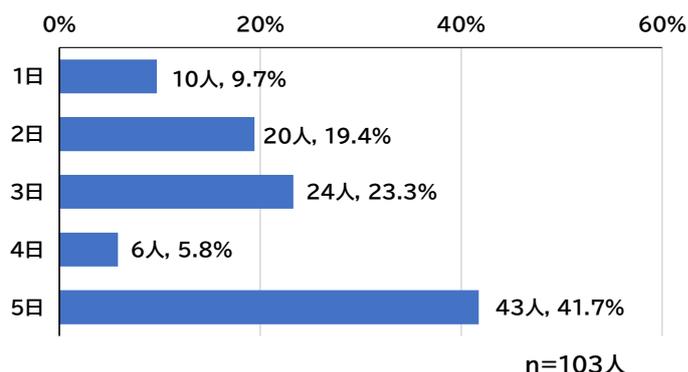
「自宅」の割合が55.1%と最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が44.9%、「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」の割合が33.7%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が25.1%となっています。



問 27-1(低学年)で「自宅」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 自宅

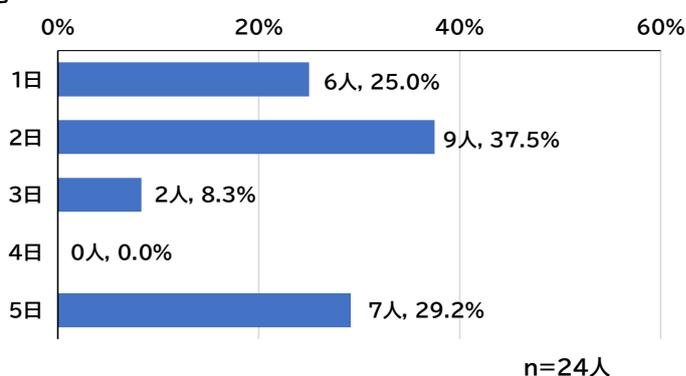
「5日」の割合が41.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が23.3%、「2日」の割合が19.4%となっています。



問 27-1(低学年)で「祖父母宅や友人・知人宅」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 祖父母宅や友人・知人宅

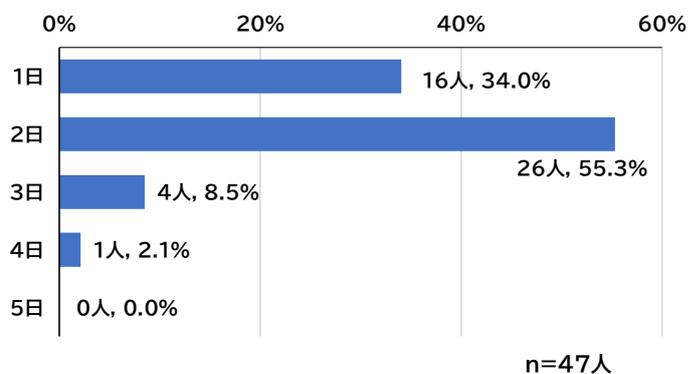
「2日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「5日」の割合が29.2%、「1日」の割合が25.0%となっています。



問 27-1(低学年)で「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

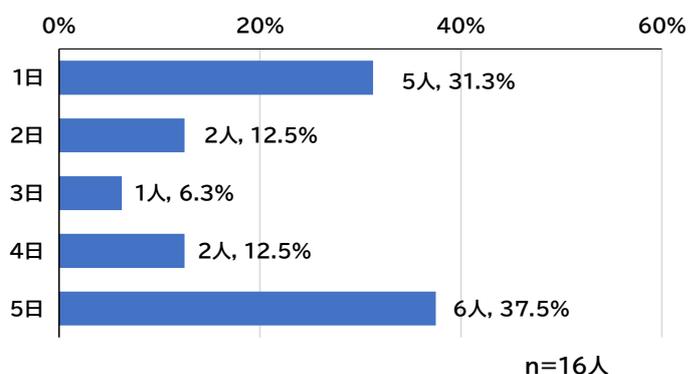
「2日」の割合が55.3%と最も高く、次いで「1日」の割合が34.0%となっています。



問 27-1(低学年)で「児童館」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 児童館

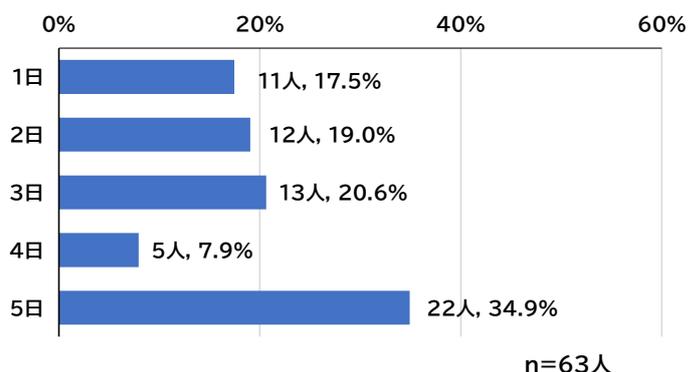
「5日」の割合が37.5%と最も高く、次いで「1日」の割合が31.3%となっています。



問 27-1(低学年)で「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)

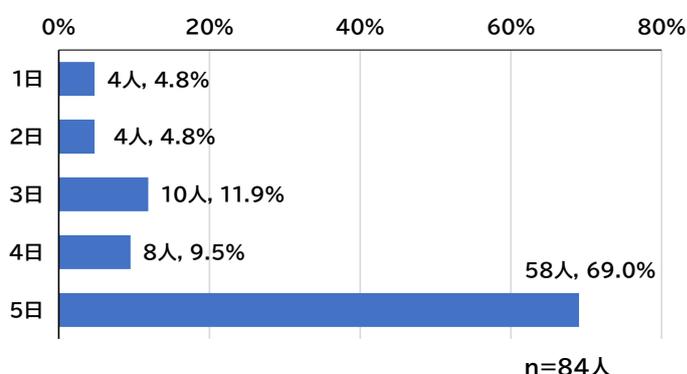
「5日」の割合が34.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が20.6%となっています。



問 27-1(低学年)で「放課後児童クラブ(学童保育)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後児童クラブ(学童保育)

「5日」の割合が69.0%と最も高く、次いで「3日」の割合が11.9%となっています。

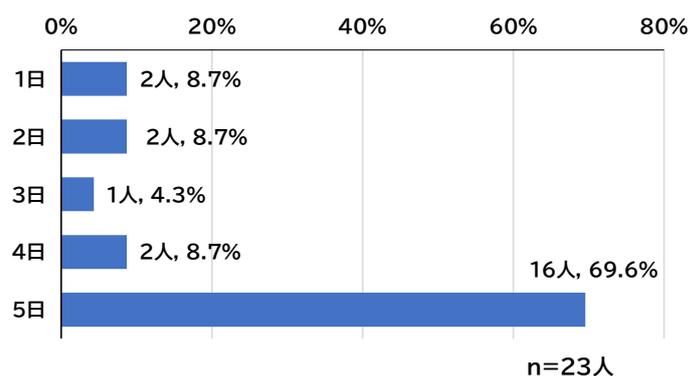


問 27-1(低学年)で「放課後子ども教室

(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ

「5日」の割合が69.6%と最も高く、次いで「1日」と「2日」と「4日」の割合が同率で8.7%となっています。



問 27-1(低学年)で「放課後デイサービス(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後デイサービス(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)

「3日」と「4日」と「5日」がそれぞれ2件ずつ、「1日」と「2日」がそれぞれ1件ずつ、合計8件となっています。

問 27-1(低学年)で「ファミリー・サポート・センター」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 ファミリー・サポート・センター

有効回答がありませんでした。

問 27-1(低学年)で「公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館」と回答された方

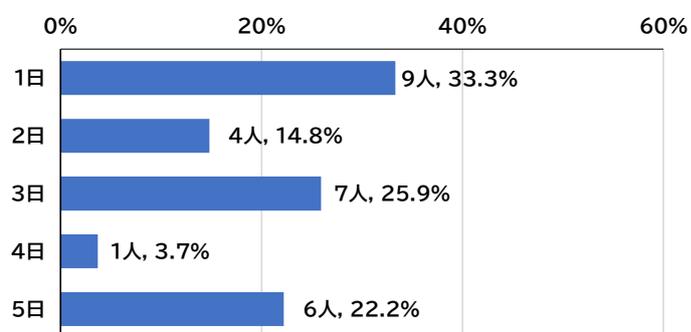
【利用希望日数/週あたり】 公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館

「1日」が2件、「5日」が1件、合計3件となっています。

問 27-1(低学年)で「公園」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 公園

「1日」の割合が33.3%と最も高く、次いで「3日」の割合が25.9%、「5日」の割合が22.2%となっています。



n=27人

問 27-1(低学年)で「その他」と回答された方

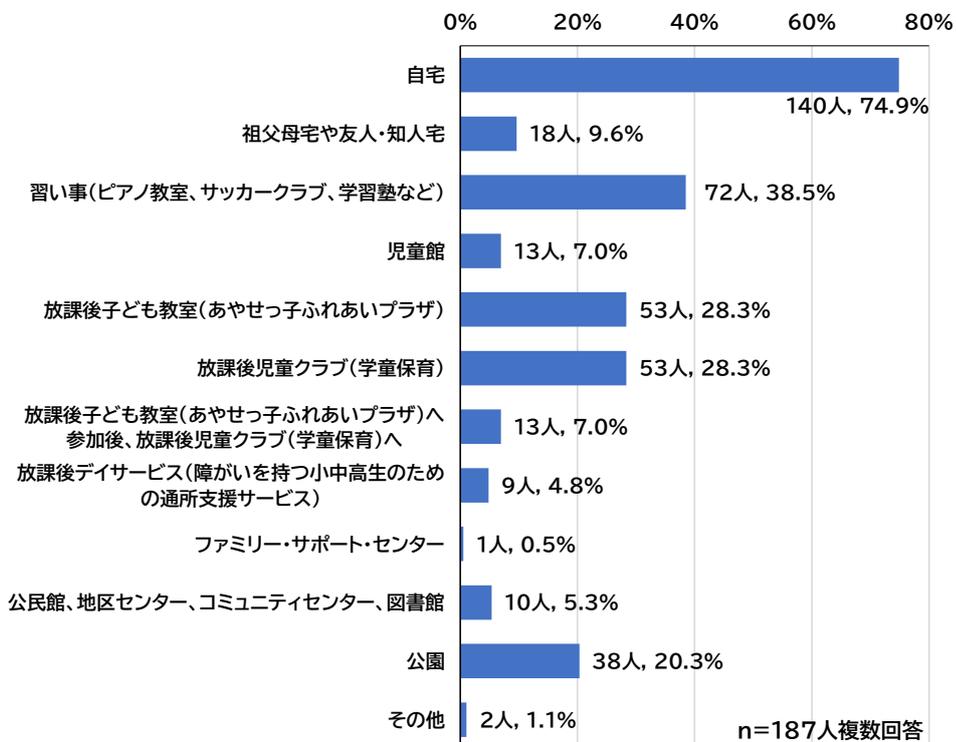
【利用希望日数/週あたり】 その他

「5日」が1件となっています。

宛名のお子さんが「5歳以上」と回答された方

問 27-2【高学年になった時】(小学 1～3年生)放課後の時間を過ごしたい場所(複数回答)

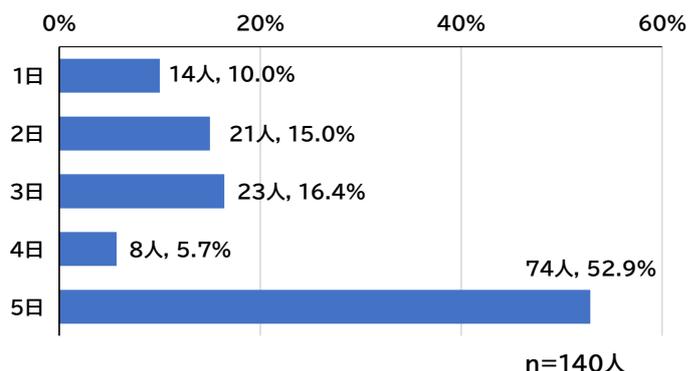
「自宅」の割合が74.9%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が38.5%、「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」と「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が同率で28.3、「公園」の割合が20.3%となっています。



問 27-2(高学年)で「自宅」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 自宅

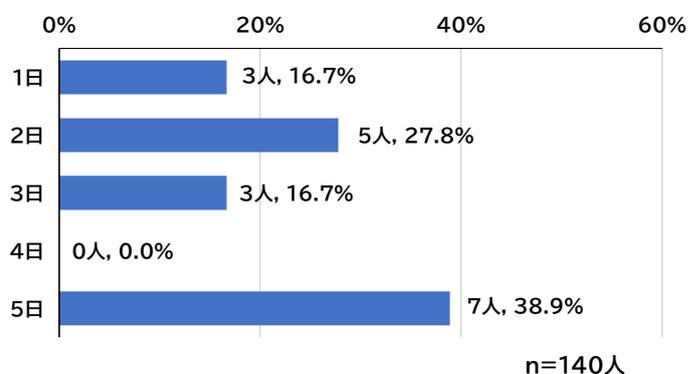
「5日」の割合が52.9%と最も高く、次いで「3日」の割合が16.4%、「2日」の割合が15.0%となっています。



問 27-2(高学年)で「祖父母宅や友人・知人宅」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 祖父母宅や友人・知人宅

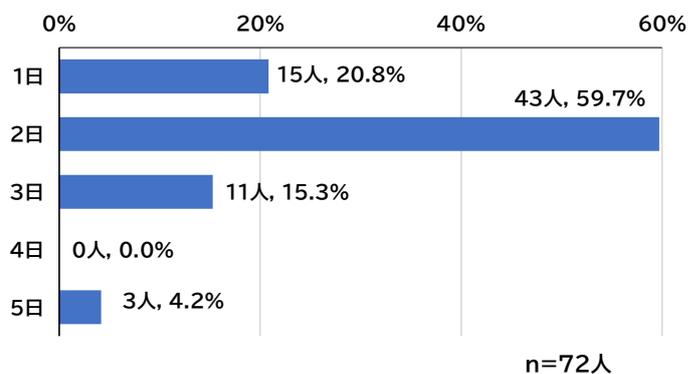
「5日」の割合が38.9%と最も高く、次いで「2日」の割合が27.8%、「1日」と「3日」の割合が同率で16.7%となっています。



問 27-2(高学年)で「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)

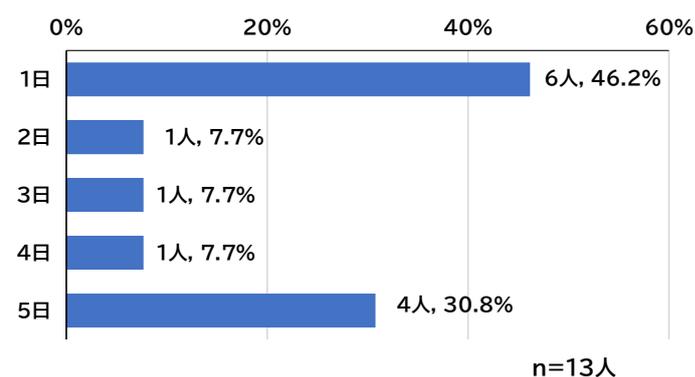
「2日」の割合が59.7%と最も高く、次いで「1日」の割合が20.8%となっています。



問 27-2(高学年)で「児童館」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 児童館

「1日」の割合が46.2%と最も高く、次いで「5日」の割合が30.8%となっています。



問 27-2(高学年)で「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)

「1日」と「3日」と「5日」がそれぞれ1件ずつ、合計3件となっています。

問 27-2(高学年)で「放課後児童クラブ(学童保育)」と回答された方

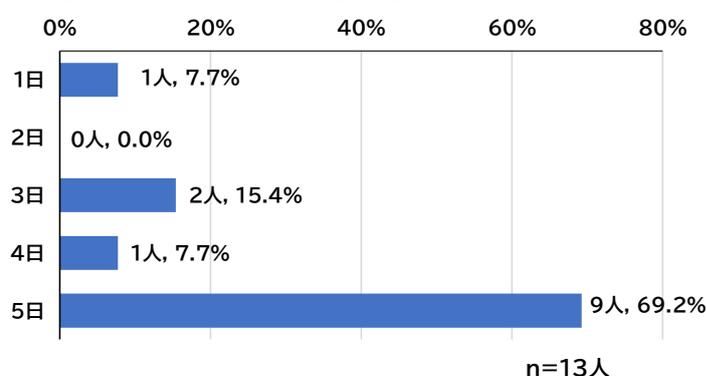
【利用希望日数/週あたり】 放課後児童クラブ(学童保育)

「1日」と「3日」と「5日」がそれぞれ1件ずつ、合計3件となっています。

問 27-2(高学年)で「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ

「5日」の割合が69.2%と最も高く、次いで「3日」の割合が15.4%となっています。



問 27-2(高学年)で「放課後デイサービス

(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 放課後デイサービス(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)

有効回答がありませんでした。

問 27-2(高学年)で「ファミリー・サポート・センター」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 ファミリー・サポート・センター

「5日」が1件となっています。

問 27-2(高学年)で「公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館」と回答された方

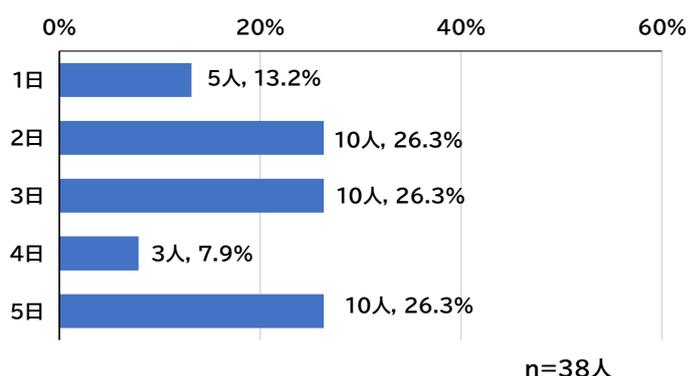
【利用希望日数/週あたり】 公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館

「2日」が4件、「1日」と「5日」が同率で3件ずつ、合計10件となっています。

問 27-2(高学年)で「公園」と回答された方

【利用希望日数/週あたり】 公園

「2日」と「3日」と「5日」の割合が同率で26.3%と最も高くなっています。



問 27-2(高学年)で「その他」と回答された方

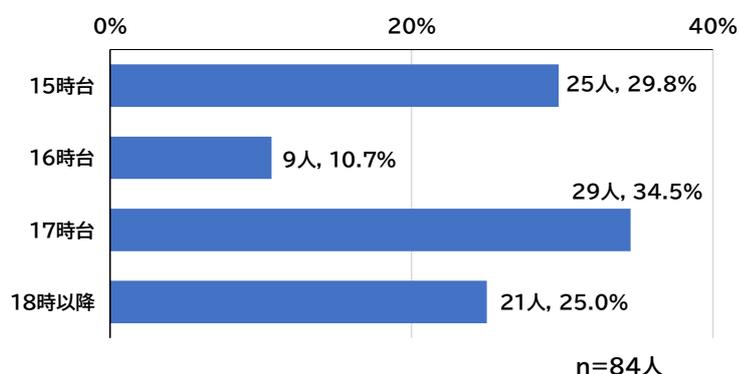
【利用希望日数/週あたり】 その他

「5日」が2件となっています。

問 27【低学年】で「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方

【低学年】で「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用を希望する時間(放課後から ~時まで)

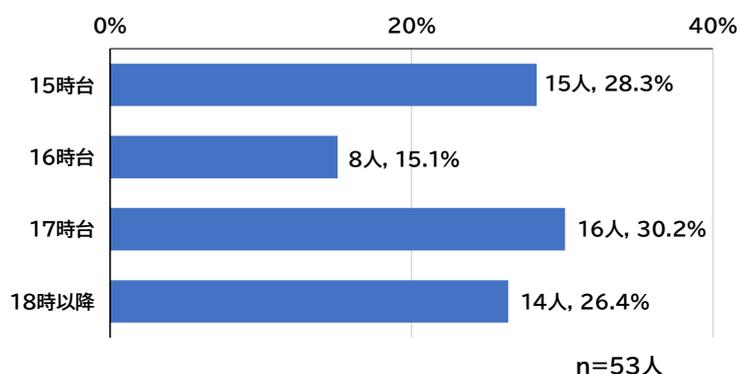
「17時台」の割合が34.5%で最も高くなっています。



問 27【高学年】で「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方

【高学年】で「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用を希望する時間(放課後から ~時まで)

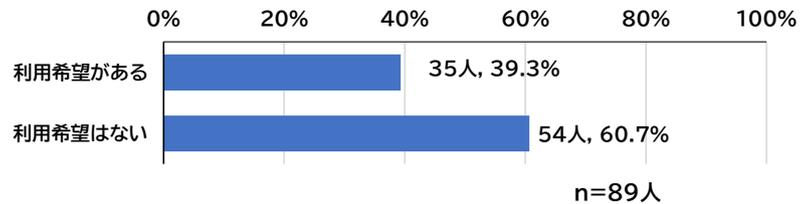
「17時台」の割合が30.2%で最も高くなっています。



問 28 問 27 で「放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方にかがいます。宛名のお子さんについて、「土曜日」と「日曜日・祝日」に放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。ある場合は、「土曜日」と「日曜日・祝日」それぞれについて、利用したい時間帯をご記入ください。※事業の利用には、一定の利用料がかかります。”

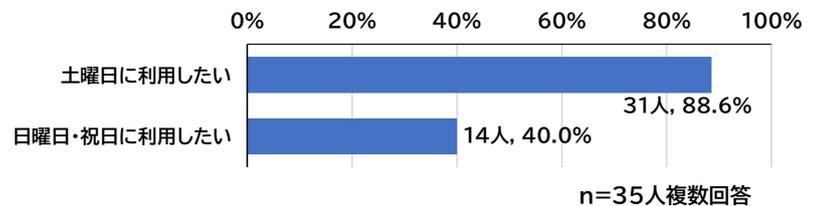
＜「土曜日」と「日曜日・祝日」に放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望＞

「利用希望がある」の割合が 39.3%、「利用希望はない」の割合が 60.7%となっています。



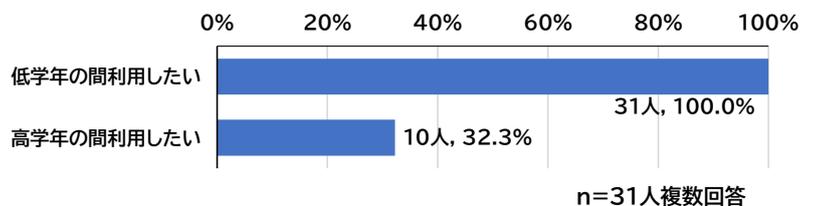
問 28 で「土曜日」と「日曜日・祝日」に放課後児童クラブ(学童保育)の「利用希望がある」を選択した方【利用したい曜日について】(複数回答)

「土曜日に利用したい」の割合が 88.6%、「日曜日・祝日に利用したい」の割合が 40.0%となっています。



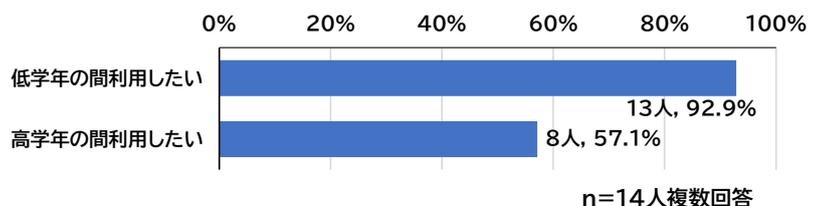
問 28-2 で「土曜日に利用したい」に回答した方【利用したい時期について】(複数回答)

土曜日の利用について、「低学年の間利用したい」の割合が 100.0%、「高学年の間利用したい」の割合が 32.3%となっています。



問 28-2 で「日曜日に利用したい」に回答した方【利用したい時期について】(複数回答)

日曜日の利用について、「低学年の間利用したい」の割合が 92.9%、「高学年の間利用したい」の割合が 57.1%となっています。

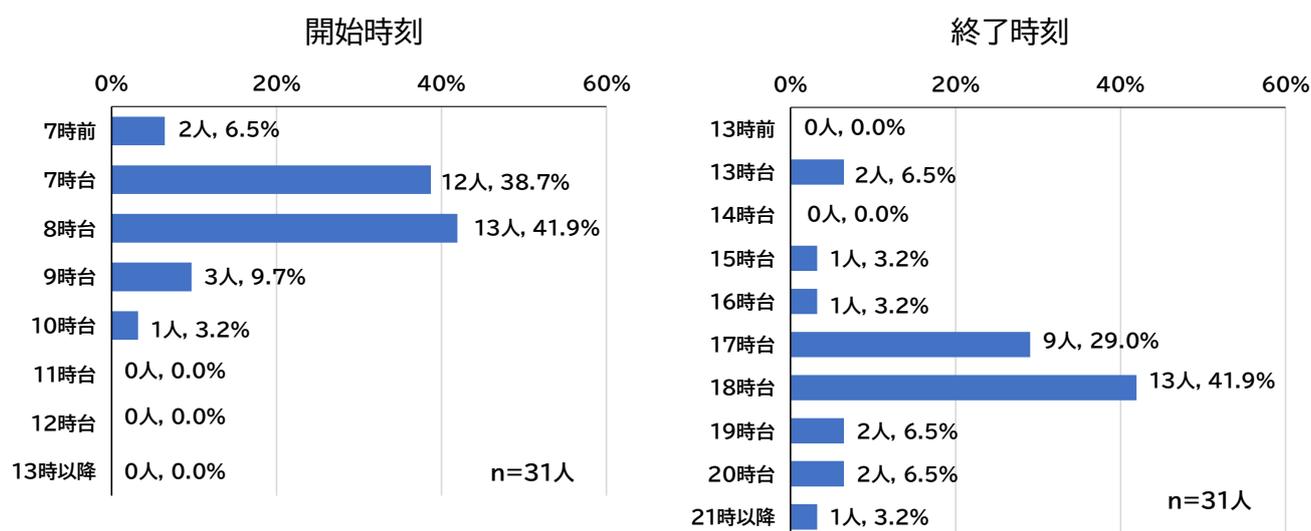


<土曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望>

問 28-3【土曜日】で「低学年の間利用したい」に回答した方

【低学年】(土曜日)利用開始時刻・終了時刻

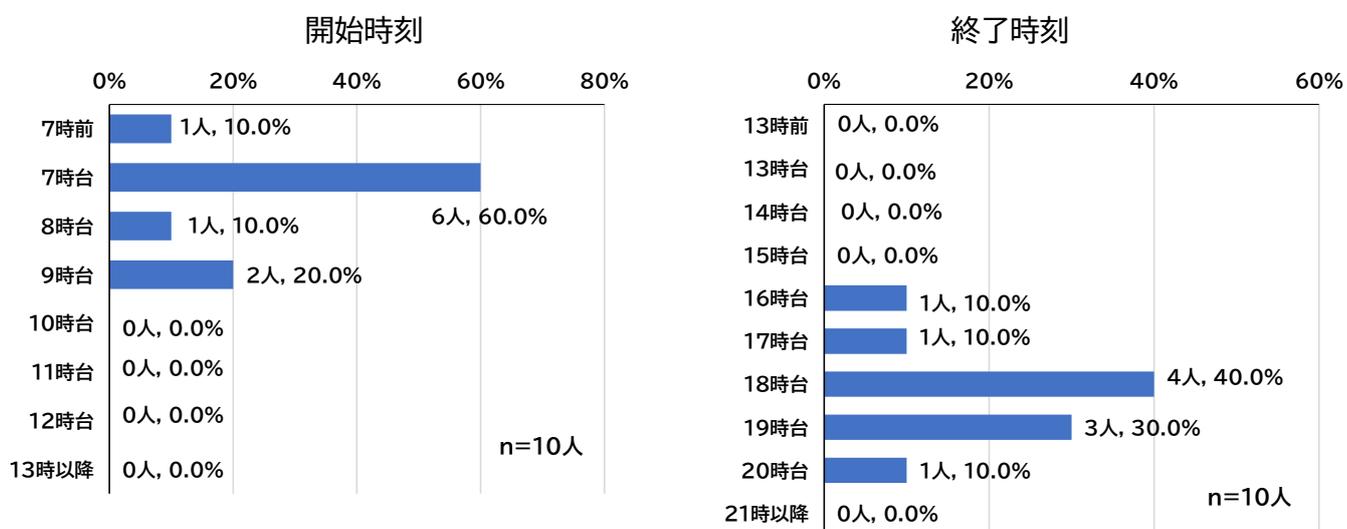
開始時刻は「8時台」の割合が41.9%と最も高く、次いで「7時台」の割合が38.7%となっています。
 終了時刻は「18時台」の割合が41.9%と最も高く、次いで「17時台」の割合が29.0%となっています。



問 28-3【土曜日】で「高学年の間利用したい」に回答した方

【高学年】(土曜日)利用開始時刻・終了時刻

開始時刻は「7時台」の割合が60.0%と最も高く、次いで「9時台」の割合が20.0%となっています。
 終了時刻は「18時台」の割合が40.0%と最も高く、次いで「19時台」の割合が30.0%となっています。



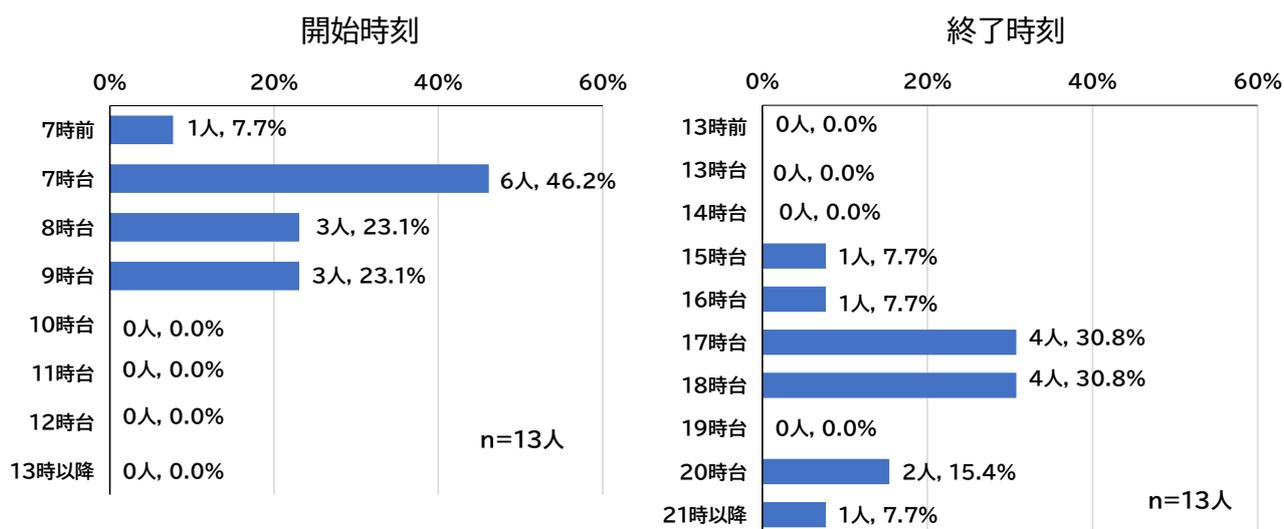
<日曜日の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望>

問 28-3【日曜日】で「低学年の間利用したい」に回答した方

【低学年】(日曜日)利用開始時刻・終了時刻

開始時刻は「7時台」の割合が46.2%と最も高く、次いで「8時台」と「9時台」の割合が同率で23.1%となっています。

終了時刻は「17時台」と「18時台」の割合が同率で30.8%となっています。

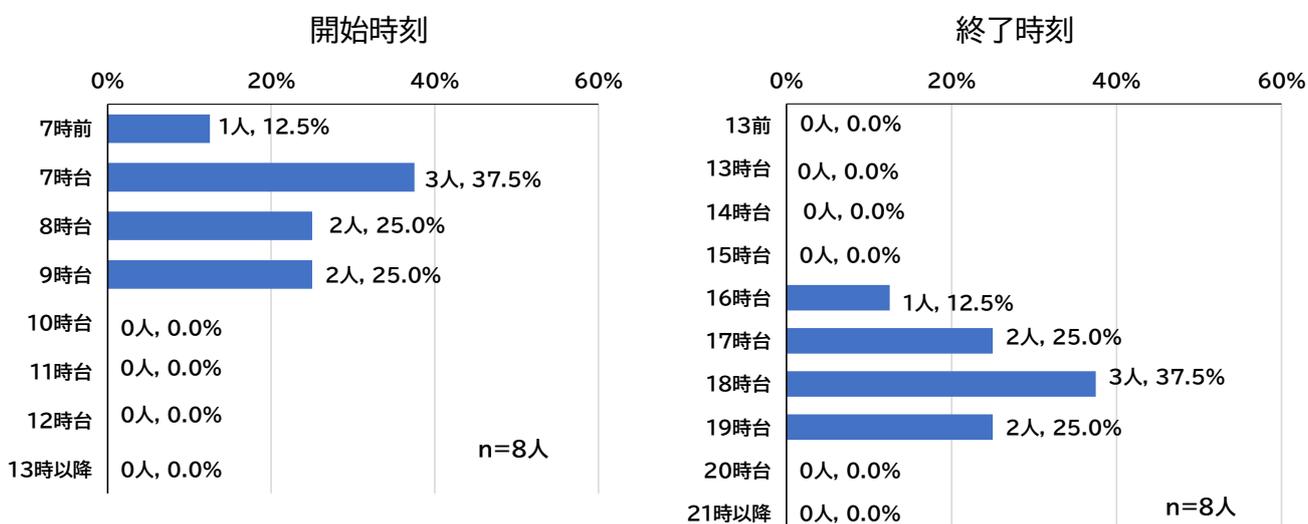


問 28-3【日曜日】で「高学年の間利用したい」に回答した方

【高学年】(日曜日)利用開始時刻・終了時刻

開始時刻は「7時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「8時台」と「9時台」の割合が同率で25.0%となっています。

終了時刻は「18時台」の割合が37.5%と最も高く、次いで「19時台」の割合が25.0%となっています。

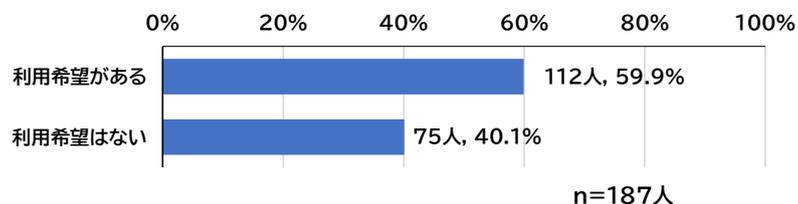


宛名のお子さんが5歳以上である方

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんが夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。ある場合は、利用したい時間帯を選択してください。事業の利用には、一定の利用料金がかかります。

<長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望>

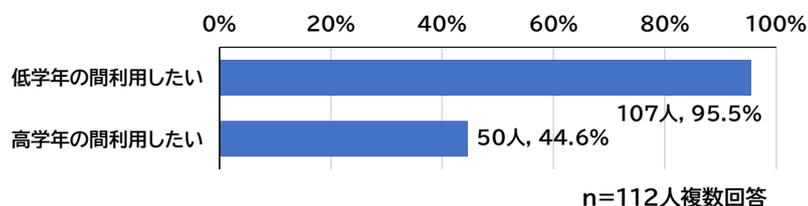
「利用希望がある」の割合が59.9%、「利用希望がない」の割合が40.1%となっています。



問 29 で長期の休暇期間中に「利用希望がある」に回答した方

【利用したい時期について】(複数回答)

長期の休暇期間中の利用について、「低学年の間利用したい」の割合が95.5%、「高学年の間利用したい」の割合が44.6%となっています。

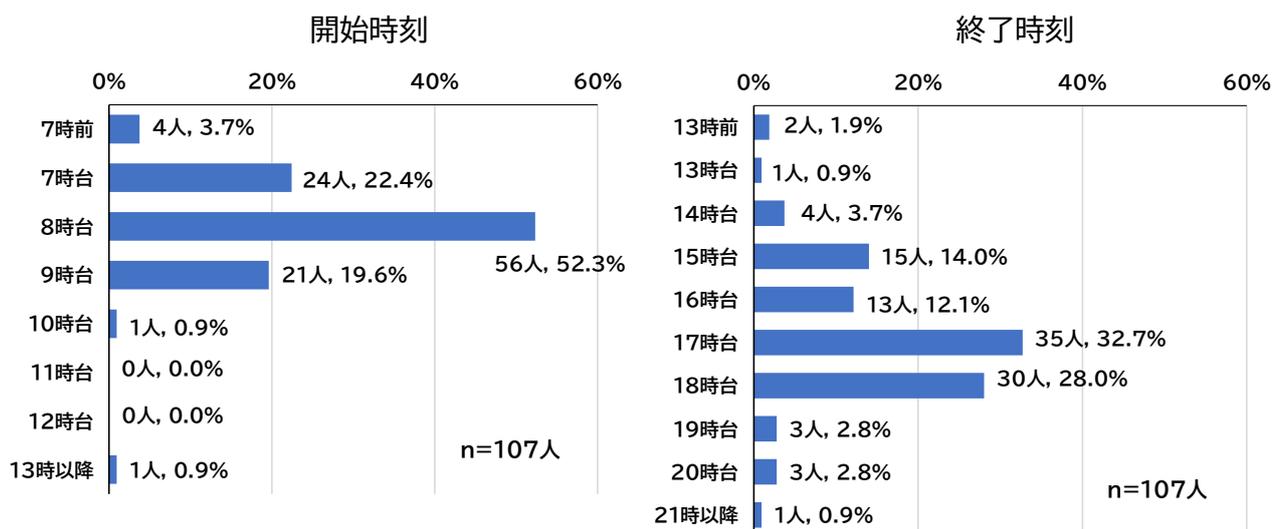


<長期休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望>

長期休暇期間中、「低学年の間利用したい」に回答した方

【低学年】（長期休暇期間中）利用開始時刻・終了時刻

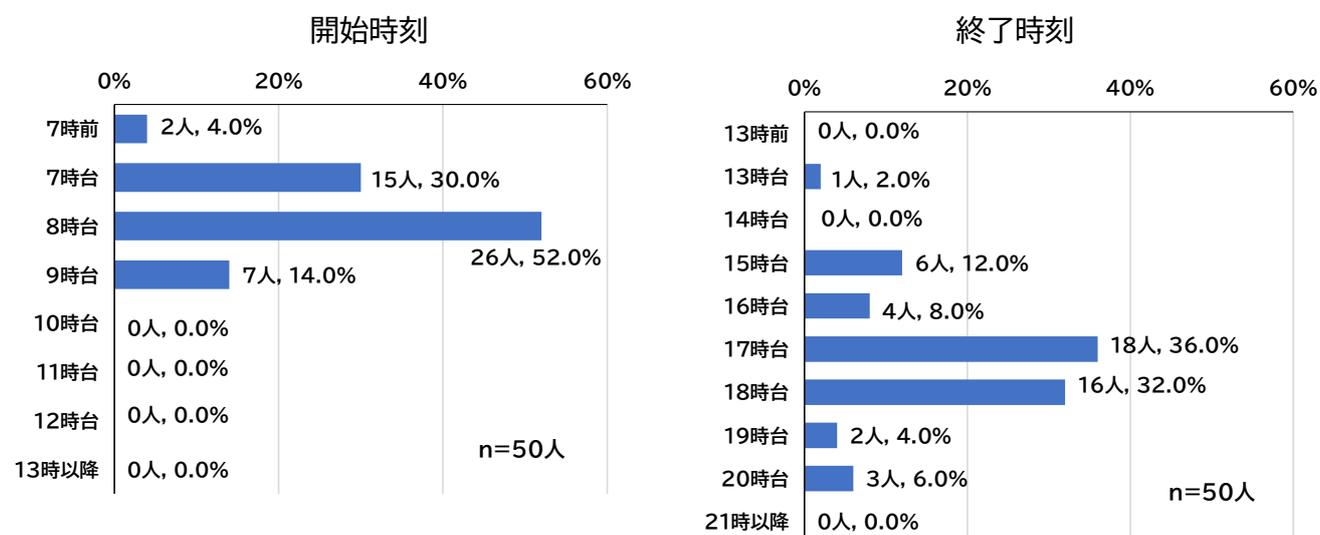
開始時刻は「8時台」の割合が52.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.4%となっています。
 終了時刻は「17時台」の割合が32.7%と最も高く、次いで「18時台」の割合が28.0%となっています。



長期休暇期間中、「高学年の間利用したい」に回答した方

【高学年】（長期休暇期間中）利用開始時刻・終了時刻

開始時刻は「8時台」の割合が52.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が30.0%となっています。
 終了時刻は「17時台」の割合が36.0%と最も高く、次いで「18時台」の割合が32.0%となっています。



(11) 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

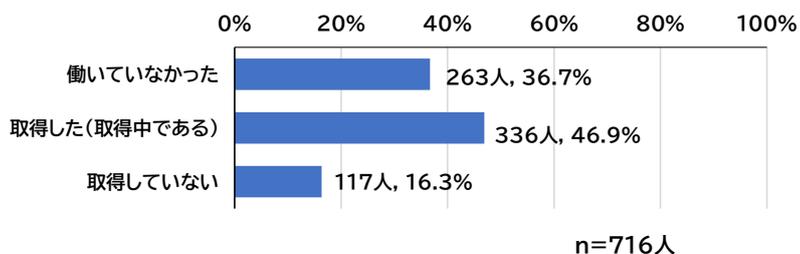
[母親]

問 13 母の就労で「無回答」の方は非該当扱い

問 30 [母親]宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。当てはまるものを選択してください。また、取得していない方はその理由を選択してください。

<【母親】宛名のお子さんが生まれた時の育児休業の取得について>

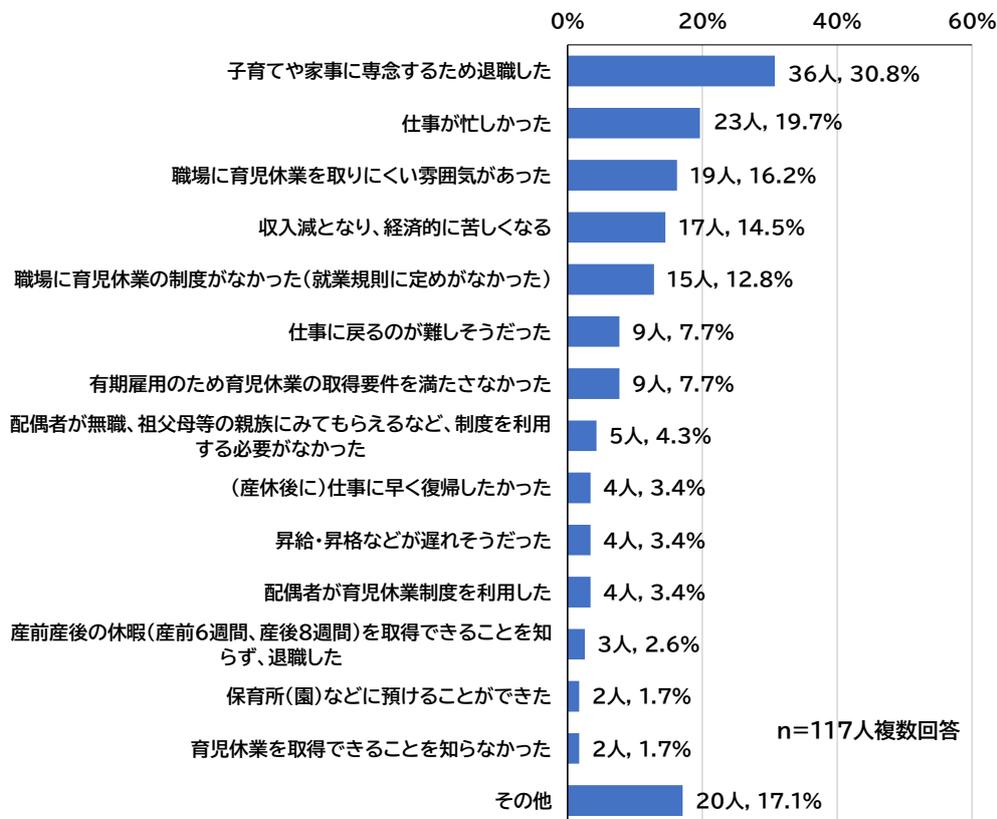
母親では、「働いていなかった」の割合が36.7%、「取得した(取得中である)」の割合が46.9%となっています。



【母親】で「取得していない」と回答した方

【母親】【取得していない理由を選択してください。】(複数選択可)

母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が30.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が19.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が16.2%となっています。



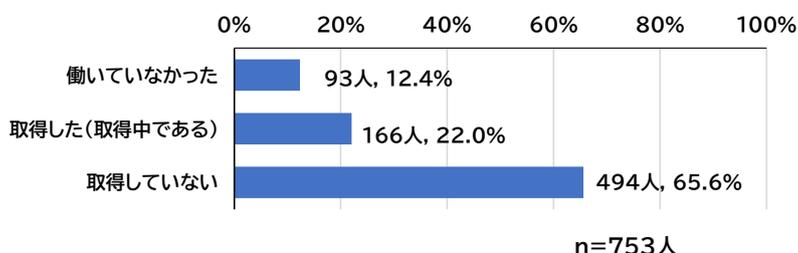
【父親】

問 13 父の就労で「無回答」の方は非該当扱い

問 30 【父親】宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。当てはまるものを選択してください。また、取得していない方はその理由を選択してください。

<【父親】宛名のお子さんが生まれた時の育児休業の取得について>

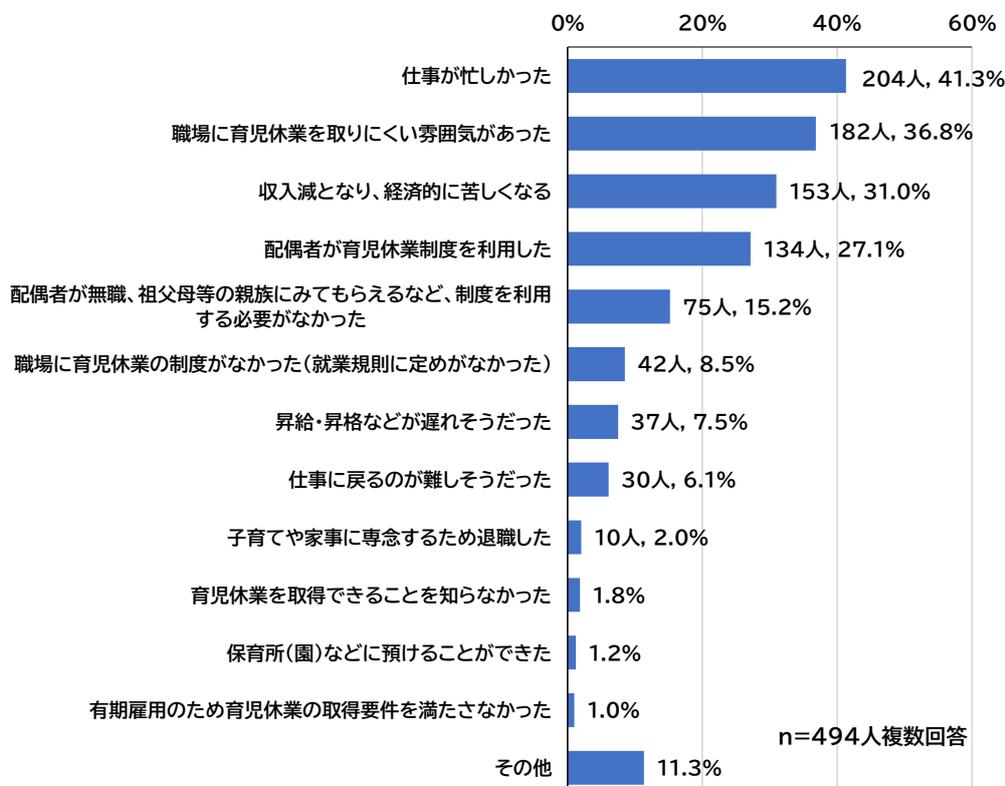
父親では、「取得していない」の割合が65.6%と最も高く、「取得した(取得中である)」の割合が22.0%、「働いていなかった」の割合が12.4%、となっています。



【父親】で「取得していない」と回答した方

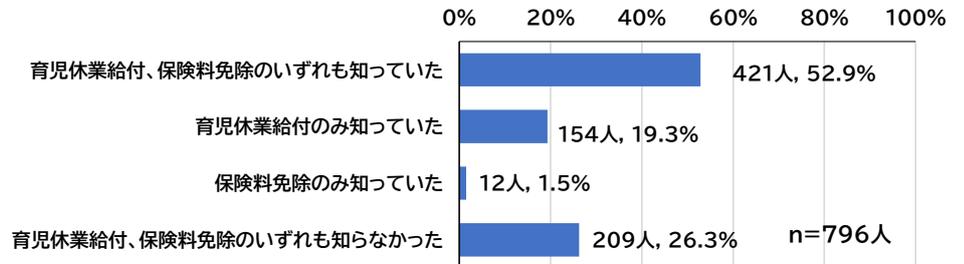
【父親】【取得していない理由を選択してください。】(複数選択可)

父親では「仕事が忙しかった」の割合が41.3%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が36.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が31.0%となっています。



問 30-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は最長2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる選択肢を1つ選択してください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」の割合が52.9%と最も高く、次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」の割合が26.3%、「育児休業給付のみ知っていた」の割合が19.3%となっています。

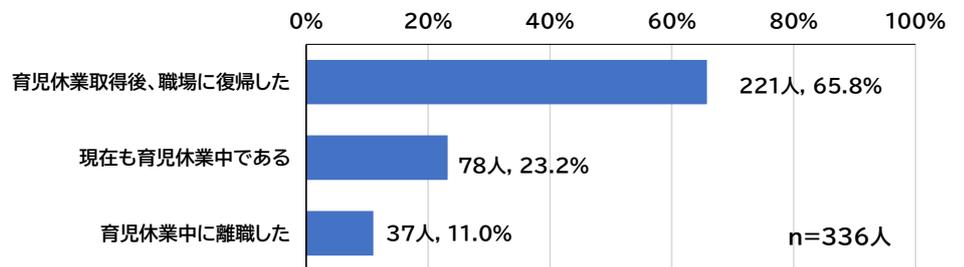


【母親】

問 30-2 【母親】問 30 で「取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまるものを1つ選択してください。

【母親】育児休業取得後、職場復帰の状況

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が65.8%と最も高く、次いで「現在も育児休業中である」の割合が23.2%となっています。

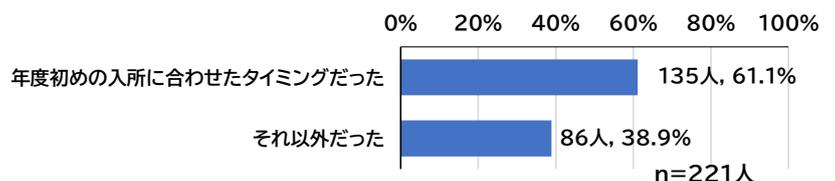


問 30-3 【母親】問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認定保育施設・その他の私設保育施設に入所した場合なども「年度初め」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初め」を選択してください。

【母親】育児休業取得後、職場復帰の状況

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が61.1%、「それ以外だった」の割合が38.9%となっています。

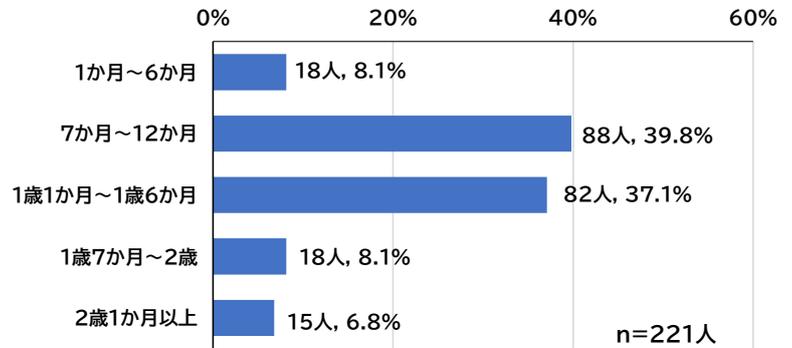


【母親】で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

問 30-4 【母親】育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。あてはまるものを選択してください。

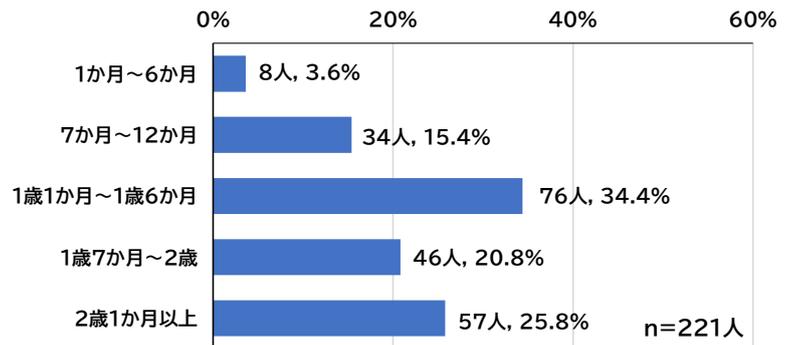
【母親】 実際の取得期間

母親では「7か月～12 か月」の割合が39.8%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が37.1%、「1か月～6か月」と「1歳7か月～2歳」の割合が同率で8.1%となっています。



【母親】 勤め先の育児休業の制度の期間内で希望の取得期間

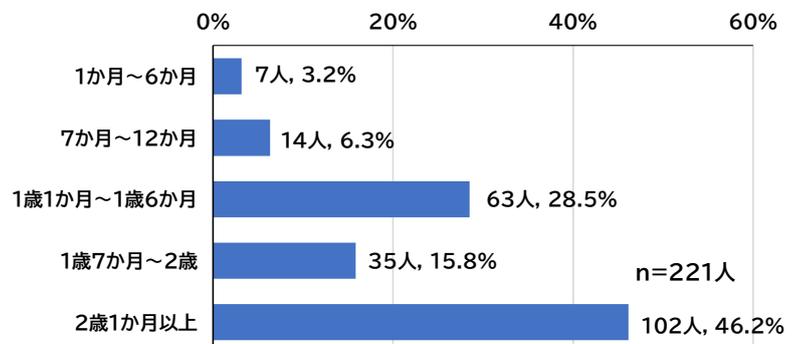
母親では「1歳1か月～1歳6か月」の割合が34.4%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が25.8%、「1歳7か月～2歳」の割合が20.8%となっています。



問 30-5 【母親】お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。あてはまるものを選択してください。

【母親】 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合希望の取得期間

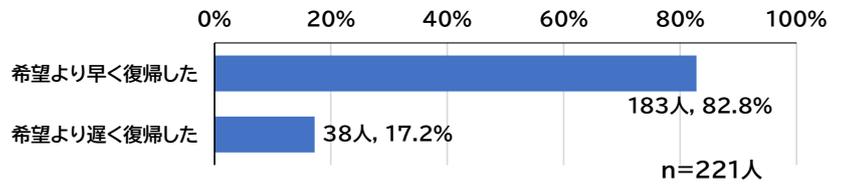
母親では「2歳1か月以上」の割合が46.2%と最も高く、次いで「1歳1か月～1歳6か月」の割合が28.5%、「1歳7か月～2歳」の割合が15.8%となっています。



問 30-6 問 30-4で実際の復帰と希望が異なる方にかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当てはまる理由をすべて選択してください。(複数回答)

【母親】<実際の希望と異なる復帰のタイミング>

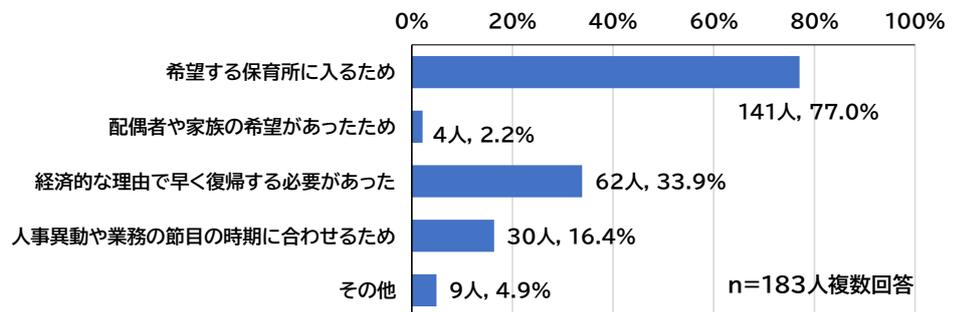
母親では「希望より早く復帰した」の割合が82.8%、「希望より遅く復帰した」の割合が17.2%となっています。



【母親】で「希望より早く復帰した」と回答した方

(1)【母親】希望より【早く】復帰した理由

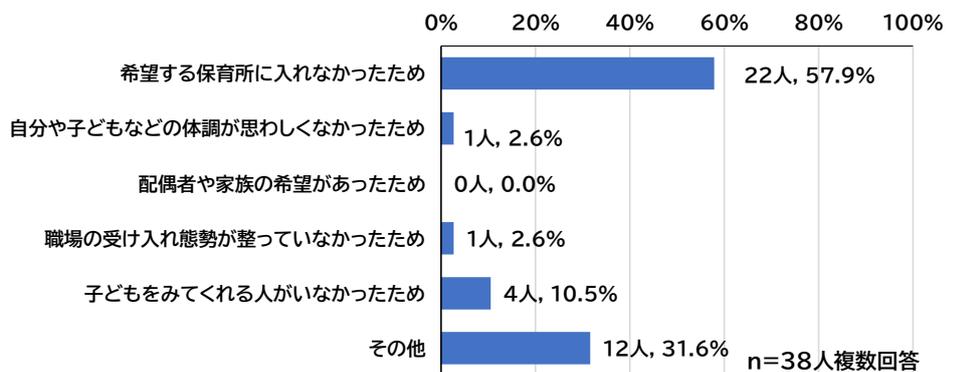
母親では「希望する保育所に入るため」の割合が77.0%と最も高く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が33.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が16.4%となっています。



【母親】で「希望より遅く復帰した」と回答した方

(2)【母親】希望より【遅く】復帰した理由

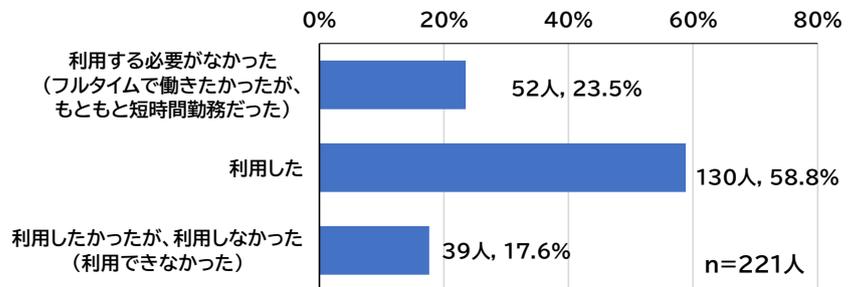
母親では「希望する保育所に入れなかったため」の割合が57.9%と最も高く、次いで「子どもをみてくれる人がいなかったため」の割合が10.5%となっています。



問 30-7 【母親】問 30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかかっています。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるものを選択してください。

【母親】 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用

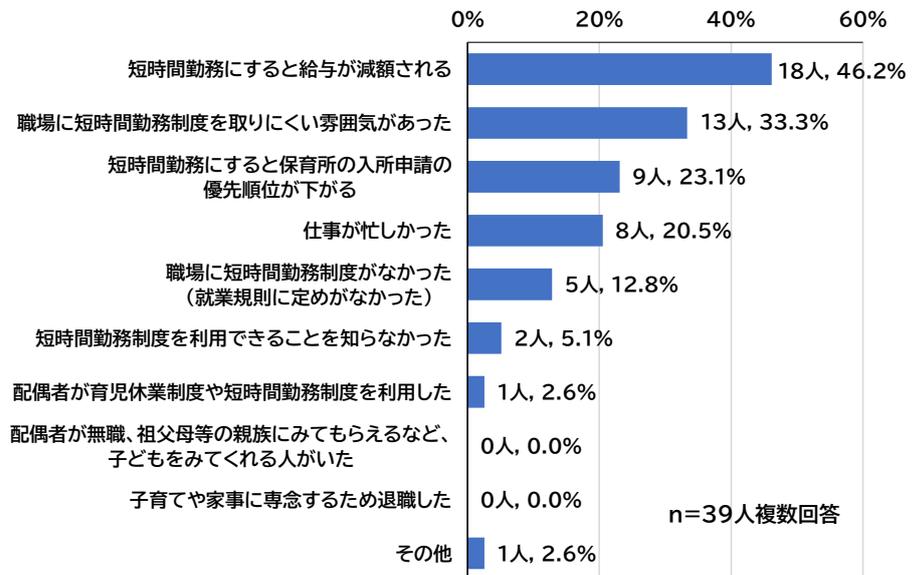
母親では「利用した」の割合が58.8%と最も高く、次いで「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかったが、もともと短時間勤務だった)」の割合が23.5%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が17.6%となっています。



問 30-8 【母親】問 30-7で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にかかっています。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。あてはまるものをすべて選択してください。【母親】

【母親】 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由(複数回答)

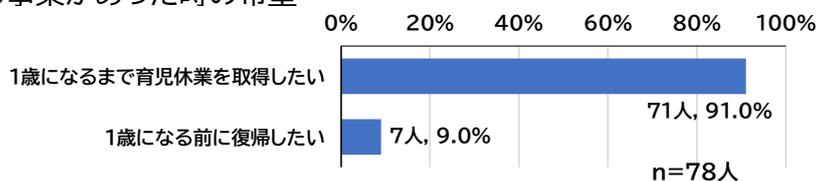
母親では「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が46.2%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が33.3%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」の割合が23.1%となっています。



問 30-9 問 30-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にかかっています。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまるものを1つ選択してください。【母親】

【母親】 1歳になったときに必ず利用できる事業があった時の希望

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が91.0%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が9.0%となっています。

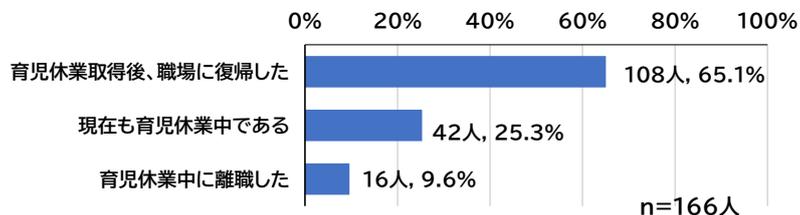


【父親】

問 30-2 【父親】問 30(父親)で「取得した(取得中である)」と回答した方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまるものを1つ選択してください。

【父親】育児休業取得後、職場復帰の状況

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が65.1%と最も高くなっています。

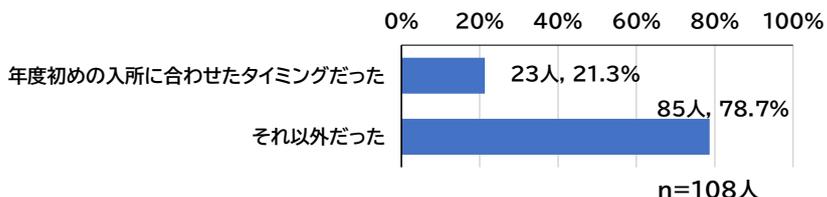


問 30-3 【父親】問 30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認定保育施設・その他の私設保育施設に入所した場合なども「年度初め」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「年度初め」を選択してください。

【父親】育児休業取得後、職場復帰の状況

父親では「それ以外だった」の割合が78.7%となっています。

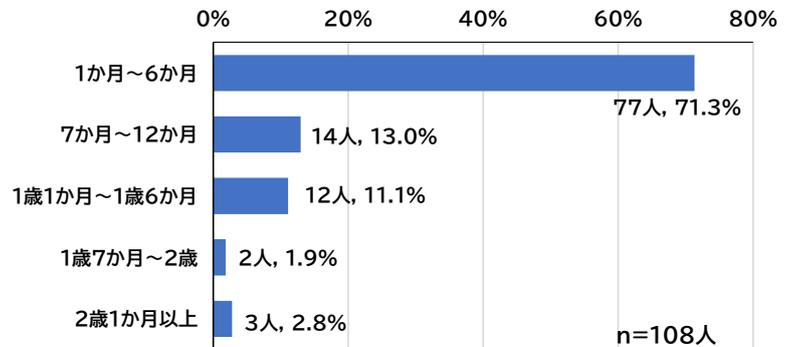


【父親】で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方

問 30-4 【父親】育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。あてはまるものを選択してください。

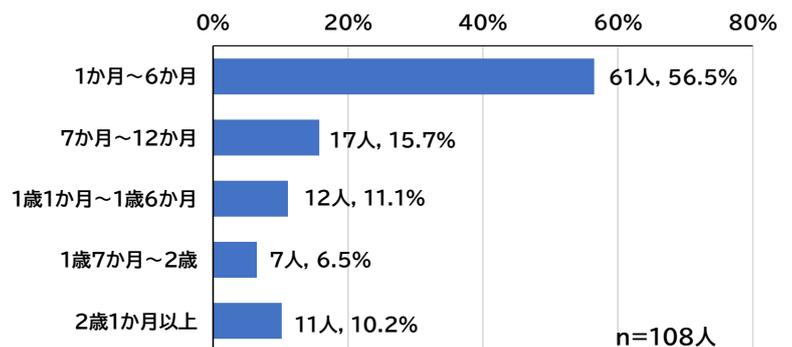
【父親】 実際の取得期間

父親では「1か月～6か月」の割合が71.3%と最も高くなっています。



【父親】 勤め先の育児休業の制度の期間内で希望の取得期間

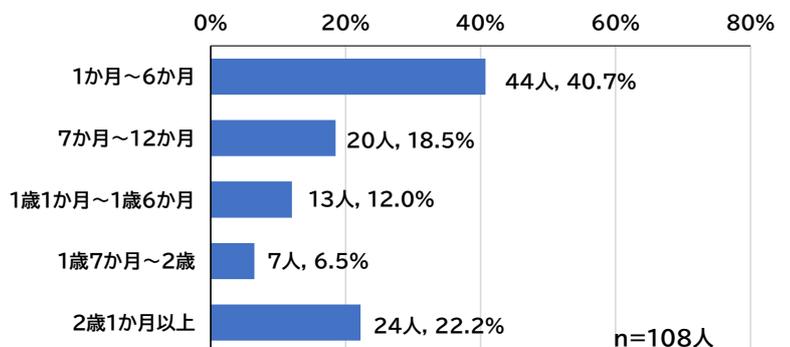
父親では「1か月～6か月」の割合が56.5%と最も高くなっています。



問 30-5 【父親】お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。あてはまるものを選択してください。

【父親】 勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合希望の取得期間

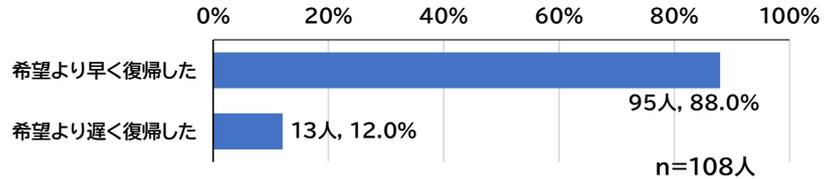
父親では「1か月～6か月」の割合が40.7%と最も高く、次いで「2歳1か月以上」の割合が22.2%、「7か月～12か月」の割合が18.5%となっています。



問 30-6 【父親】問 30-4で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当てはまる理由をすべて選択してください。(複数回答)

【父親】<実際の希望と異なる復帰のタイミング>

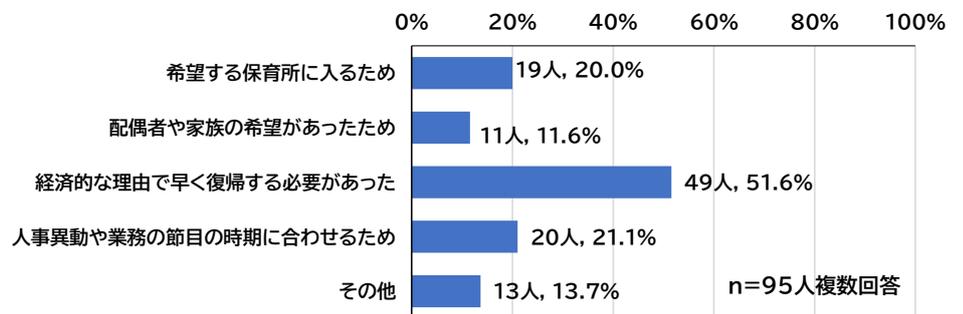
父親では「希望より早く復帰した」の割合が88.0%、「希望より遅く復帰した」の割合が12.0%となっています。



【父親】で「希望より早く復帰した」と回答した方

(1)【父親】希望より【早く】復帰した理由

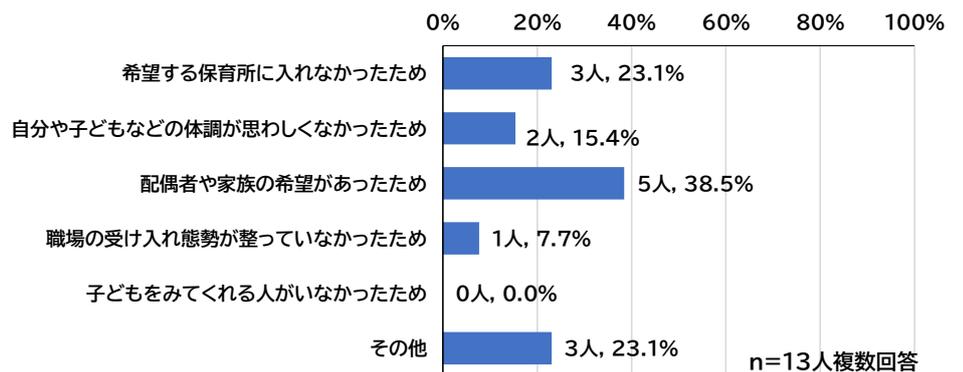
父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が51.6%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」の割合が21.1%となっています。



【父親】で「希望より遅く復帰した」と回答した方

(2)【父親】希望より【遅く】復帰した理由

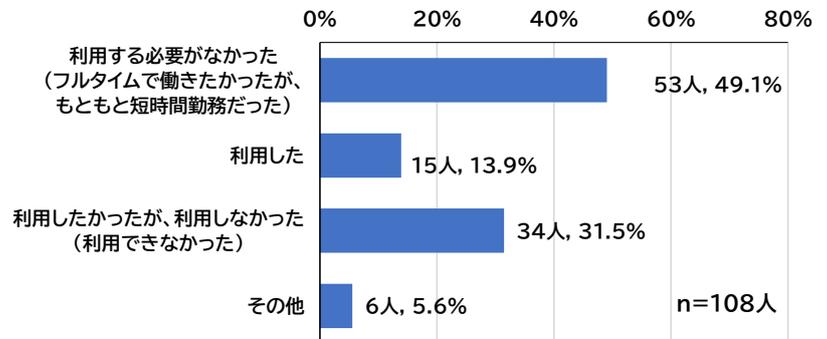
父親では「配偶者や家族の希望があったため」の割合が38.5%と最も高く、次いで「希望する保育所に入れなかったため」と「その他」の割合が同率で23.1%となっています。



問 30-7 【父親】問 30-2で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるものを選択してください。

【父親】 育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用

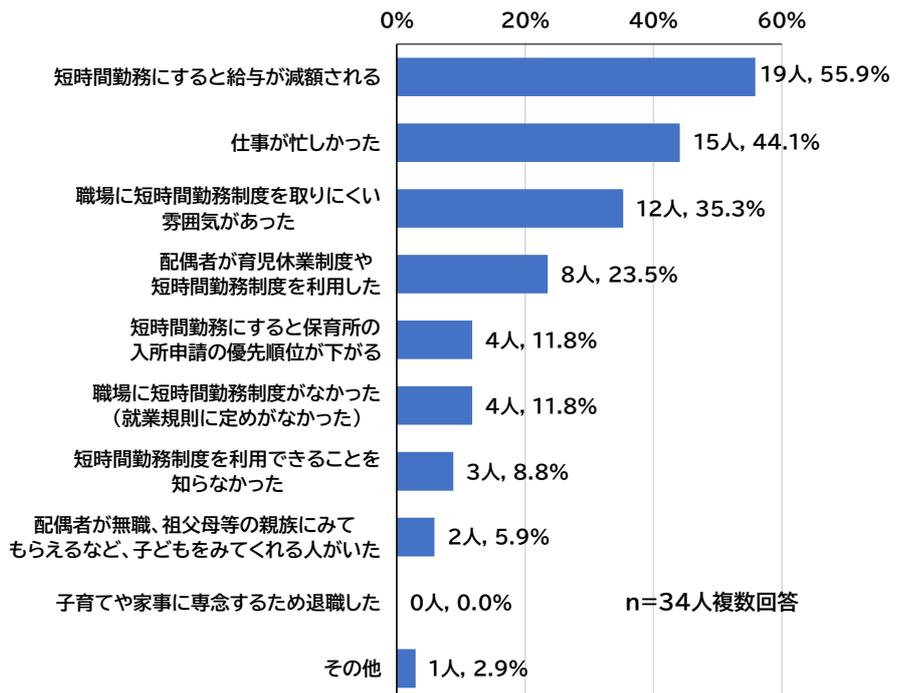
父親では「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかったが、もともと短時間勤務だった)」の割合が49.1%と最も高く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」の割合が31.5%となっています。



問 30-8 【父親】問 30-7で「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にかがいます。短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由はなんですか。あてはまるものをすべて選択してください。【母親】

【父親】 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由(複数回答)

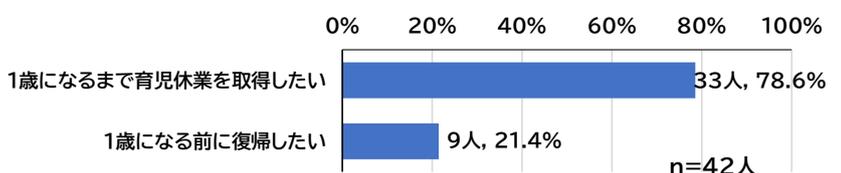
父親では「短時間勤務にすると給与が減額される」の割合が55.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」の割合が44.1%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」の割合が35.3%となっています。



問 30-9 【父親】問 30-2で「現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。あてはまるものを1つ選択してください。【母親】

【父親】 1歳になったときに必ず利用できる事業があった時の希望。

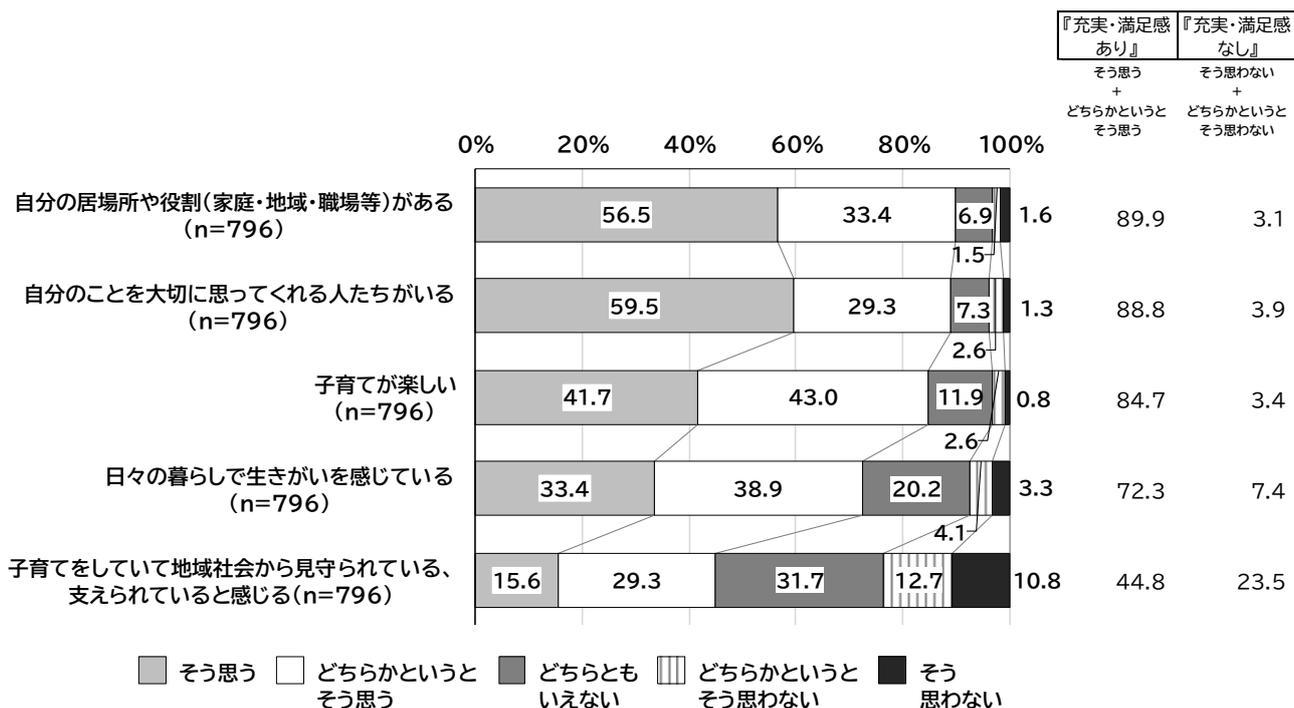
父親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」の割合が78.6%、「1歳になる前に復帰したい」の割合が21.4%となっています。



(12) 子育て世帯生活状況調査

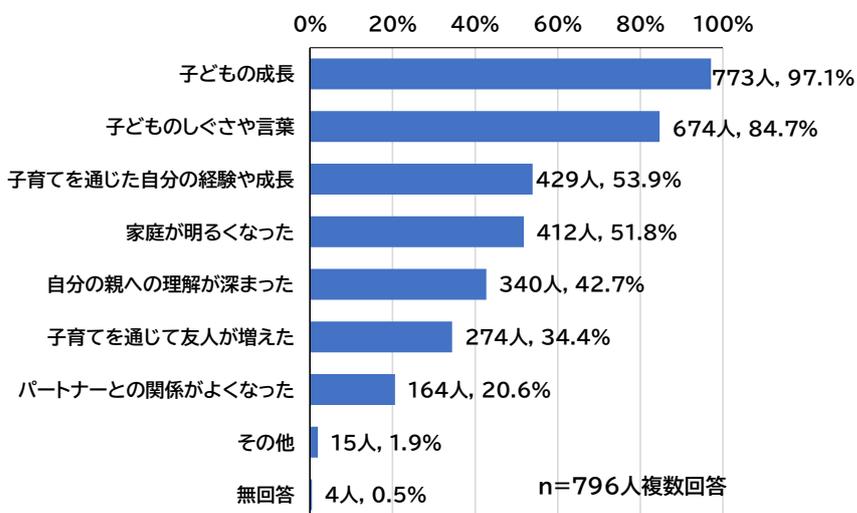
問 31 あなたの普段の生活の充実感・満足感をおたずねします。

「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『充実・満足感あり』でみると、「自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある」で 89.9%と最も高く、次いで「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる」で 88.8%、「子育てが楽しい」で 84.7%となっています。一方、「子育てをされていて地域社会から見守られている、支えられていると感じる」では、『充実・満足感あり』の割合が 44.8%と他と比べて低くなっています。



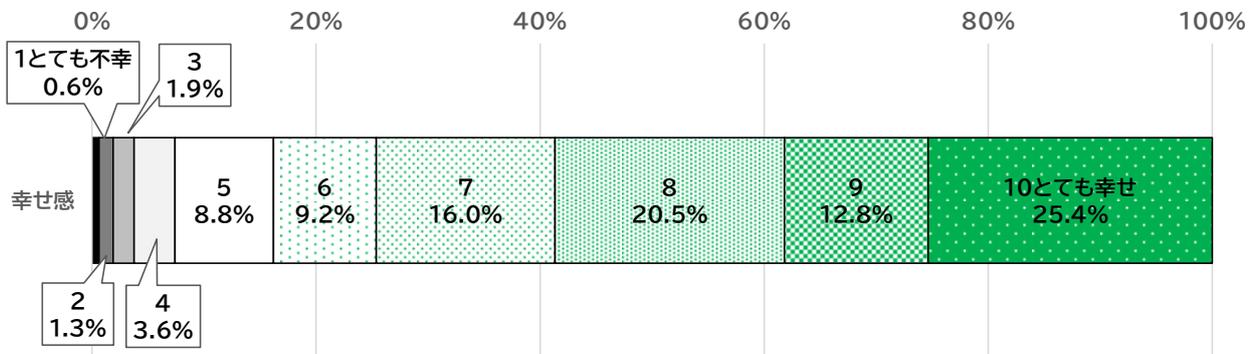
問 32 子育てをしてよかったこと。嬉しかったことは何ですか。(複数選択可・ない場合は選択不要)

上位 5 項目をみると、「子どもの成長」の割合が 97.1%と最も高く、次いで「子どものしぐさや言葉」84.7%、「子育てを通じた自分の経験や成長」53.9%、「家庭が明るくなった」51.8%、「自分の親への理解が深まった」42.7%の順となっています。



問 33 あなたは現在どの程度幸せだと感じていますか。(☆を選択してください。)

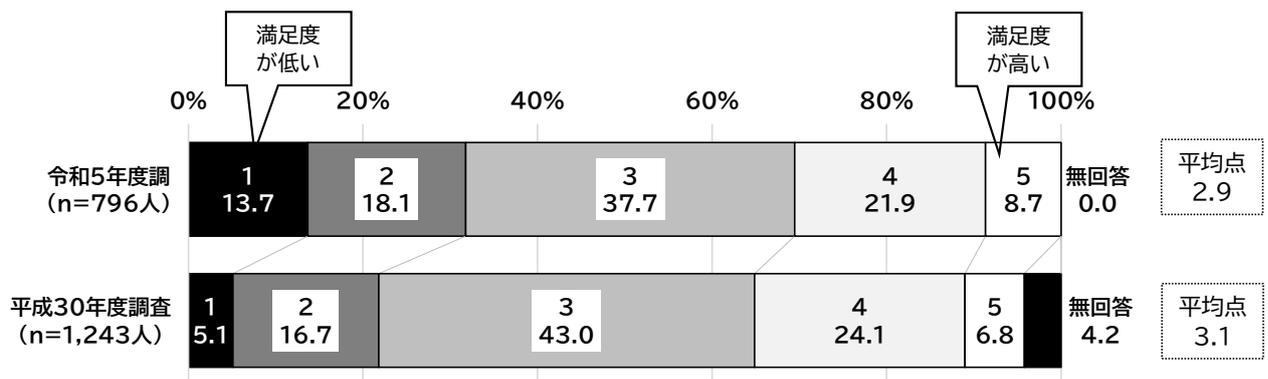
「10とても幸せ」の割合が25.4%と最も高く、次いで「8」の割合が20.5%、「7」の割合が16.0%となっています。



問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について教えてください。(☆を選択してください。)

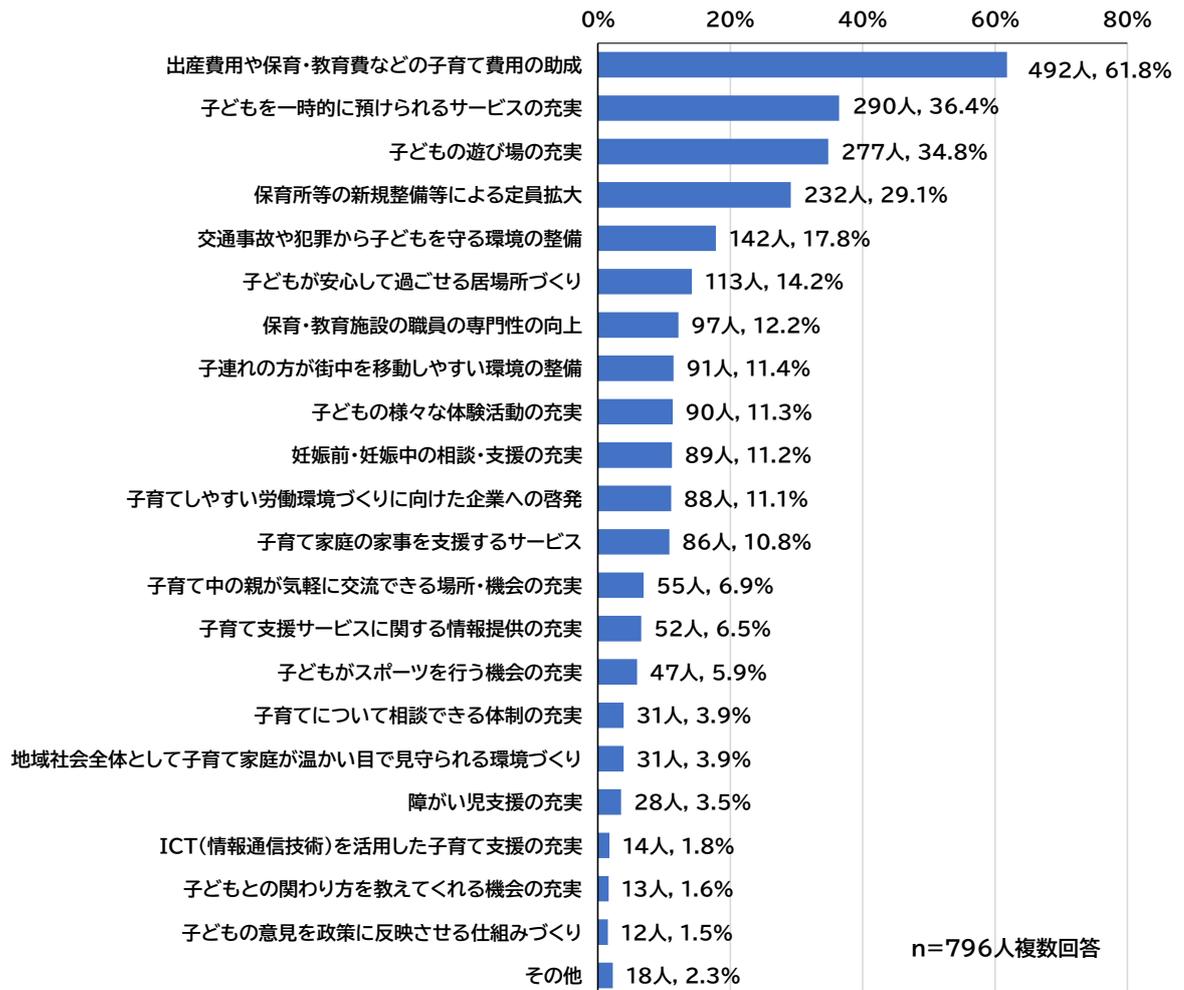
「3」の割合が37.7%と最も高く、次いで「4」の割合が21.9%、「2」の割合が18.1%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「3」の割合が全体より5.3ポイント減少し、「1」の割合が全体より8.6ポイント増加しています。



問 35 今後、子育て支援の充実に向けて、どのようなことを望みますか。(特に強く思うものを3つ選択してください。)

上位 5 項目をみると、「出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成」が 61.8%と最も高く、次いで「子どもを一時的に預けられるサービスの充実」36.4%、「子どもの遊び場の充実」34.8%、「保育所等の新規整備等による定員拡大」29.1%、「交通事故や犯罪から子どもを守る環境の整備」17.8%の順となっています。



問 36 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。

263名の方から 466 件のご意見をいただきました。

意見内容	件数
幼稚園・保育園(保育料含む)	75
遊び場、公園、居場所	54
経済的支援	37
預け先の充実(一時、長期休暇、休日)	20
働きやすい環境づくり	20
道路・歩道整備	19
子育て支援の内容充実、サービス多様化	19
まちづくり	17
出産、不妊、産後ケア	15
子育て支援センター	13
医療の充実	13
母親(家庭)の負担軽減	11
保育者・教員・支援者等の待遇改善、増員	11
給食(無償化、内容の充実)	11
学童、プラザ	11
教育環境の改善	10
公共交通機関	10
広報・広聴・情報提供	10
地域コミュニティ	10
イベントの開催	8
図書館・図書室	7
療育、障害児	7
相談、セミナー	7
移動支援	6
児童館	5
教員等の資質向上	4
行政、サービス	4
教育内容の充実(英語、IT等)	3
習い事	3
病児保育	3
商業の充実	3
子ども食堂	2
親の資質向上	2
ひとり親への支援	2
不審者対策・防犯	2
その他(感謝、満足含む)	12
合計	466

問36の自由記述について、意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 幼稚園・保育園

- ・ 親族が近所に居住しておらず保育園入所が困難な場合就労と育児の両立が難しいため、子供が1歳を過ぎてからもパートやアルバイトまたは就職活動中であっても保育園に入所出来るよう改善してほしい。また、慣らし保育は入社前に済ませられるように特例を作ってほしい。
現段階の綾瀬市では就労したい母親にとって不利な事が多く厳し過ぎると思います。
- ・ 保育料や、教育費が高く、家計に負担がある。保育所が、土曜日は短時間しか預かってもらえず、毎回仕事を早退しているので、平日と同じ時間帯で預かってほしい。
- ・ 子ども園や保育園がもっと増え、定員も増えたら 0 歳の幼い頃から入れる必要が減り、少しでも長く子

供と過ごせ、また仕事復帰の不安も減ると思うのでそれが実現できたらありがたいです。

⇒就労したい、長く働きたい保護者が多いが、保育園の定員や入所の条件により、働き方を変えざる負えない意見が多くみられました。

2 遊び場、公園、居場所

- ・ ボールの使用禁止や、老人会の週複数回もの占有など、公園が利用しにくい。
占有するならば、スポーツ公園やスポーツセンターなど、有料施設を利用すべきではないか。
子供の利用を制限する決まりがあまりにも多く、少しの事でも苦情を言う住人がいると察せられるため、子供を外で遊ばせる事は気が進まない。
もっと、子供が自由に遊べる環境(雰囲気)を望む。
- ・ 綾瀬市には室内の遊び場が児童館くらいしかないので、雨の時などでもいろんな年代の子どもが遊べる大きい施設を作って欲しいです。市民プールも設置するべきだと思います。中央図書館ももっと大きくして、冊数も増やし欲しい！
- ・ 支援センターや児童館以外で、市内に安価で利用出来る室内遊び場(遊具あり)があると雨天時や冬場など助かります

⇒室内での遊べる施設や、ボール遊びを自由に行える場所が増えてほしいという意見が多くみられました。

3 経済的支援

- ・ 所得制限をつけるのをやめてほしい。副食費補助も、全員にするか、全員にしないかにしてほしい(生活保護世帯を除く)。
小学校入学の支援金も、金額を減らして全世帯対象にしてほしい。自分たちが納めた税金が不平等に使われていると感じる。収入が低めの人にばかり支援があり、残業ワンオペの世代はその分、収入が多くもらえないのはおかしいのでは？
- ・ 子どもに関してお金のかからない世の中になって欲しい。特に教育面で。
- ・ ただお金を配る(子供手当)のではなく保育料、授業料など子供が義務教育を受けるに当たって必要不可欠の費用を無償化にしてほしい。支給制度では誰が使っているのかわからない。

⇒所得制限などについてサービスを受けられる条件についての意見や、教育に関する費用の無償化についての意見が多くみられました。

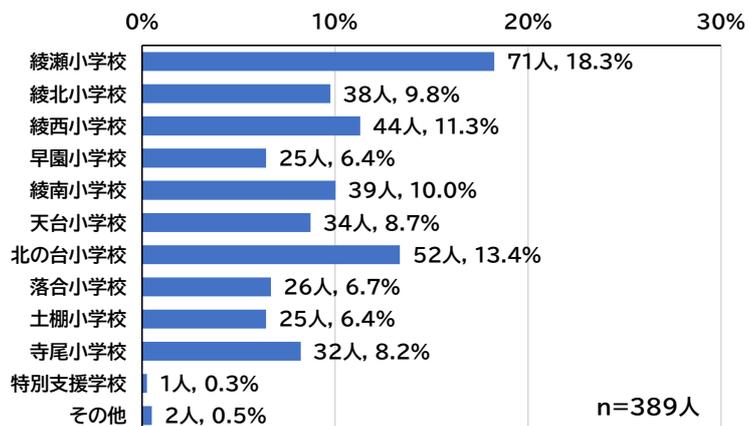
2 就学児童調査

(1) お子さんについて

問1 あなたについて教えてください。

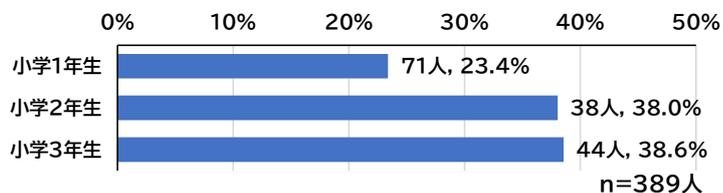
Q1 宛名のおさんはどちらの学校に通われていますか。

「綾瀬小学校」の割合が18.3%と最も高く、次いで「北の台小学校」の割合が13.4%、「綾西小学校」の割合が11.3%となっています。



Q2 宛名のおさんの学年を教えてください。

「小学3年生」の割合が38.6%と最も高く、次いで「小学2年生」の割合が38.0%、「小学1年生」の割合が23.4%となっています。

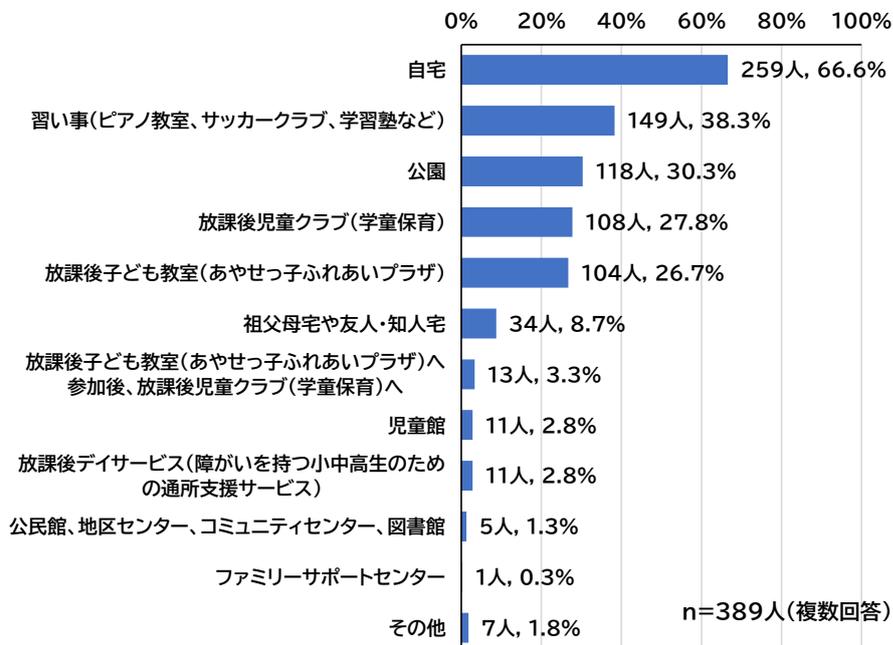


(2) お子さんの放課後の過ごし方について

Q3 宛名のお子さんは現在、放課後(平日の小学校終了後)をどの場所で過ごされていますか。

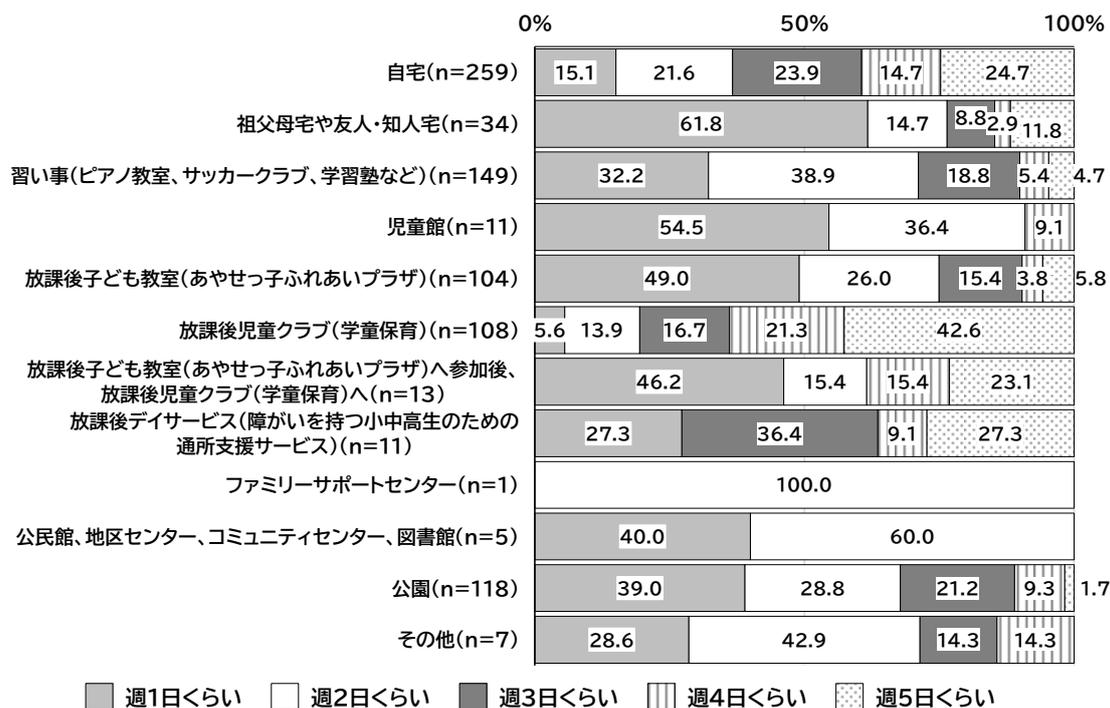
自宅・公園を除くと習い事・放課後児童クラブ・放課後子ども教室利用者が3割程度

「自宅」の割合が66.6%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が38.3%、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が27.8%、「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」の割合が26.7%となっています。



Q3 で放課後過ごす場所として選択した方のみ回答

【一週間当たりの利用日数】



Q3 で放課後過ごす場所として選択した方のみ回答

【一週間当たりの利用日数】

<自宅> (n=259)

「週 5 日くらい」の割合が 24.7%と最も高く、次いで「週 3 日くらい」の割合が 23.9%、「週 2 日くらい」の割合が 21.6%となっています。

<祖父母宅や友人・知人宅> (n=34)

「週 1 日くらい」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 14.7%、「週 5 日くらい」の割合が 11.8%となっています。

<習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)> (n=149)

「週 2 日くらい」の割合が 38.9%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」の割合が 32.2%、「週 3 日くらい」の割合が 18.8%となっています。

<児童館> (n=11)

「週 1 日くらい」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 36.4%、「週 4 日くらい」の割合が 9.1%となっています。

<放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)> (n=104)

「週 1 日くらい」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 26.0%、「週 3 日くらい」の割合が 15.4%となっています。

<放課後児童クラブ(学童保育)> (n=108)

「週 5 日くらい」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「週 4 日くらい」の割合が 21.3%、「週 3 日くらい」の割合が 16.7%となっています。

<放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ> (n=13)

「週 1 日くらい」の割合が 46.2%と最も高く、次いで「週 5 日くらい」の割合が 23.1%、「週 2 日くらい」と「週 4 日くらい」の割合が同率で 15.4%となっています。

<放課後デイサービス(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)> (n=11)

「週 3 日くらい」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」と「週 5 日くらい」の割合が同率で 27.3%となっています。

<ファミリーサポートセンター> (n=1)

※ 有効回答件数が 10 人未満のため分析対象外

<公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館> (n=5)

※ 有効回答件数が 10 人未満のため分析対象外

<公園> (n=118)

「週 1 日くらい」の割合が 39.0%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 28.8%、「週 3 日くらい」の割合が 21.2%となっています。

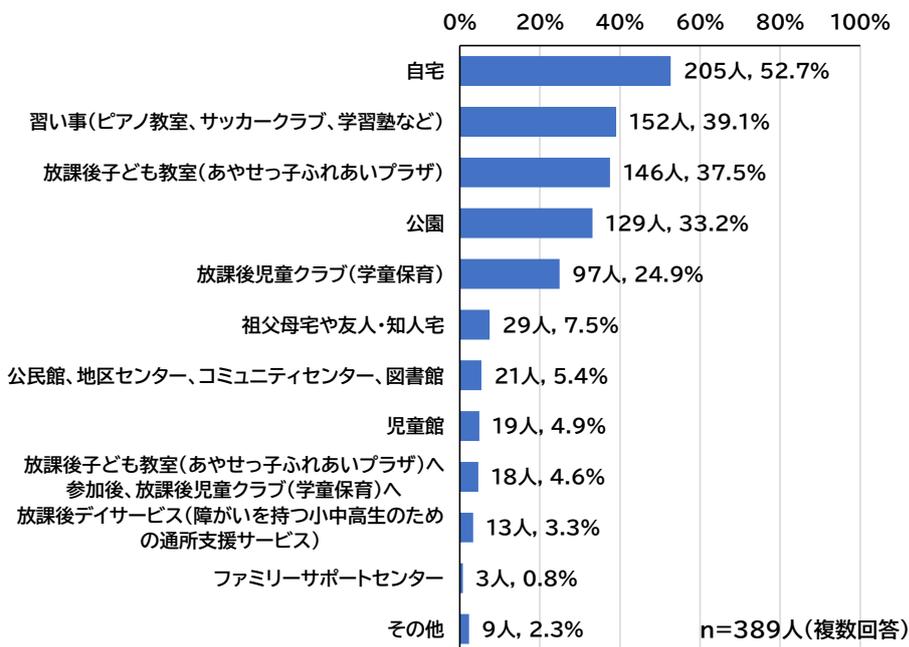
<その他> (n=7)

※ 有効回答件数が 10 人未満のため分析対象外

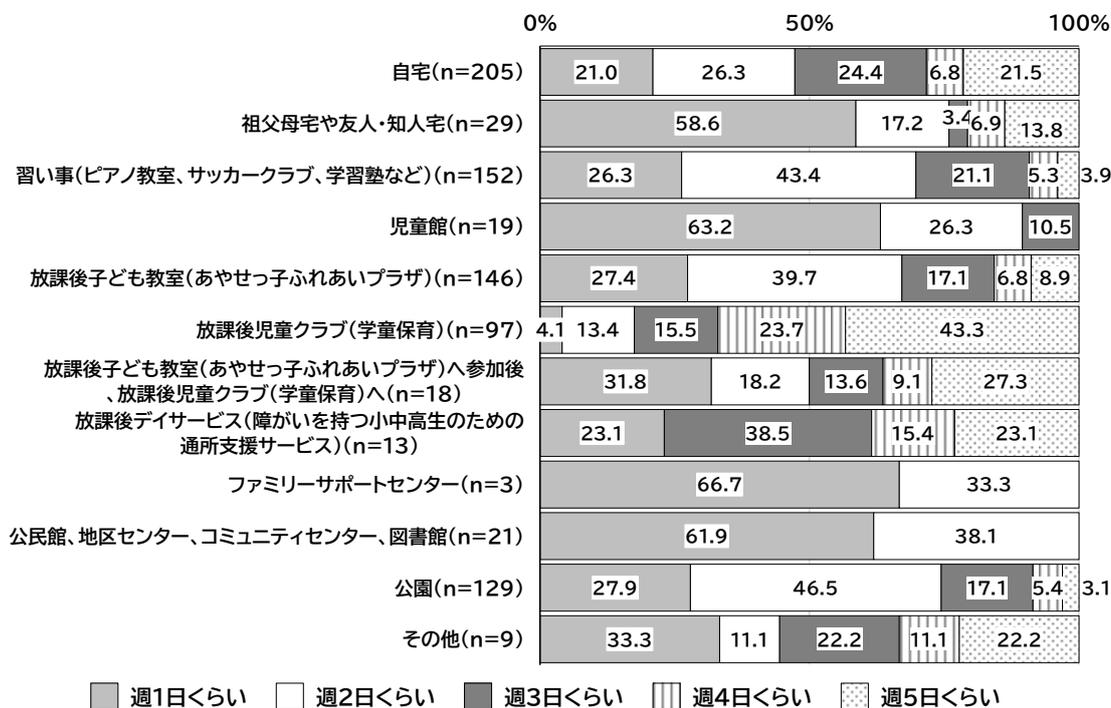
Q4 今後、宛名のお子さんに放課後(平日の小学校終了後)を次のどの場所で過ごさせたいですか。

現状と比較すると、自宅が減り、習い事・放課後子ども教室利用が増加

「自宅」の割合が52.7%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」の割合が39.1%、「放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)」の割合が37.5%、「公園」の割合が33.2%、「放課後児童クラブ(学童保育)」の割合が24.9%となっています。



【利用日数】



Q4 で放課後過ごしたい場所として選択した方のみ回答

【一週間当たりの利用日数】

<自宅> (n=205)

「週 3 日くらい」の割合が 24.4%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 26.3%、「週 5 日くらい」の割合が 21.5%となっています。

<祖父母宅や友人・知人宅> (n=29)

「週 1 日くらい」の割合が 58.6%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 17.2%、「週 5 日くらい」の割合が 13.8%となっています。

<習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)> (n=152)

「週 2 日くらい」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」の割合が 26.3%、「週 3 日くらい」の割合が 21.1%となっています。

<児童館> (n=19)

「週 1 日くらい」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 26.3%、「週 3 日くらい」の割合が 10.5%となっています。

<放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)> (n=146)

「週 2 日くらい」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」の割合が 27.4%、「週 3 日くらい」の割合が 17.1%となっています。

<放課後児童クラブ(学童保育)> (n=97)

「週 5 日くらい」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「週 4 日くらい」の割合が 23.7%、「週 3 日くらい」の割合が 15.5%となっています。

<放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)へ参加後、放課後児童クラブ(学童保育)へ> (n=18)

「週 1 日くらい」の割合が 31.8%と最も高く、次いで「週 5 日くらい」の割合が 27.3%、「週 2 日くらい」の割合が 18.2%となっています。

<放課後デイサービス(障がいを持つ小中高生のための通所支援サービス)> (n=13)

「週 3 日くらい」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」と「週 5 日くらい」の割合が同率で 23.1%、「週 4 日くらい」の割合が 15.4%となっています。

<ファミリーサポートセンター> (n=3)

※ 有効回答件数が 10 人未満のため分析対象外

<公民館、地区センター、コミュニティセンター、図書館> (n=21)

「週 1 日くらい」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「週 2 日くらい」の割合が 38.1%となっています。

<公園> (n=129)

「週 2 日くらい」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「週 1 日くらい」の割合が 27.9%、「週 3 日くらい」の割合が 17.1%となっています。

<その他> (n=9)

※ 有効回答件数が 10 人未満のため分析対象外

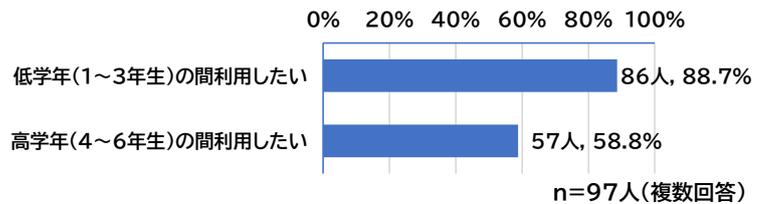
Q5 Q4で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」を選択した方にうかがいます。放課後から何時まで利用したいですか。

<平日>

利用意向時間は17時台・18時台中心

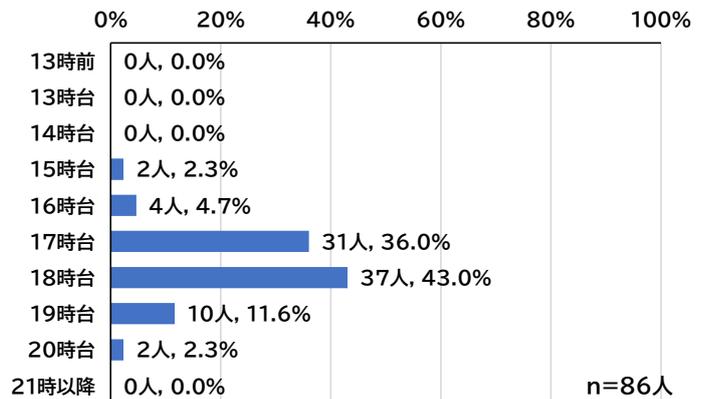
【利用したい年次】

「低学年(1~3年生)の間利用したい」の割合は88.7%、「高学年(4~6年生)の間利用したい」の割合は58.8%となっています。



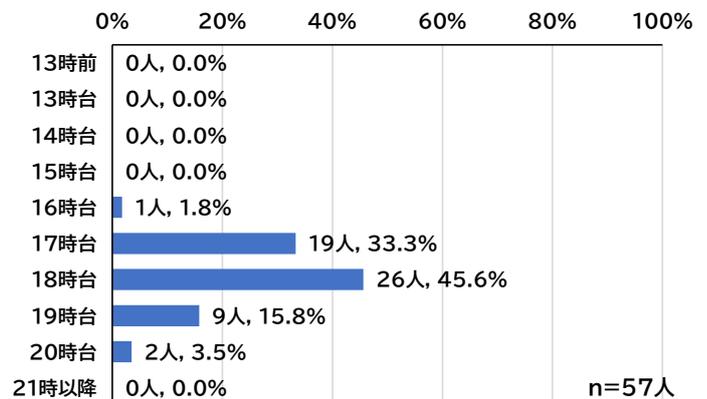
【利用終了時刻】低学年(1~3年生)

「18時台」の割合が43.0%と最も高く、次いで「17時台」の割合が36.0%、「19時台」の割合が11.6%となっています。



【利用終了時刻】高学年(4~6年生)

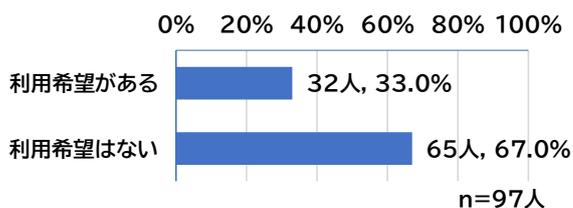
「18時台」の割合が45.6%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%、「19時台」の割合が15.8%となっています。



<土曜日>

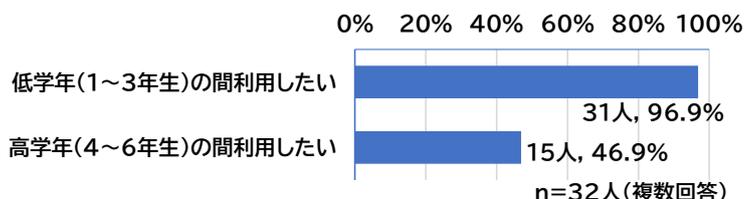
【土曜日の利用意向】

「利用希望がある」の割合は33.0%、「利用希望はない」の割合は67.0%となっています。



【利用したい年次】

「低学年(1~3年生)の間利用したい」の割合は96.9%、「高学年(4~6年生)の間利用したい」の割合は46.9%となっています。

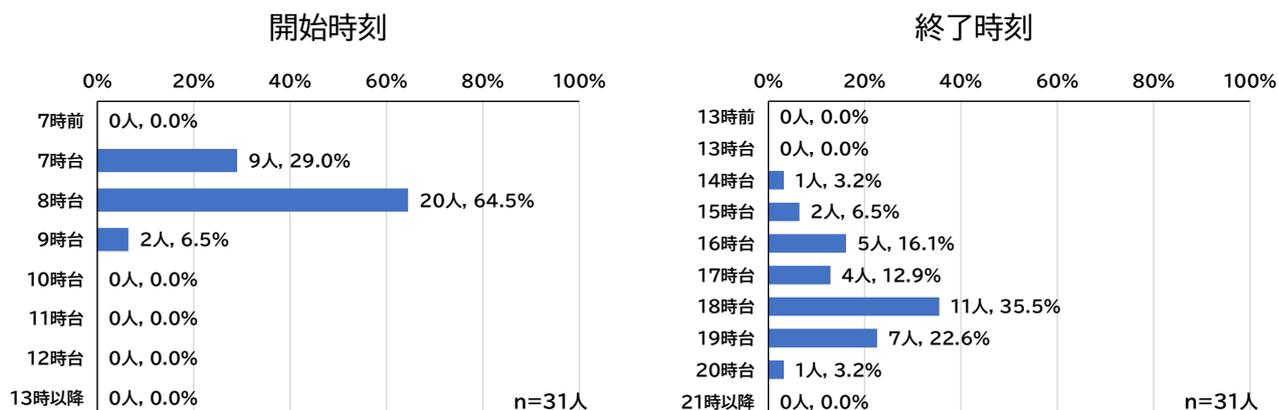


【低学年(1~3年生)】<土曜日 利用開始時刻・終了時刻>

土曜日の利用時間は「開始」8時台中心、「終了」18時中心だが前後に分散

開始時刻は「8時台」の割合が64.5%と最も高く、次いで「7時台」の割合が29.0%となっています。

終了時刻は「18時台」の割合が35.5%と最も高く、次いで「16時台」の割合が16.1%となっています。

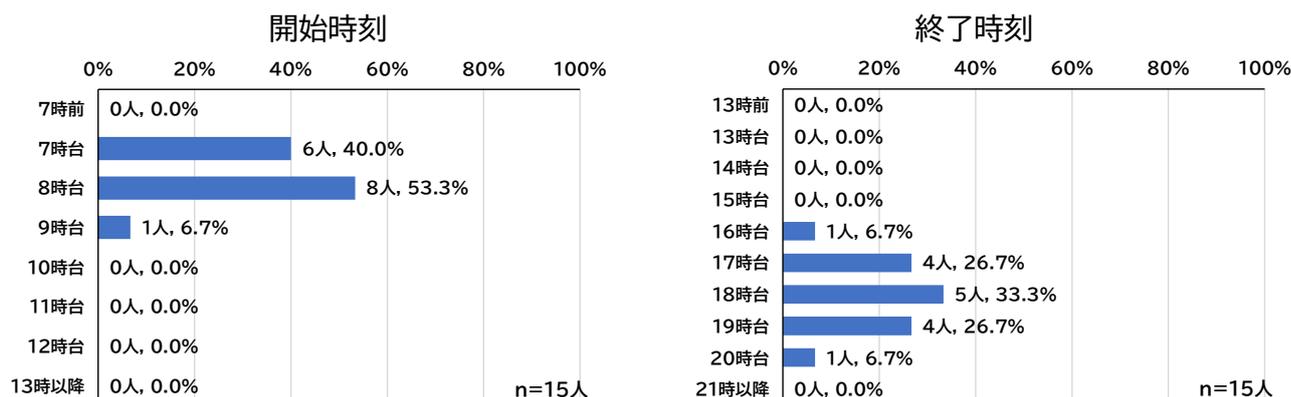


【高学年(4~6年生)】<土曜日 利用開始時刻・終了時刻>

低学年と比べると、終了時間が遅い方にシフト

開始時刻は「8時台」の割合が53.3%と最も高く、次いで「7時台」の割合が40.0%となっています。

終了時刻は「18時台」の割合が33.3%と最も高く、次いで「17時台」と「19時台」の割合が同率で26.7%となっています。

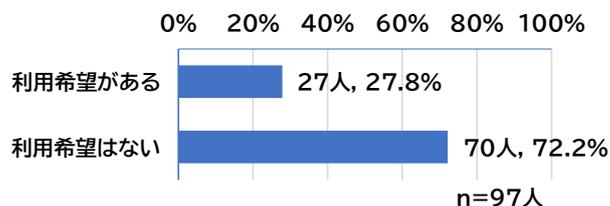


<日曜日・祝日>

日曜日・祝日の利用意向は3割弱

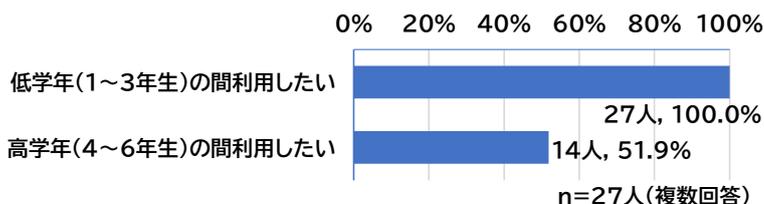
【日曜日・祝日の利用希望】

「利用希望がある」の割合は27.8%、「利用希望はない」の割合は72.2%となっています。



【利用したい年次】(複数回答)

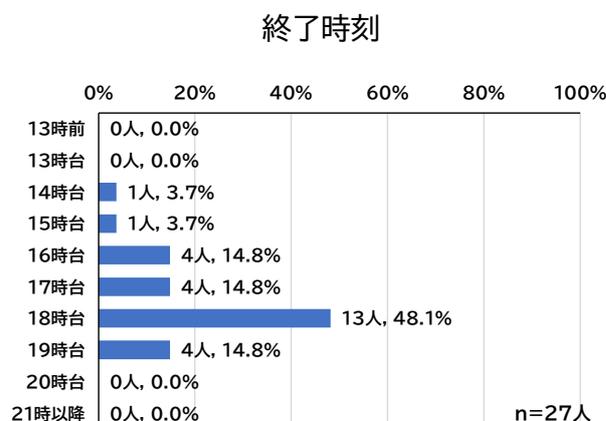
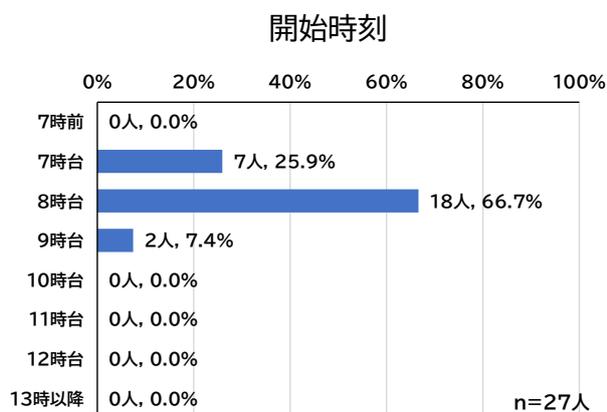
「低学年(1~3年生)の間利用したい」の割合は100.0%、「高学年(4~6年生)の間利用したい」の割合は51.9%となっています。



【低学年(1~3年生)】<日曜日・祝日 利用開始時刻・終了時刻>

開始時刻は「8時台」の割合が66.7%と最も高く、次いで「7時台」の割合が25.9%となっています。

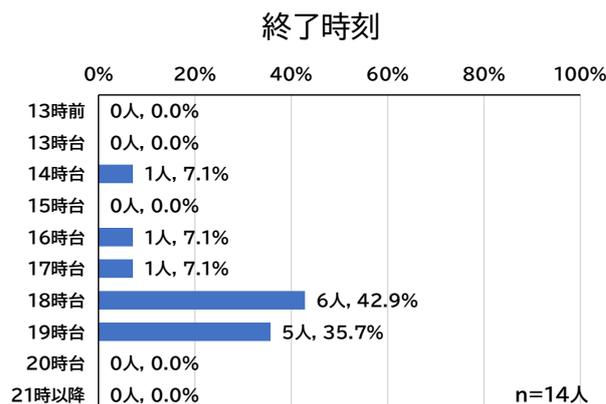
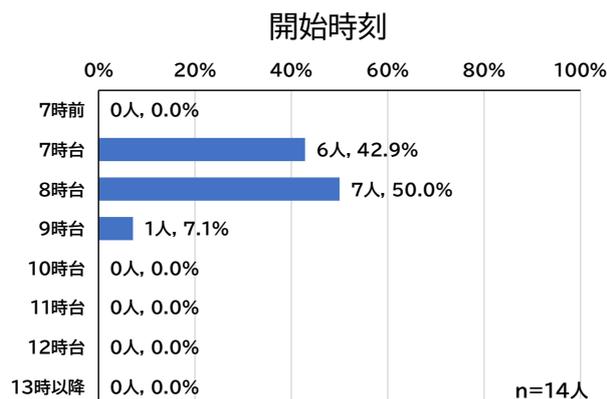
終了時刻は「18時台」の割合が48.1%と最も高く、次いで「16時台」「17時台」「19時台」の割合が同率で14.8%となっています。



【高学年(4~6年生)】<日曜日・祝日 利用開始時刻・終了時刻>

開始時刻は「8時台」の割合が50.0%と最も高く、次いで「7時台」の割合が42.9%となっています。

終了時刻は「18時台」の割合が42.9%と最も高く、次いで「19時台」の割合が35.7%となっています。

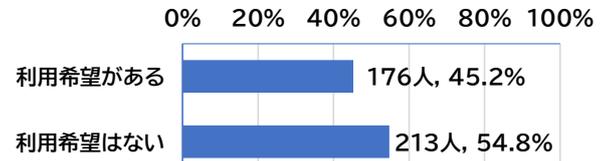


Q6長期の休業期間(夏休み等)の利用希望

<長期の休業期間>

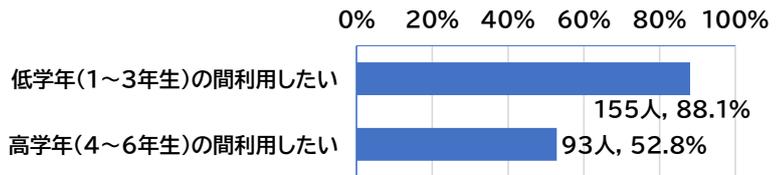
長期休業期間の利用意向は45%、土曜日・日曜日・祝日より高い

「利用希望がある」の割合は45.2%、「利用希望はない」の割合は54.8%となっています。



利用したい年次(複数回答)

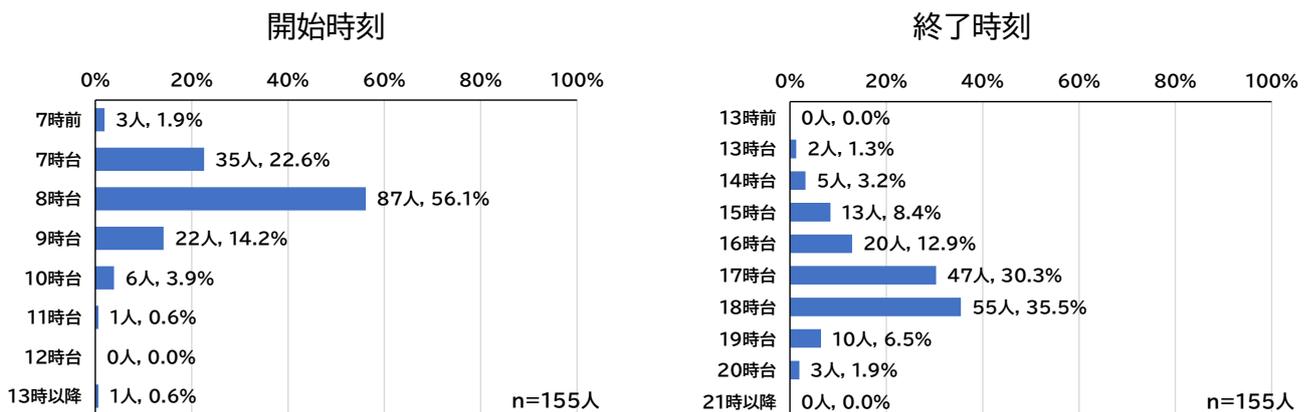
「低学年(1~3年生)の間利用したい」の割合は88.1%、「高学年(4~6年生)の間利用したい」の割合は52.8%となっています。



n=176人(複数回答)

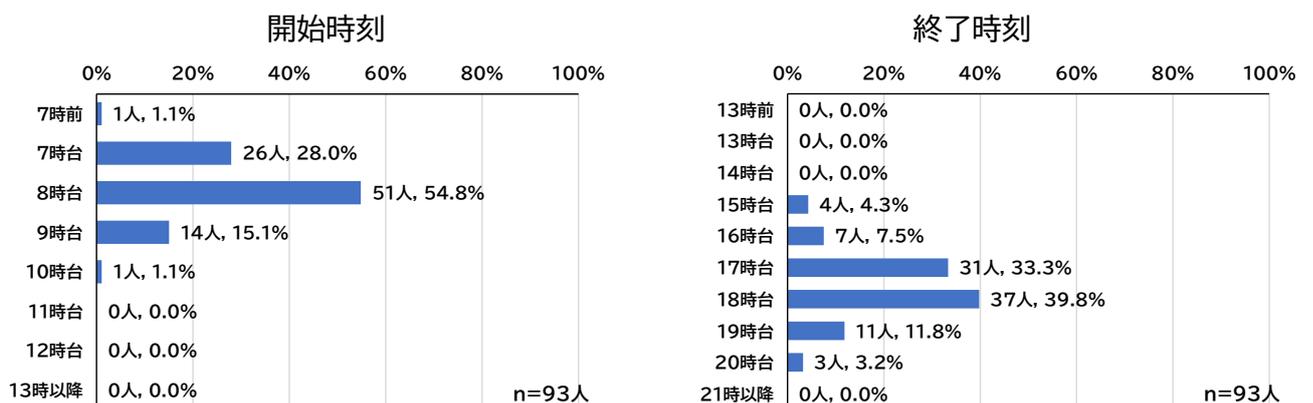
【低学年(1~3年生)】<長期の休業期間 利用開始時刻・終了時刻>

開始時刻は「8時台」の割合が56.1%と最も高く、次いで「7時台」の割合が22.6%となっています。終了時刻は「18時台」の割合が35.5%と最も高く、次いで「17時台」の割合が30.3%となっています。



【高学年(4~6年生)】<長期の休業期間 利用開始時刻・終了時刻>

開始時刻は「8時台」の割合が54.8%と最も高く、次いで「7時台」の割合が28.0%となっています。終了時刻は「18時台」の割合が39.8%と最も高く、次いで「17時台」の割合が33.3%となっています。



(3) 放課後児童クラブ(学童保育)について

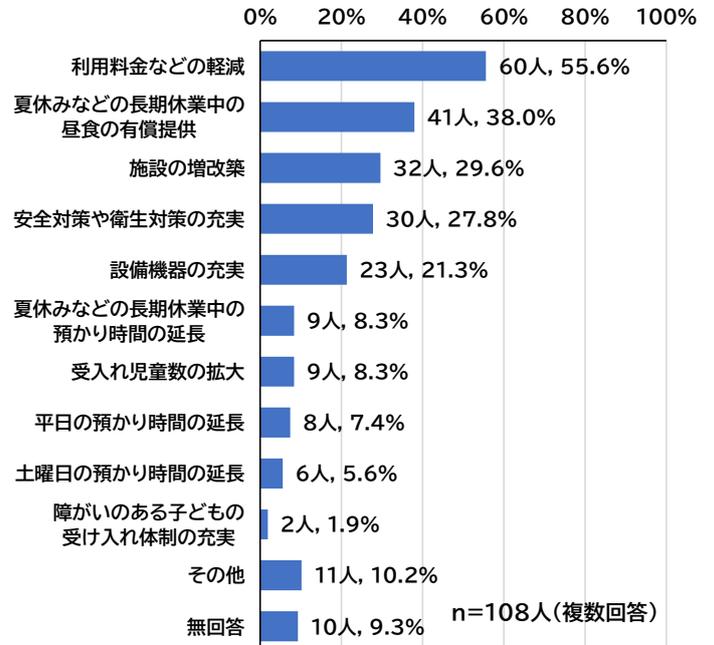
Q7 現在、宛名のお子さんが通っている放課後児童クラブ(学童保育)に関してどのような要望をお持ちですか。(複数回答)

「料金」「昼食」「施設」の要望が上位、「時間」「受入体制」の要望は下位

上位 5 項目をみると、

第 1 位	利用料金などの軽減	55.6%
第 2 位	夏休みなどの長期休業中の昼食の有償提供	38.0%
第 3 位	施設の増改築	29.6%
第 4 位	安全対策や衛生対策の充実	27.8%
第 5 位	設備機器の充実	21.3%

の順となっています。



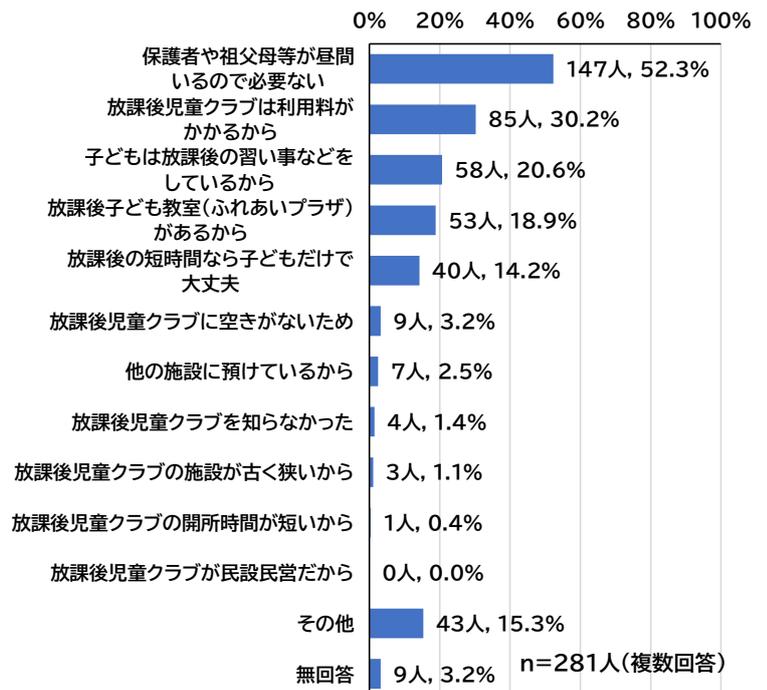
Q8 放課後児童クラブ(学童保育)利用していない理由は何ですか。(3つまで選択可)

「必要を感じていない」が半数以上、「費用負担」が上位、「他の利用」の要望は下位

上位 5 項目をみると

第 1 位	保護者や祖父母等が昼間いるので必要ない	52.3%
第 2 位	放課後児童クラブは利用料がかかるから	30.2%
第 3 位	子どもは放課後の習い事などをしているから	20.6%
第 4 位	放課後子ども教室(ふれあいプラザ)があるから	18.9%
第 5 位	放課後の短時間なら子どもだけで大丈夫	14.2%

の順となっています。



その他記述

意見内容	件数	意見内容	件数
子どもが行きたがらない	12	内容に不満があるから	2
子どもの帰宅までに仕事が終わるから	8	利用人数、定員	2
料金が高い	3	友達同士で遊べるから	1
専業主婦、働いていないから	3	兄弟がいるから	1
子どもが疲れる、向いていない	3	いじめがあったから	1
自分で留守番できるから	2	パートだから	1
障害があるから、支援が必要だから	2	親の参加があるから	1
長期休みのみ利用ができないから	2	運営に不満・不安があるから	1
ほかの施設に行っているから	2	その他	1
		合計	48

Q8 放課後児童クラブ(学童保育)利用していない理由についての意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 子どもが行きたがらない

- ・二年生迄預けていましたが、外遊びなどがなく本人が、つまらない、行きたくないと行ったので
- ・本人が通うのを嫌がったため(友人が皆3年生から通わなくなったため)

⇒年齢が上がり楽しいと感じる遊びに変化が生じたことにより、通わなくなるこどもが出てくると、連鎖的にいかないこどもが増える外的要因が多くみられました。

2 子どもの帰宅までに仕事が終わるから

- ・母親の就業時間が短く、学童保育に預ける対象外であった
- ・登校時間内に勤務が終わるため

⇒パートタイムで就業している保護者の方が子どもの帰宅時間を考慮し働いていることがみられました。

Q9 現在、宛名のお子さんが通っている放課後こども教室(あやせつ子ふれあいプラザ)に関してどのような要望をお持ちですか。(3つまで選択可)

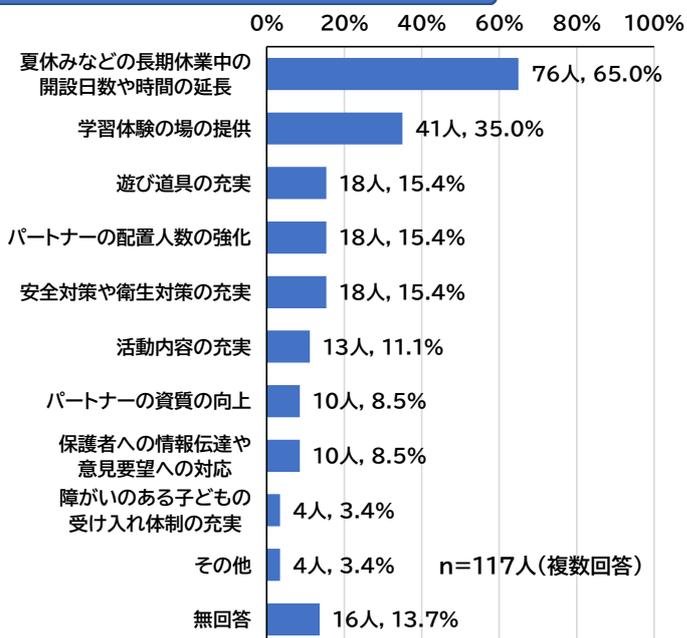
「長期休業中の運用拡大」が65%、「コンテンツの要望」が35%の要望は下位

上位5項目をみると

第1位 65.0%
夏休みなどの長期休業中の開設日数や時間の延長

第2位 35.0%
学習体験の場の提供

第3位
遊び道具の充実 }
パートナーの配置人数の強化 } 15.4%
安全対策や衛生対策の充実 }
の順となっています。



(4) 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)について

Q10 放課後児童クラブ(学童保育)、放課後こども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)について、また、その他にもご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

23人の方から28件のご意見をいただきました。

意見内容	件数
長期休暇中の居場所が欲しい	4
各種教室(習い事、補習)をしてほしい	3
自宅で過ごす子どもへの対応	3
臨時の預かりをしてほしい(祝日、通院等)	2
感謝している	2
トイレを改修してほしい	1
お弁当休みの日があるとよい	1
学校開放してほしい	1
スタッフの資質向上	1
プラザと学童一体のシステムにしてほしい	1
学童についての意見	6
その他	3
合計	28

Q10 放課後子ども教室(あやせっ子ふれあいプラザ)について意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 学童についての意見

- ・夜遅くなるご家庭だと今のままで良いかもしれませんが、夕方早めに帰って来られる家庭はもう少し学童を安くするとか、日数によって料金を変えるとか工夫してほしいと思う。
- ・学童の料金が安い。毎日は必要ないので一回料金も作ってほしい。
- ・学童に併設した英会話教室やそろばん教室、体操教室(有料)があれば、習い事も出来て一石二鳥。子供が学童をやめたいと言わないように、広いスペースが欲しいです。

⇒料金システムや習い事の併設等、フレキシブルな対応を求める声がありました。

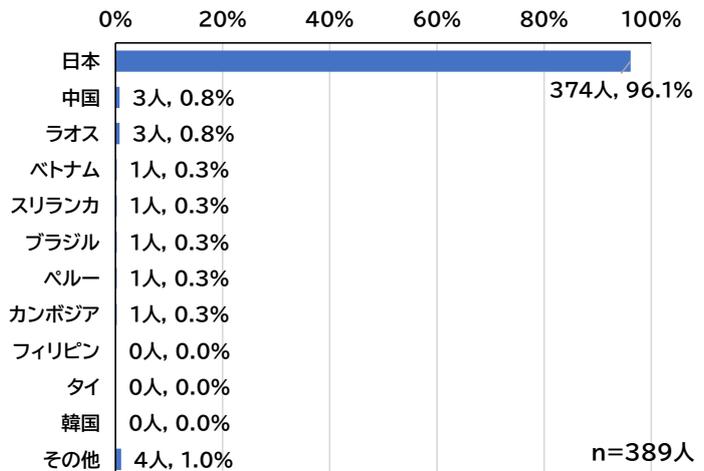
2 長期休暇中の居場所が欲しい

- ・特に長期休業中の子どもの居場所の拡充を早期に行ってほしい保護者は大多数いると思います。専門要員確保のために必要な料金ならお支払する保護者いると思います。また学校開放など多角的に検討していただきたいです。
- ・6月以降は外で遊べないほど気温が高く、放課後は集まれる場所がありません。夏休みなどはプラザもなく子供を遊びに行かせることのできる場所がないと感じています。
- ・働いていない親でも長期休みに預けられると助かります。

⇒長期休業中のこどもの居場所について数が少ないとの意見がありました。

Q11 あなたの国籍はどちらですか。

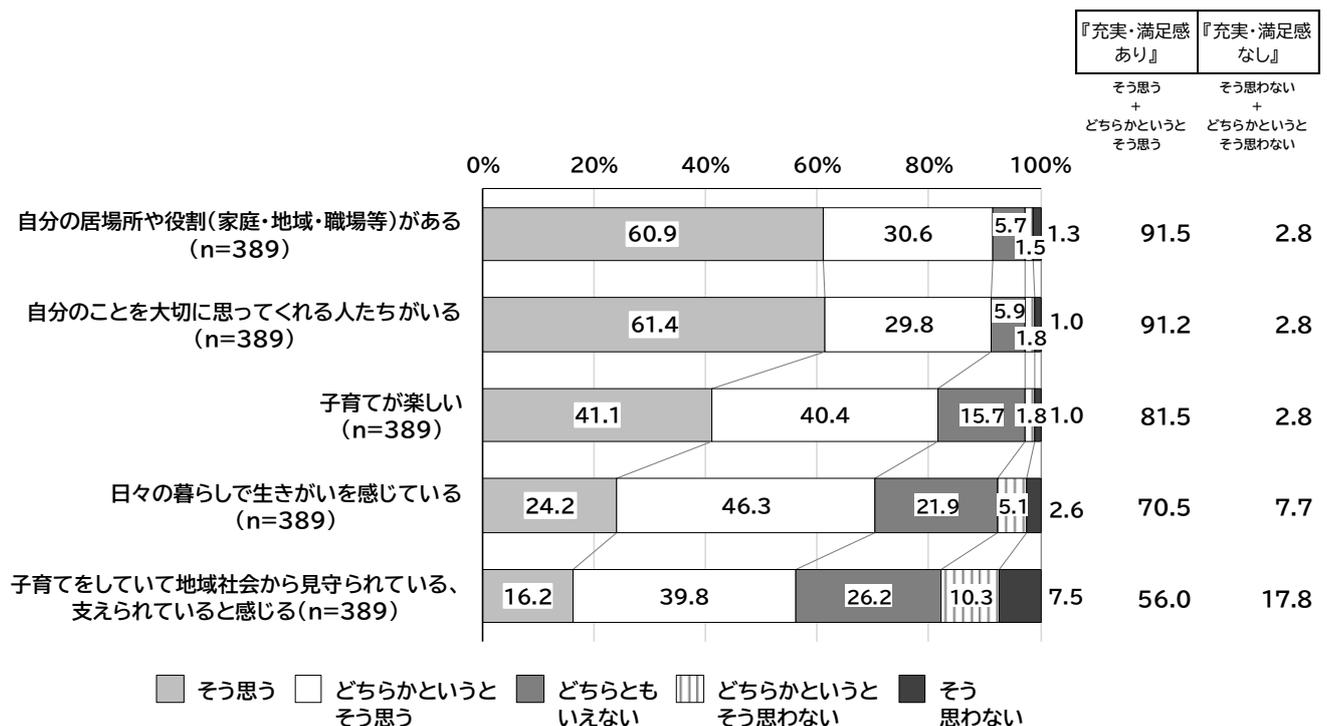
「日本」の割合が96.1%と最も高くなっています。



Q12 あなたの普段の生活の充実感・満足感をおたずねします。

全ての項目で「そう思う+どちらかというと思う」の割合は5割を超えている
 「どちらかというと思わない+そう思わない」の割合は「地域社会からの見守り」17.8%

「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた『充実・満足感あり』でみると、「自分の居場所や役割(家庭・地域・職場等)がある」で91.5%と最も高く、次いで「自分のことを大切に思ってくれる人たちがいる」で91.2%、「子育てが楽しい」で81.5%となっています。一方、「子育てをされていて地域社会から見守られている、支えられていると感じる」では、『充実・満足感あり』の割合が56.0%と他と比べて低くなっています。



(5) 子育て世帯生活状況調査

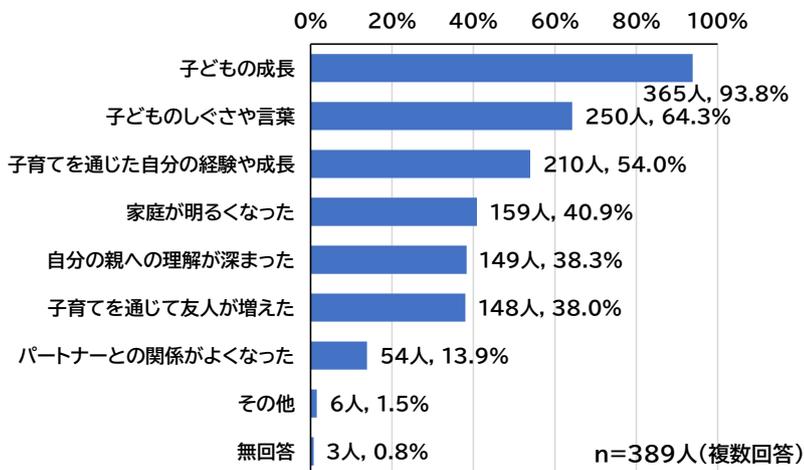
Q13 子育てをしてよかったこと。嬉しかったことは何ですか。(複数回答)

上位3項目、「子どもの成長」、「子どものしぐさや言葉」、「子育てを通じた自分の経験や成長」は半数以上

上位3項目をみると

第1位	子どもの成長	93.8%
第2位	子どものしぐさや言葉	64.3%
第3位	子育てを通じた自分の経験や成長	54.0%

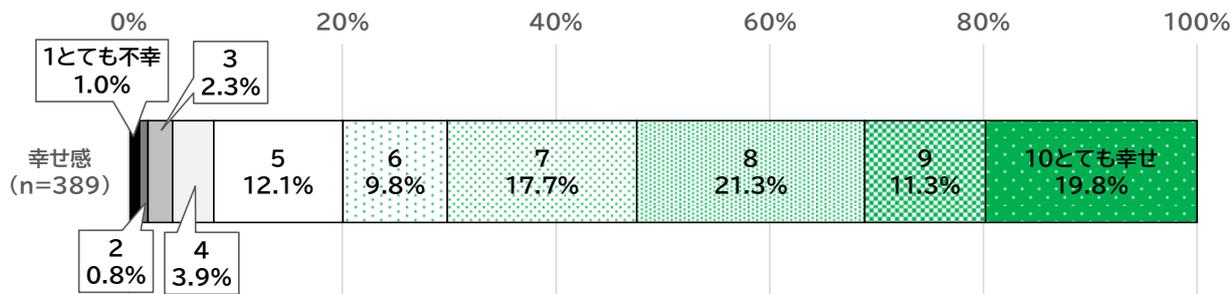
の順となっています。



Q14 あなたは現在どの程度幸せだと感じていますか。

「とても幸せ」19.8% 幸せ度7以上 70.1%、幸せ度4以下 8.0%

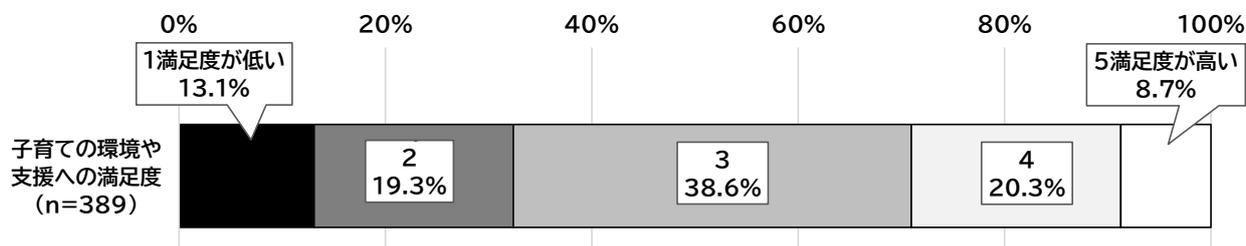
「8」の割合が21.3%と最も高く、次いで「10とても幸せ」の割合が19.8%、「7」の割合が17.7%となっています。



Q15 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について教えてください。

子育て環境の満足度 満足度4以上 29.0%、満足度2以下 32.4%

「3」の割合が38.6%と最も高く、次いで「4」の割合が20.3%、「2」の割合が19.3%となっています。



Q16 今後、子育て支援の充実に向けて、どのようなことを望みますか。【3つ選択】

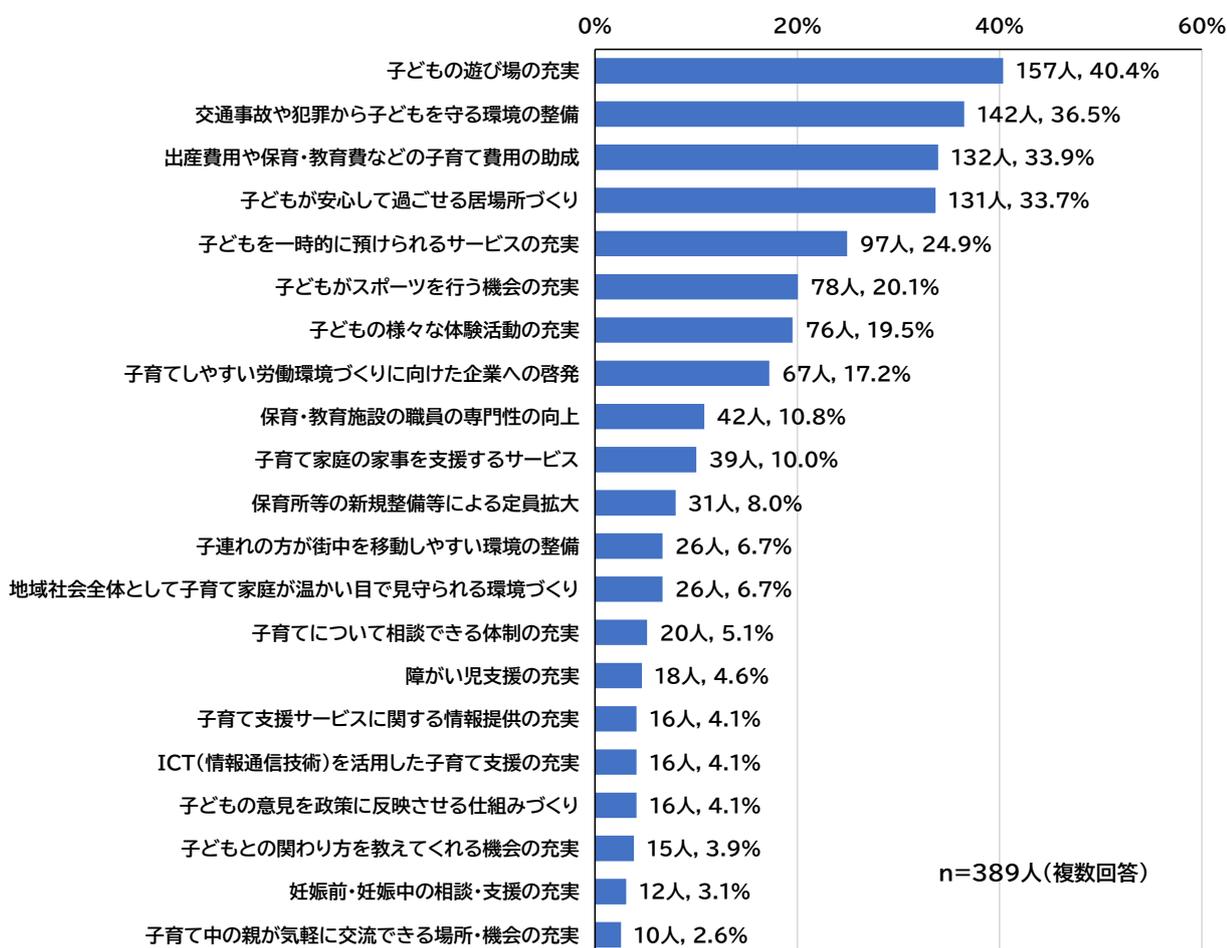
上位4項目は3割以上

「子どもの遊び場の充実」、「交通事故や犯罪から子どもを守る環境の整備」、
「出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成」、「子どもが安心して過ごせる居場所づくり」

上位5項目をみると、

第1位	子どもの遊び場の充実	40.4%
第2位	交通事故や犯罪から子どもを守る環境の整備	36.5%
第3位	出産費用や保育・教育費などの子育て費用の助成	33.9%
第4位	子どもが安心して過ごせる居場所づくり	33.7%
第5位	子どもを一時的に預けられるサービスの充実	24.9%

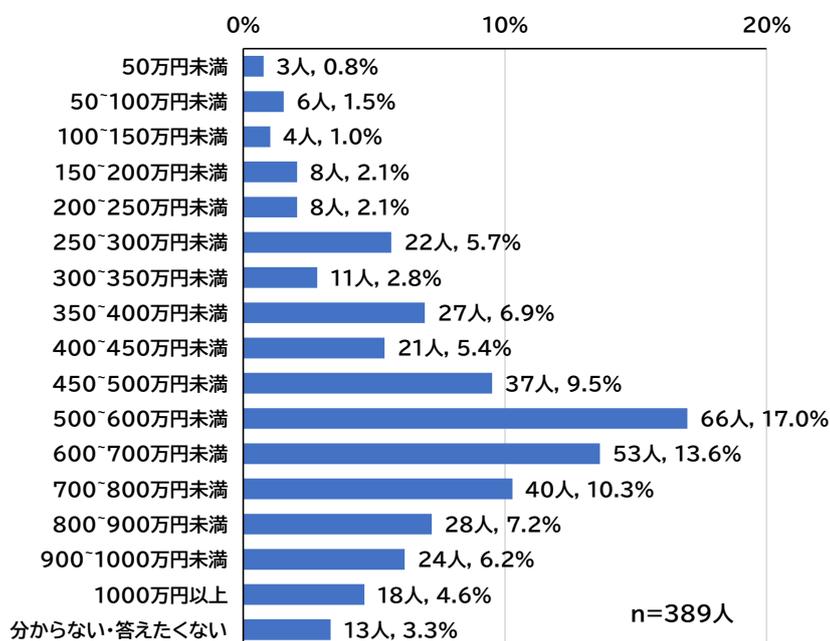
の順となっています。



Q17 現在の世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。

最も多いのは500-600万円未満、 250万円以下 7.5%

「500～600万円未満」の割合が17.0%と最も高く、次いで「600～700万円未満」の割合が13.6%、「700～800万円未満」の割合が10.3%、「450万～500万円未満」の割合が9.5%となっています。



Q18 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

119人の方から 150 件のご意見をいただきました。

意見内容	件数	意見内容	件数
遊び場、公園、居場所	21	学校施設改修(トイレ等)	3
経済的支援	12	預け先の充実	3
教育内容の充実(英語、IT等)	10	移動支援	3
学童、プラザ	10	療育、障害児	3
保育者・教員・支援者等の待遇改善、増員	7	働きやすい環境づくり	3
給食(無償化、内容の充実)	7	ひとり親への支援	3
教育環境の改善	7	広報・広聴・情報	3
医療の充実	6	学校制服等無料化	2
道路・歩道整備	6	スポーツ支援	2
母親(家庭)の負担軽減	4	図書館・図書室	2
教員等の資質向上	4	親の資質向上	2
幼稚園・保育園	4	出産、不妊	2
不審者対策・防犯	4	税金の有効利用	2
交通安全対策(通学路など)	4	病児保育	1
行政、サービス	4	商業の充実	1
まちづくり	4	その他	1
		合計	150

Q18 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見を項目別に分類し、上位3つの項目は次のようになります。それぞれの項目ごとに主な意見を抜粋して掲載します。

なお、いただいたご意見につきましては、関係所属に共有させていただきます。

1 遊び場、公園、居場所

- ・ 公園での遊びの規制が多過ぎる。特にボールを使うスポーツが禁止されている所が多い。
- ・ 児童館やコミュニティーセンターのように子供達同士で安全に遊んだり勉強できたりする場所を増やしてほしい
- ・ プールが欲しい。図書館の本を充実して欲しい。勉強やスポーツが気軽に出来る場所を作って欲しい

⇒子どもがボールを使用しての遊びに対する意見や、勉強等を行える場所を増やしてほしい意見が多くみられました。

2 経済的支援

- ・ 課税、非課税の差別無く支援してもらいたい。
- ・ 子ども的人数が多いのに年収的に援助はされない金額だから、お金ギリギリの生活で苦しい…
- ・ 給食費無償化など支援が増えるとありがたいです。

⇒収入状況などでサービスの可否があることに対する意見が多くみられました。

3教育内容の充実(英語、IT等)

- ・ 英語教育にもっと力を注いで欲しいです。習い事で英語に通わなくてもよいくらい
- ・ 綾瀬には厚木基地があるので、基地の人と交流するなど、子どもたちの英語力の向上などに役立ててほしい。
- ・ 将来を見据えて、プログラミングと英語などの外国語を学ばすことのできる設備を充実してほしい。

⇒英語や IT 関係に対する学習環境や内容の拡充についての意見が多くみられました。